

平成 30 年度  
三田市市民意識調査  
調査結果報告書

平成 30 年 10 月  
三田市



# 目 次

## I 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査方法	2
4. 標本誤差	3
5. 報告書の見方	4
6. 設問の構成とまとめ	5

## II 調査結果

1. 「地域福祉」について	10
2. 「成年後見制度」について	28
3. 総合計画の取り組みについて	33
4. 回答者の属性	56

(参考) 調査票	65
----------	----



# I 調査概要

## 1. 調査目的

この調査は、市民の価値観や行動志向、行政への要望など市民生活の基本的な意識について把握することにより、今後の政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としています。

## 2. 調査内容

### (1) 「地域福祉」について

- 問 1 隣近所との付き合いの程度
- 問 2 「地域福祉活動」の参加状況
- 問 3 「地域福祉活動」に参加していない理由
- 問 4 「避難行動要支援者支援制度」の認知状況
- 問 5 「地域福祉支援室」の利用・認知状況
- 問 6 福祉サービスの利用経験の有無
- 問 7 福祉サービスを利用して最も困ったこと
- 問 8 「ユニバーサルデザイン」の言葉の理解度
- 問 9 “福祉のまち”づくりに関する行政と地域住民との関係

### (2) 「成年後見制度」について

- 問 10 「成年後見制度」の利用・認知状況
- 問 11 「成年後見制度」を知ったきっかけ
- 問 12 「成年後見制度」の利用意向
- 問 13 「成年後見制度」を利用したくない理由
- 問 14 「成年後見制度」で援助者（後見人など）になってもらいたい人

### (3) 総合計画の取り組みについて

- 問 15 地域活動への参加状況
- 問 16 人権問題の解決に向けての自分の努力
- 問 17 日常生活での健康づくりの取り組み状況
- 問 18 普段の睡眠での休養の取得状況
- 問 19 「かかりつけ医」の有無
- 問 20 「高齢者の安心」の満足度
- 問 21 街並みや田園風景などの景観の満足度
- 問 22 週一回以上の運動やスポーツの実践状況
- 問 23 三田市役所に対する信頼の程度
- 問 24 三田市のまちづくりへの関心度
- 問 25 市民と行政によるまちづくりでの協働の取り組み状況
- 問 26 今後の三田市での居留意向
- 問 27 転出・転居したい理由
- 問 28 若年層の転入やUターンを希望されるまちとするために最も大切と思うこと

### (4) 回答者の属性

- 問 29 居住地区

## I 調査概要

- 問 30 性別
- 問 31 年齢
- 問 32 世帯構成
- 問 33 家族構成員
- 問 34 職業
- 問 35 通勤・通学先

### 3. 調査方法

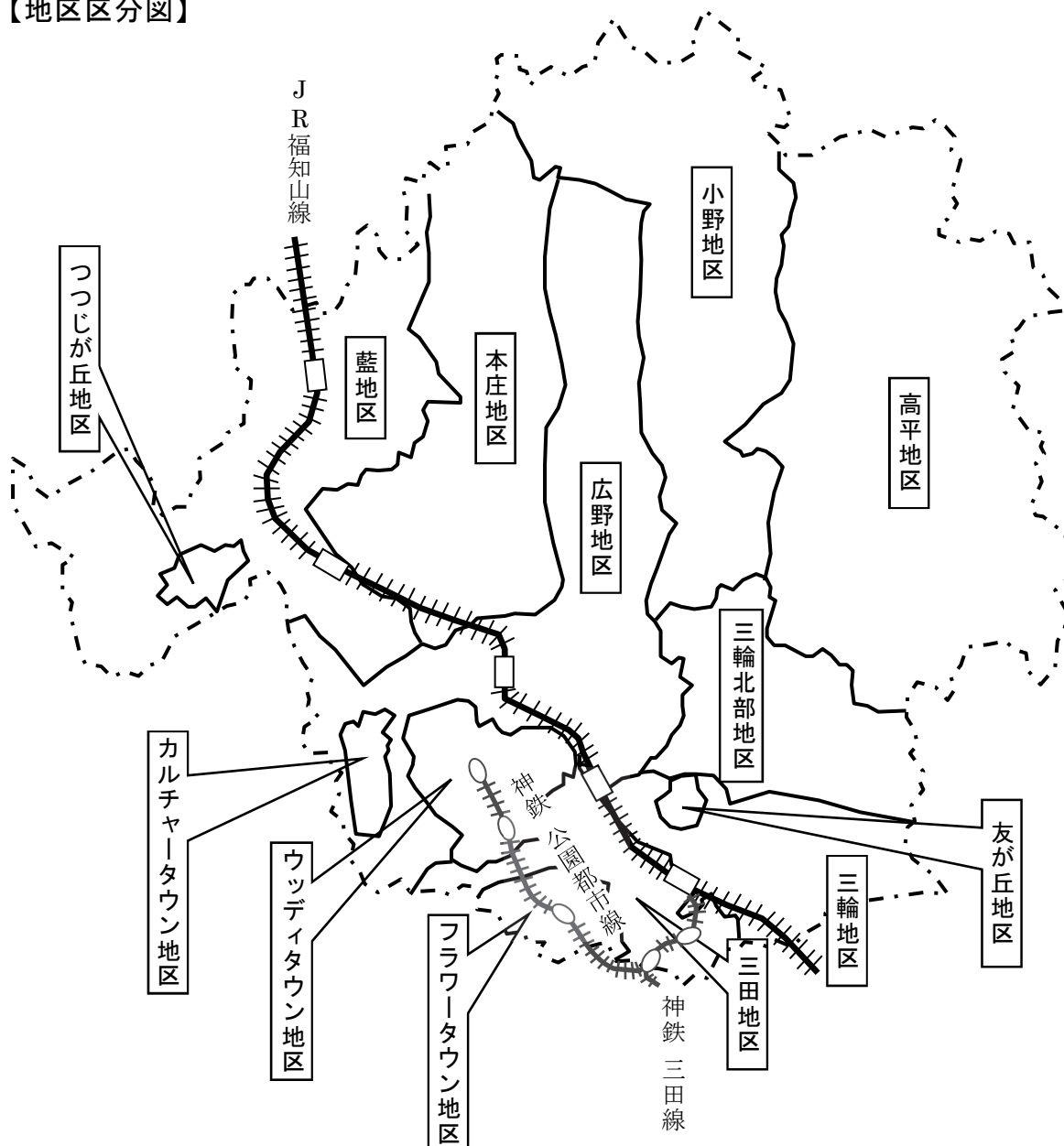
- (1) 調査地域 三田市内
- (2) 調査対象 市内に在住する 18 歳以上の市民 3,000 人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から年齢別地域別層化系統抽出
- (4) 配布方法 郵送
- (5) 回収方法 郵送（インターネットによる回答も可）  
※お礼状兼督促状 1 回送付
- (6) 調査期間 平成 30（2018）年 6 月 15 日（金）～7 月 6 日（金）
- (7) 有効配布数 2,997 件（不到着 3 件）
- (8) 有効回収数 1,439 件（回収率 48.0%）  
※インターネットによる回答 265 件含む

#### 【地区別配布・回収結果】

地区名	配布数	不到着	実質配布数	回収数	回収率
三田地区	376	1	375	169	45.1%
三輪地区※	338		338	113	33.4%
広野地区	160		160	70	43.8%
小野地区	60		60	27	45.0%
高平地区	84		84	33	39.3%
藍地区（つつじが丘地区を除く）	86		86	39	45.3%
本庄地区	51		51	25	49.0%
フラワータウン地区	576	1	575	302	52.5%
ウッドイタウン地区	950	1	949	500	52.7%
カルチャータウン地区	74		74	34	45.9%
友が丘地区	71		71	42	59.2%
つつじが丘地区	174		174	77	44.3%
不明（無回答）	—	—	—	8	—
合計	3,000	3	2,997	1,439	48.0%

※三輪地区には、三輪北部地区（志手原小学校区）を含む

## 【地区区分図】



## 4. 標本誤差

一般的に、標本調査においては、標本（有効回答）から母集団（総人口）の精度として、信頼度 95% のレベルでの結果を評価することが妥当とされています。

（信頼度 95% とは、同一の調査を 100 回実施すれば 95 回は、この結果数値の前後の一定の幅の間におさまるということ。）

そして、この信頼度 95% における測定値 (%) の標本誤差は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

N：母集団数（18 歳以上の市民 94,998 人（平成 30 年 5 月末日現在））

n：標本数（本調査では回答総数=1,439）

P：測定値 (%)（本調査では回答比率）

【信頼度 95%における主要な標本誤差】

標本数 n	P(%)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
3,000		±0.8%	±1.1%	±1.3%	±1.4%	±1.5%	±1.6%	±1.7%	±1.7%	±1.8%	±1.8%
2,500		±0.8%	±1.2%	±1.4%	±1.5%	±1.7%	±1.8%	±1.8%	±1.9%	±1.9%	±1.9%
2,000		±0.9%	±1.3%	±1.5%	±1.7%	±1.9%	±2.0%	±2.1%	±2.1%	±2.2%	±2.2%
1,500		±1.1%	±1.5%	±1.8%	±2.0%	±2.2%	±2.3%	±2.4%	±2.5%	±2.5%	±2.5%
<b>全体</b>	<b>1,439</b>	<b>±1.1%</b>	<b>±1.5%</b>	<b>±1.8%</b>	<b>±2.1%</b>	<b>±2.2%</b>	<b>±2.3%</b>	<b>±2.4%</b>	<b>±2.5%</b>	<b>±2.6%</b>	<b>±2.6%</b>
1,000		±1.3%	±1.8%	±2.2%	±2.5%	±2.7%	±2.8%	±2.9%	±3.0%	±3.1%	±3.1%
500		±1.9%	±2.6%	±3.1%	±3.5%	±3.8%	±4.0%	±4.2%	±4.3%	±4.3%	±4.4%
250		±2.7%	±3.7%	±4.4%	±5.0%	±5.4%	±5.7%	±5.9%	±6.1%	±6.2%	±6.2%
100		±4.3%	±5.9%	±7.0%	±7.8%	±8.5%	±9.0%	±9.3%	±9.6%	±9.7%	±9.8%

この表について、例えば、回答総数（1,439）を 100.0%とする設問で、選択肢に対する回答率が 90%であった場合、18 歳以上の市民（94,998 人）における回答比率の誤差範囲は、±1.5%（88.5%～91.5%）の間であることを推測できます。

なお、クロス集計の場合、回答者数（該当者数）が 50 人未満の場合は標本誤差が多いため、参考に留めてください。

## 5. 報告書の見方

- ① 集計結果は、小数点以下第 2 位を四捨五入しており、比率の合計が 100.0%にならないことがあります。複数回答を求めた設問は、回答者に対する割合を示しているので合計が 100%を超えています。
- ② 「全体」は、回答者数（1,439）であり、「回答総数」は複数回答の場合の全回答数を指し、「該当者」は回答者を特定した場合の母数を表しています。また、複数回答のグラフの%は（MA%）として複数回答であることを表しています。
- ③ 年代別集計は、70 歳代と 80 歳以上を合わせて「70 歳以上」として分析しています。
- ④ 地区別集計は、地区区分として、三田地区、三輪北部地区（志手原小学校区）、友が丘地区、三輪地区（三輪北部地区・友が丘地区を除く）、広野地区、小野地区、高平地区、つつじヶ丘地区、藍地区（つつじヶ丘地区を除く）、本庄地区、フラワータウン地区、ウッディタウン地区、カルチャータウン地区に分けて分析しています。
- ⑤ 本文中の質問文及び選択肢などについて、長い文については簡略化しています。
- ⑥ 年代別や地域別は、対象者ごとに%を算出しており、複数回答については、**第 1 位**、**第 2 位**、**第 3 位**として順位を表しています。なお、同率の場合は、同一順位とし、以下の順位を繰り下げています。
- ⑦ 複数の回答合わせた『知っている』などは、回答者数を全体で除しており、単数の合計とは合わないことがあります。

## 6. 設問の構成とまとめ

分野	設問のねらい・趣旨	設問項目
(1) 「地域福祉」 について	◆だれもが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるためには、人と人がつながり、地域で支え合う活動を推進していくため、「第2次三田市地域福祉計画」を策定していますが、今年度に見直しを予定しているため、その基礎資料とします。	問1 隣近所との付き合いの程度
		問2 「地域福祉活動」の参加状況
		問3 「地域福祉活動」に参加していない理由
		問4 「避難行動要支援者支援制度」の認知状況
		問5 「地域福祉支援室」の利用・認知状況
		問6 福祉サービスの利用経験の有無
		問7 福祉サービスを利用して最も困ったこと
		問8 「ユニバーサルデザイン」の言葉の理解度
		問9 “福祉のまち”づくりに関する行政と地域住民との関係
<b>まとめ（概要）</b>		
問1	隣近所との付き合いは、「会えばあいさつをする程度」が48.6%であり、「世間話や立ち話をする程度」が32.2%、「困った時に助け合っている」が15.0%となっています。	
問2	地域福祉活動には、「参加していない」が86.1%であり、「参加している」が13.6%となっています。	
問3	地域福祉活動に参加していない最も大きな理由は、「忙しくて時間がない」が46.6%であり、「いっどこで活動しているかわからない」が21.2%、「健康に自信がない」が8.1%となっています。	
問4	“避難行動要支援者支援制度”は、「知らない」が50.2%となっています。「よく知っている」と「おおよその内容は知っている」を合わせた『内容を知っている』は29.0%であり、「名前は知っていたが、内容を知らない」を合わせた『名前は知っている』は49.5%となっています。	
問5	“地域福祉支援室”は、「知らない」が61.9%となっています。「よく利用している」と「数回利用したことがある」を合わせた『利用経験あり』は5.3%であり、「知っているが、利用したことはない」を合わせた『名前は知っている』は37.7%となっています。	
問6	“福祉サービス”は、「利用したことがある」が27.2%となっています。	
問7	福祉サービスを利用して最も困ったことは、「特に困ったことはなかった」は49.4%、「利用できるようになるまで時間がかかった」が12.0%、「どのサービスが適しているのかわからなかった」が11.8%となっています。	

問 8 “ユニバーサルデザイン”については、「5年以上前から知っている」が31.1%、「言葉も意味も知らない」が29.9%、「聞いたことがあるが、意味は知らない」が22.4%となっています。

「5年前以上から知っている」と「最近5年の間に知った」を合わせた『意味を知っている』は47.2%であり、「聞いたことがあるが、意味は知らない」を合わせた『聞いたことがある』は69.6%となっています。

問 9 “福祉のまち”を創っていくうえでの行政と地域住民との関係は、「行政も住民も協力しあい、ともに問題に取り組むべきだ」が66.2%であり、「行政の手の届かない問題は、住民が協力していくべきだ」が16.5%、「家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助するべきだ」が11.3%となっています。

#### 担当課（福祉総務課）のコメント

▼今回の調査により、問1の隣近所との付き合いの程度では、「まったく付き合いをしていない」が全体で一番少なく、どの年代・地域でも10%未満となっています。また、「会えばあいさつをする程度」が全体で一番多く、年代や地域により差がみられるものの全体としてゆるやかな地域のつながりがみられます。今後はさらに、地域で支え合うために地域で関係づくりができる取り組みが必要であると考えます。

問9の“福祉のまち”づくりに関する行政と地域住民との関係では、「行政も住民も協力しあうべき」が66.2%であり、年代を問わず地域住民の意識の高さが改めて認識できました。

今回の調査結果を活かし、現計画の評価、見直しを行い、よりよい地域福祉の向上を目指し、地域福祉の推進に取り組んでいきます。

分野	設問のねらい・趣旨	設問項目
(2) 成年後見制度について	◆近年、認知症や障害などを理由に、財産の管理や日常生活などに支障がある方が増加しており、社会全体で支え合うことが、高齢社会における喫緊の課題であり、成年後見制度がその方々を支える重要な手段であるにもかかわらず十分に利用できていない状況にあります。このことから、成年後見制度の利用促進に関する施策の総合的・計画的な推進を図るため「成年後見制度利用促進基本計画」の策定を予定しており、その基礎資料とします。	問 10 「成年後見制度」の利用・認知状況
		問 11 「成年後見制度」を知ったきっかけ
		問 12 「成年後見制度」の利用意向
		問 13 「成年後見制度」を利用したくない理由
		問 14 「成年後見制度」で援助者（後見人など）になってもらいたい人
<b>まとめ（概要）</b>		
問 10	“成年後見制度”は、「少し知っている」が40.9%であり、「よく知らないが聞いたことがある」が22.8%、「知らない」が17.9%となっています。 「すでに利用している」と「よく知っている」「少し知っている」を合わせた『知っている』は58.8%であり、さらに「よく知らないが聞いたことがある」を合わせた『聞いたことがある』は81.6%となっています。	
問 11	“成年後見制度”を知ったきっかけは、「新聞・雑誌・テレビのニュース」が60.4%、「親戚や知人など」が11.5%となっています。	
問 12	“成年後見制度”の利用意向は、「わからない」が45.9%、「利用したい」が30.3%、「利用したくない」が22.9%となっています。	
問 13	“成年後見制度”を利用したくない最も大きな理由は、「制度を使わなくとも家族がいる」が71.2%であり、「他人に財産などを任せることが心配」が10.3%となっています。	
問 14	“成年後見制度”で援助者（後見人）になってもらいたい人は、「家族・親族」が70.2%、「専門職（弁護士・司法書士など）」が18.6%となっています。	
<b>担当課（福祉総務課）のコメント</b>		
▼今回の調査により、成年後見制度の認知状況については、「知らない」が17.9%となっています。また、成年後見制度の利用意向については、「わからない」が45.9%と最も多くなっており、まだまだ制度の周知が足りておらず、より一層の啓発が必要であると考えます。 今回の調査結果を活かし、成年後見制度利用促進基本計画を策定し、実態や課題に応じた成年後見制度の利用促進につなげます。		

分野	設問のねらい・趣旨	設問項目
(3) 総合計画の取り組みについて	◆総合計画の項目や市政全般に関する市民の意見や意向、考えを把握します。	問 15 地域活動への参加状況
		問 16 人権問題の解決に向けての自分の努力
		問 17 日常生活での健康づくりの取り組み状況
		問 18 普段の睡眠での休養の取得状況
		問 19 「かかりつけ医」の有無
		問 20 「高齢者の安心」の満足度
		問 21 街並みや田園風景などの景観の満足度
		問 22 週一回以上の運動やスポーツの実践状況
		問 23 三田市役所に対する信頼の程度
		問 24 三田市のまちづくりへの関心度
		問 25 市民と行政によるまちづくりでの協働の取り組み状況
		問 26 今後の三田市での居留意向
		問 27 転出・転居したい理由 問 28 若年層の転入やUターンを希望されるまちとするために最も大切と思うこと
<b>まとめ（概要）</b>		
問 15	地域活動には、「現在参加している」が 37.1%であり、「参加していないが、今後参加したい」が 32.5%、「今後も参加したいとは思わない」が 29.1%となっています。	
問 16	人権問題の解決に向けて社会全体での取り組みとともに、自分も努力すべきと思うかについては、85.1%が「そう思う」と回答しています。	
問 17	日常生活での健康づくりの取り組みは、「少しは取り組んでいる」が 53.0%と半数を超えており、「あまり取り組んでいない」が 24.9%、「大いに取り組んでいる」が 13.5%となっています。 「大いに取り組んでいる」と「少しは取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』のは 66.5%となっています。	
問 18	普段の睡眠で休養がとれているかについては、「とれている」が 49.3%と半数近くであり、「あまりとれていない」が 35.3%、「十分にとれている」が 11.0%となっています。 「十分にとれている」と「とれている」を合わせた『休養をとれている』は 60.3%となっています。	
問 19	“かかりつけ医”は、「いる」が 58.3%となっています。	
問 20	高齢者の安心（必要な介護サービスを利用しながら安心して暮らせること）の満足度は、「満足していないが不満もない」が 58.8%であり、「不満である」が 14.6%、「満足している」が 12.2%となっています。 「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』は 12.9%となっています。	

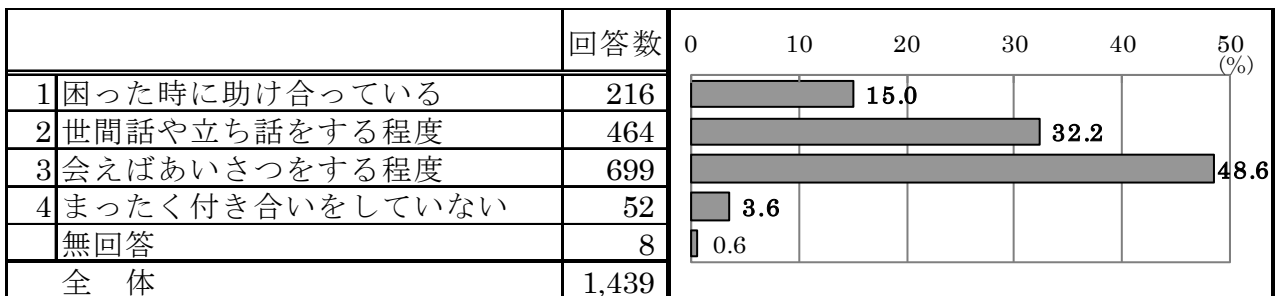
問 21	街並みや田園風景などの景観の満足度は、「満足している」が 52.4%と半数を超えており、「満足していないが不満もない」が 27.9%、「とても満足している」が 9.5%となっています。 「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』は 61.8%となっています。
問 22	週一回以上の運動やスポーツは、「している」が 40.9%となっています。
問 23	三田市役所に対する信頼は、「まあ信頼できる」が 69.2%であり、「あまり信頼できない」が 14.0%、「信頼できる」が 11.8%となっています。 「信頼できる」と「まあ信頼できる」を合わせた『信頼している』は 81.0%となっています。
問 24	三田市のまちづくりへの関心度は、「ある程度関心がある」が 65.8%であり、「あまり関心がない」が 21.5%、「非常に関心がある」が 10.1%となっています。 「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は 75.9%となっています。
問 25	三田市で市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいることについては、「まあそう思う」が 47.7%であり、「あまりそう思わない」が 39.3%、「そう思わない」が 7.1%となっています。 「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『思う』は 50.9%となっています。
問 26	今後の三田市での居留意向は、「今後も住みたい」が 60.0%であり、「今のところ、わからない」が 27.8%、「市外に移りたい」が 7.2%となっています。
問 27	転出や転居したい理由（複数回答）は、「通勤・通学に時間がかかる」が 40.5%、「医療機関や福祉施設が充実していない」が 37.5%、「買い物などの日常生活が不便」が 36.9%となっています。
問 28	転入者などに希望されるようなまちにするために最も大切なことは、「働く場の確保」が 22.4%であり、「交通の利便性」が 18.3%、「保育、子育て支援」が 16.3%となっています。
<b>担当課（政策課）のコメント</b>	
<p>▼市が行う施策の評価や取組方針の検討を行うに当たって、市民意識調査の結果を用いています。</p> <p>今回の調査では、「今後も住みたい」「住まいは移りたいが、市内には住みたい」といった定住意向が 64.4%となっています。また若年層の転入や U ターンを希望されるまちとするために最も大切なこととしては、「働く場の確保」「交通の利便性」「保育、子育て支援」が望まれているがわかりました。</p> <p>その他にも施策内容とデータの経年変化を勘案し、より効率的な市政の展開が可能となるよう、分析や立案に活かしていきます。</p>	

## II 調査結果

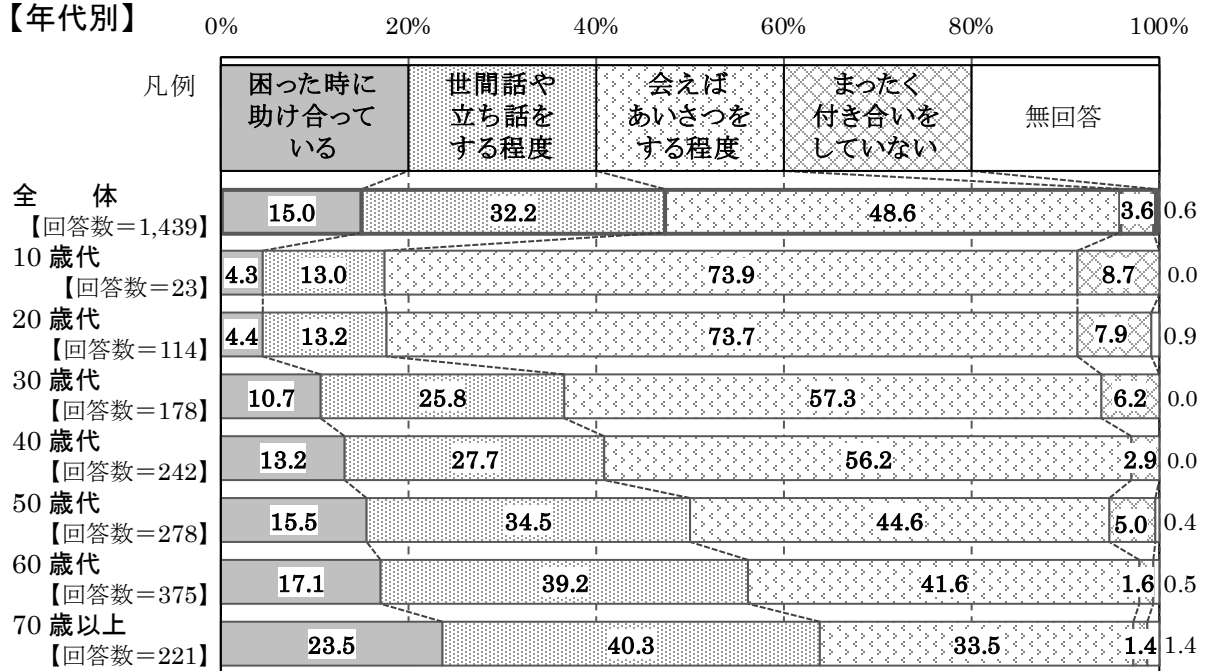
### 1 「地域福祉」について

#### (1) 隣近所との付き合いの程度

問1 あなたは、現在、隣近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(○は1つ)



#### 【年代別】

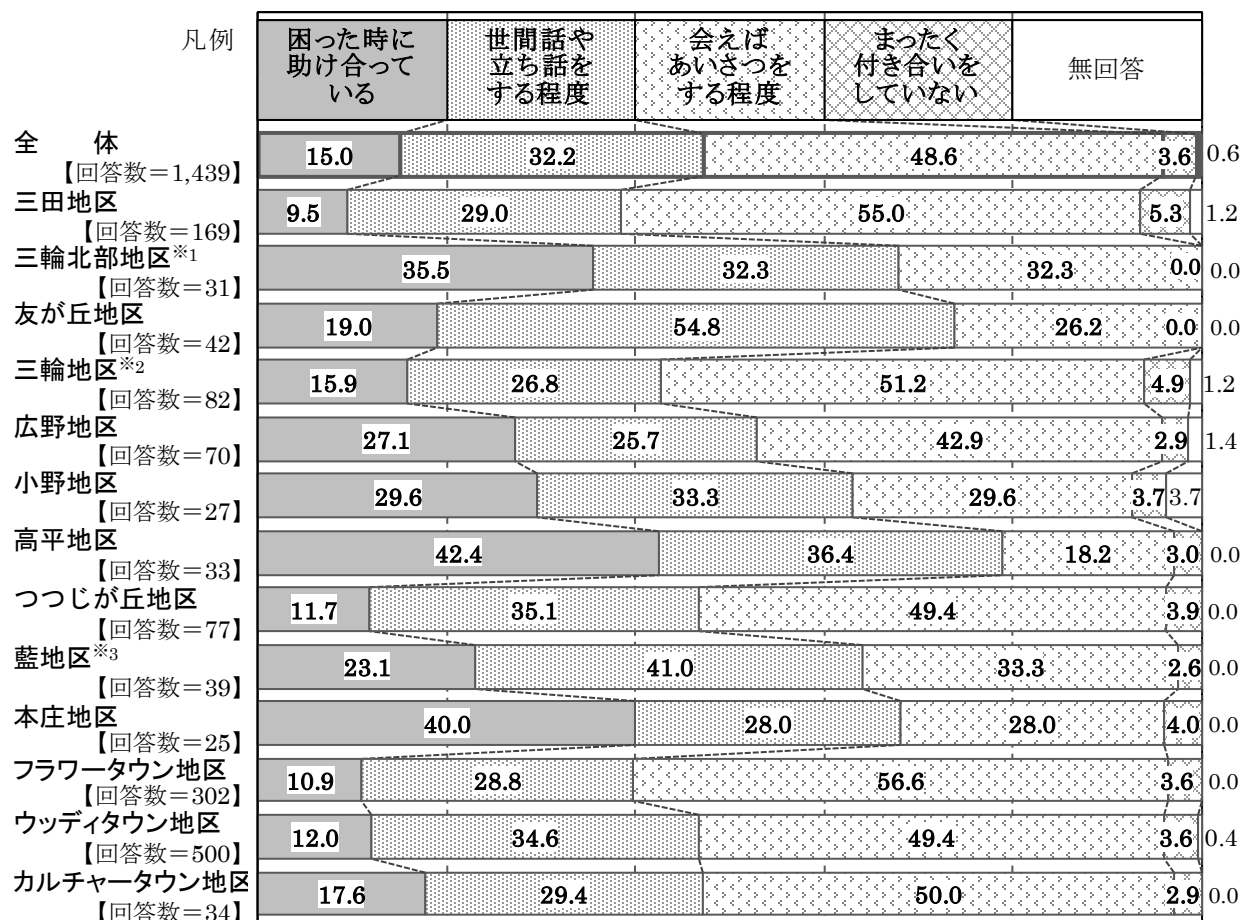


隣近所との付き合いの程度は、「会えばあいさつをする程度」が48.6%、「世間話や立ち話をする程度」が32.2%、「困った時に助け合っている」が15.0%となっています。

年代別にみると、「会えばあいさつをする程度」は10歳代が73.9%、20歳代が73.7%と多く、年齢が高くなるほどその割合が少なくなっています。一方、「世間話や立ち話をする程度」は70歳以上が40.3%、60歳代が39.2%と年齢が低くなるほどその割合が少なくなっています。

なお、「困った時に助け合っている」は70歳以上が23.5%、「まったく付き合いをしていない」は10歳代が8.7%、20歳代が7.9%となっています。

【地区別】 0% 20% 40% 60% 80% 100%



※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、「会えばあいさつをする程度」は、フラワータウン地区が 56.6%、三田地区が 55.0%、カルチャータウン地区が 50.0%となっています。

「世間話や立ち話をする程度」は、友が丘地区が 54.8%、藍地区が 41.0%、高平地区が 36.4%となっています。

なお、「困った時に助け合っている」は、高平地区が 42.4%、本庄地区が 40.0%、三輪北部地区が 35.5%となっています。

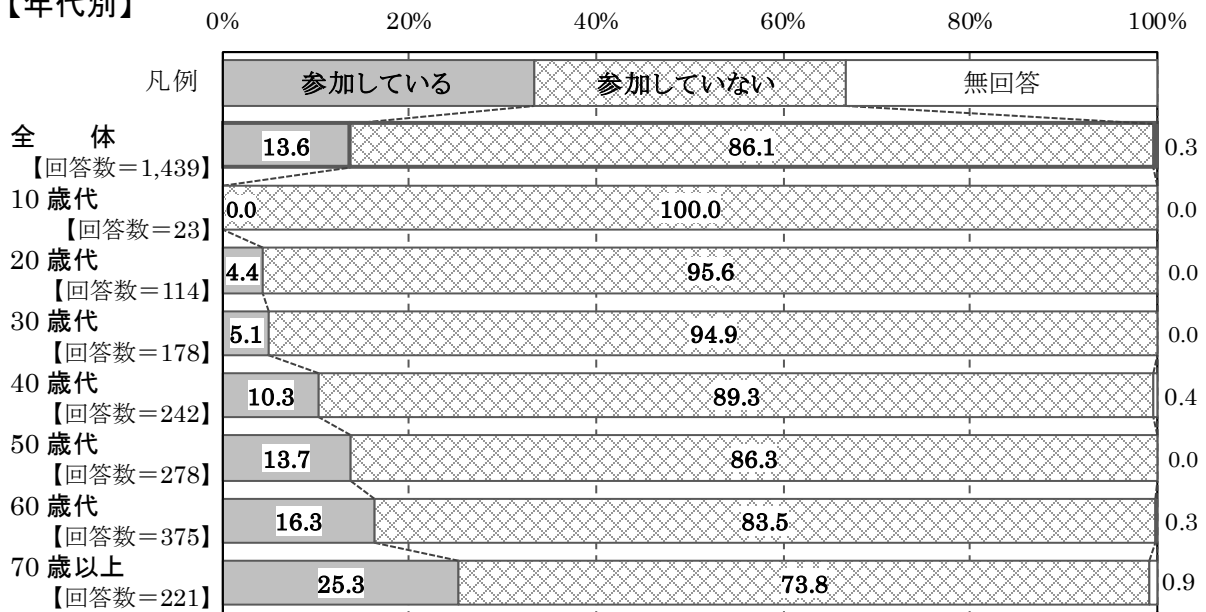
## II 調査結果

### (2)「地域福祉活動」の参加状況

問2 あなたは、「地域福祉活動」に参加していますか。(○は1つ)

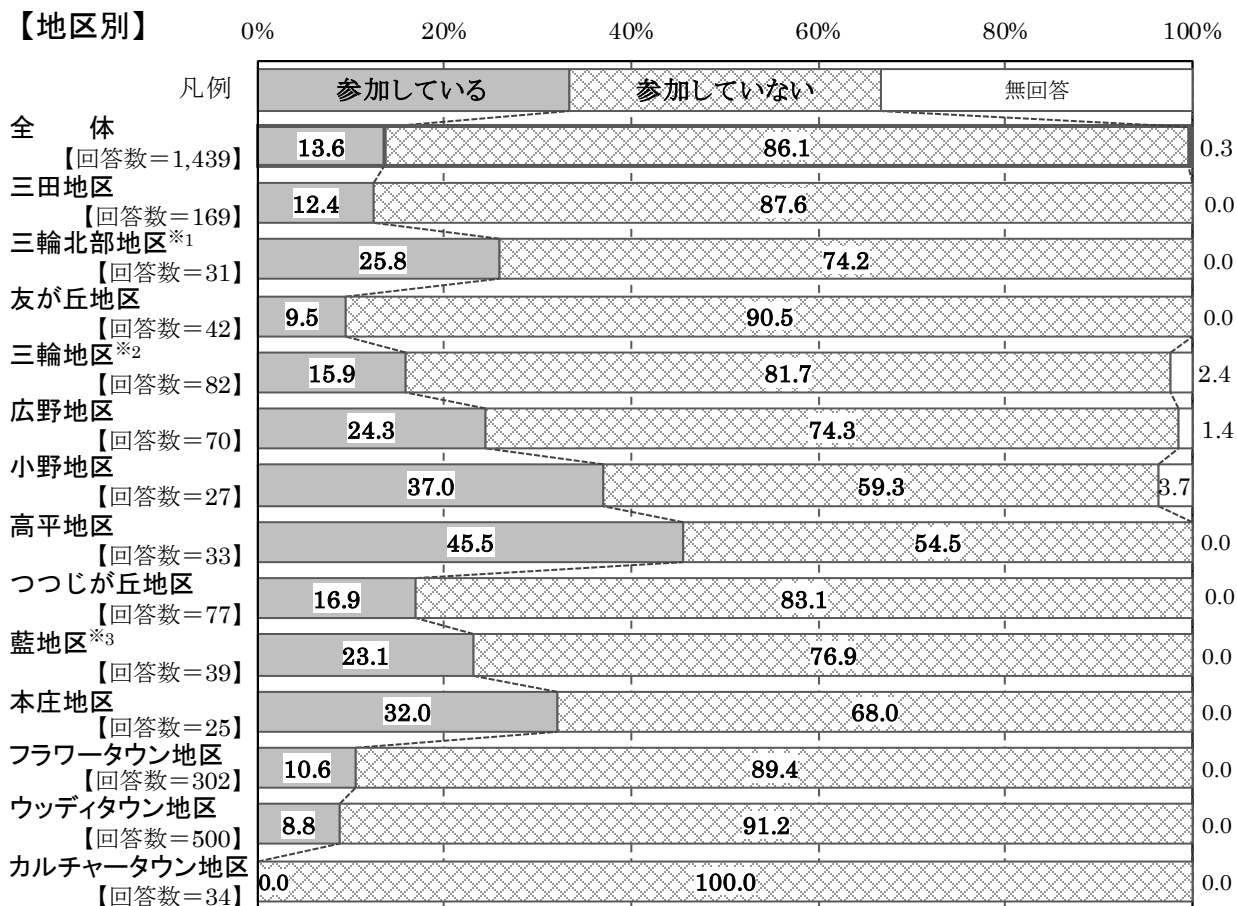
	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	(%)
1 参加している	195											
2 参加していない	1,239											
無回答	5											
全 体	1,439											

#### 【年代別】



地域福祉活動の参加状況は、「参加している」が13.6%、「参加していない」が86.1%となっています。

年代別にみると、「参加している」は70歳以上が25.3%と多く、年齢が低くなるほどその割合が少なくなっており、10歳代は「参加していない」が100%となっています。



※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、「参加している」は、高平地区が 45.5%、小野地区が 37.0%、本庄地区が 32.0% となっています。

一方「参加していない」は、カルチャータウン地区が 100%であり、ウッディタウン地区が 91.2%、友が丘地区が 90.5%となっています。

## II 調査結果

### (3)「地域福祉活動」に参加していない理由

問3 【問2で「2 参加していない」を選んだ方にお聞きします。】その最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50 (%)
1 忙しくて時間がない	577	46.6					
2 活動に興味がない	92	7.4					
3 人間関係がわずらわしい	74	6.0					
4 一緒に参加する人がいない	41	3.3					
5 いつどこで活動しているかわからない	263	21.2					
6 健康に自信がない	100	8.1					
7 自治区・自治会などの団体に入っていない	46	3.7					
8 その他	39	3.1					
無回答	7	0.6					
該当者	1,239						

※「その他」の内容：介護や育児のため(13)、検討しているが参加できていない(4)、家族が活動している(3)、当番の時に参加している(3)、きっかけがない(2)、最近引っ越してきた(2)など

#### 【年代別】 【地域福祉活動に参加していない最も大きな理由】

	忙しくて時間がない	活動に興味がない	人間関係がわずらわしい	一緒に参加する人がいない	いつどこで活動しているかわからない	健康に自信がない	自治区・自治会などの団体に入っていない	その他	無回答
該当者 【該当数=1,239】	46.6%	7.4%	6.0%	3.3%	21.2%	8.1%	3.7%	3.1%	0.6%
10歳代 【該当数=23】	43.5%	21.7%	0.0%	0.0%	30.4%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%
20歳代 【該当数=109】	50.5%	10.1%	1.8%	4.6%	20.2%	0.9%	6.4%	4.6%	0.9%
30歳代 【該当数=169】	58.0%	4.1%	4.1%	3.6%	23.7%	0.0%	4.7%	1.2%	0.6%
40歳代 【該当数=216】	56.0%	9.7%	5.6%	1.4%	22.7%	0.9%	2.8%	0.9%	0.0%
50歳代 【該当数=240】	52.5%	6.3%	6.3%	3.8%	21.3%	4.2%	2.9%	2.5%	0.4%
60歳代 【該当数=313】	40.9%	7.0%	8.3%	3.5%	19.8%	12.8%	2.2%	4.2%	1.3%
70歳以上 【該当数=163】	22.7%	6.7%	6.1%	4.3%	18.4%	28.8%	6.1%	6.7%	0.0%

地域福祉活動に参加していない最も大きな理由は、「忙しくて時間がない」が46.6%と最も多く、次いで「いつどこで活動しているかわからない」が21.2%、「健康に自信がない」が8.1%となっています。

年代別にみると、10歳代から60歳代は「忙しくて時間がない」が4割以上と最も多く、70歳以上は「健康に自信がない」が28.8%と最も多く、次いで「忙しくて時間がない」が22.7%とな

っています。10歳代から60歳代の第2位は「いつどこで活動しているかわからない」となっています。

【地区別】 【地域福祉活動に参加していない最も大きな理由】

	忙しくて時間がない	活動に興味がない	人間関係がわずらわしい	一緒に参加する人がいない	いつどこで活動しているかわからない	健康に自信がない	自治区・自治会などの団体に入っていない	その他	無回答
該当者 【該当数=1,239】	46.6%	7.4%	6.0%	3.3%	21.2%	8.1%	3.7%	3.1%	0.6%
三田地区 【該当数=148】	48.0%	6.8%	3.4%	3.4%	26.4%	6.1%	3.4%	2.0%	0.7%
三輪北部地区※1 【該当数=23】	47.8%	0.0%	0.0%	0.0%	34.8%	8.7%	0.0%	8.7%	0.0%
友が丘地区 【該当数=38】	34.2%	5.3%	2.6%	0.0%	15.8%	21.1%	10.5%	7.9%	2.6%
三輪地区※2 【該当数=67】	37.3%	10.4%	11.9%	0.0%	16.4%	10.4%	7.5%	3.0%	3.0%
広野地区 【該当数=52】	50.0%	3.8%	5.8%	5.8%	19.2%	9.6%	3.8%	1.9%	0.0%
小野地区 【該当数=16】	43.8%	12.5%	6.3%	0.0%	18.8%	12.5%	0.0%	6.3%	0.0%
高平地区 【該当数=18】	33.3%	5.6%	5.6%	0.0%	11.1%	27.8%	11.1%	5.6%	0.0%
つつじが丘地区 【該当数=64】	40.6%	6.3%	9.4%	3.1%	28.1%	6.3%	3.1%	3.1%	0.0%
藍地区※3 【該当数=30】	60.0%	0.0%	0.0%	6.7%	16.7%	13.3%	3.3%	0.0%	0.0%
本庄地区 【該当数=17】	29.4%	5.9%	0.0%	5.9%	11.8%	29.4%	17.6%	0.0%	0.0%
フラワータウン地区 【該当数=270】	47.8%	11.1%	5.2%	3.3%	18.1%	8.5%	1.9%	4.1%	0.0%
ウッディタウン地区 【該当数=456】	49.1%	6.6%	6.8%	4.2%	21.1%	5.5%	3.3%	2.9%	0.7%
カルチャータウン地区 【該当数=34】	44.1%	8.8%	5.9%	0.0%	32.4%	2.9%	5.9%	0.0%	0.0%

※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、本庄地区は「忙しくて時間がない」と「健康に自信がない」が最も多く、その他の地区は「忙しくて時間がない」が最も多く、藍地区は60.0%となっています。

第2位は、友が丘地区と高平地区は「健康に自信がない」であり、その他の地区は「いつどこで活動しているかわからない」となっています。

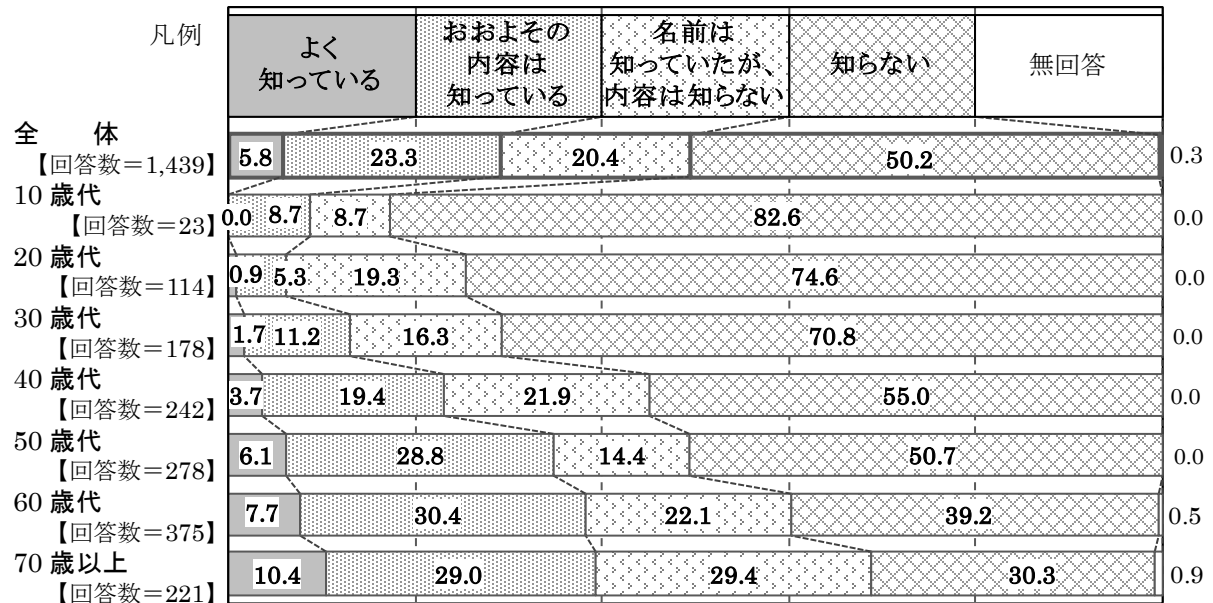
## II 調査結果

### (4)「避難行動要支援者支援制度」の認知状況

問4 あなたは、「避難行動要支援者支援制度」についてご存じですか。(〇は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50	60 (%)
1 よく知っている	83	5.8						
2 おおよその内容は知っている	335	23.3						
3 名前は知っていたが、内容は知らない	294	20.4						
4 知らない	722	50.2						
無回答	5	0.3						
全体	1,439							

【年代別】 0% 20% 40% 60% 80% 100%



“避難行動要支援者支援制度”については、「知らない」が50.2%と最も多く、次いで「おおよその内容は知っている」が23.3%、「名前は知っていたが、内容は知らない」が20.4%となっています。

「よく知っている」と「おおよその内容は知っている」を合わせた『内容を知っている』は29.0%、さらに「名前は知っていたが、内容を知らない」を合わせた『名前は知っている』は49.5%となっています。

年代別にみると、すべての年代とも「知らない」が最も多く、10歳代は82.6%となっています。

『内容を知っている』は70歳以上が39.4%、60歳代が38.1%となっています。

『名前は知っている』は70歳以上が68.8%、60歳代が60.2%となっています。

【地区別】 0% 20% 40% 60% 80% 100%

凡例	よく知っている	おおよそその内容は知っている	名前は知っていたが、内容は知らない	知らない	無回答
全体 【回答数=1,439】	5.8	23.3	20.4	50.2	0.3
三田地区 【回答数=169】	6.5	17.2	18.9	56.8	0.6
三輪北部地区※1 【回答数=31】	16.1	19.4	12.9	51.6	0.0
友が丘地区 【回答数=42】	2.4	23.8	23.8	50.0	0.0
三輪地区※2 【回答数=82】	7.3	23.2	15.9	52.4	1.2
広野地区 【回答数=70】	7.1	22.9	15.7	52.9	1.4
小野地区 【回答数=27】	3.7	33.3	22.2	37.0	3.7
高平地区 【回答数=33】	9.1	30.3	33.3	27.3	0.0
つつじが丘地区 【回答数=77】	5.2	20.8	18.2	55.8	0.0
藍地区※3 【回答数=39】	7.7	25.6	33.3	33.3	0.0
本庄地区 【回答数=25】	8.0	24.0	36.0	32.0	0.0
フラワータウン地区 【回答数=302】	7.3	26.5	20.2	46.0	0.0
ウッディタウン地区 【回答数=500】	3.8	23.6	20.0	52.6	0.0
カルチャータウン地区 【回答数=34】	0.0	11.8	29.4	58.8	0.0

※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

※3 つつじが丘地区を除く

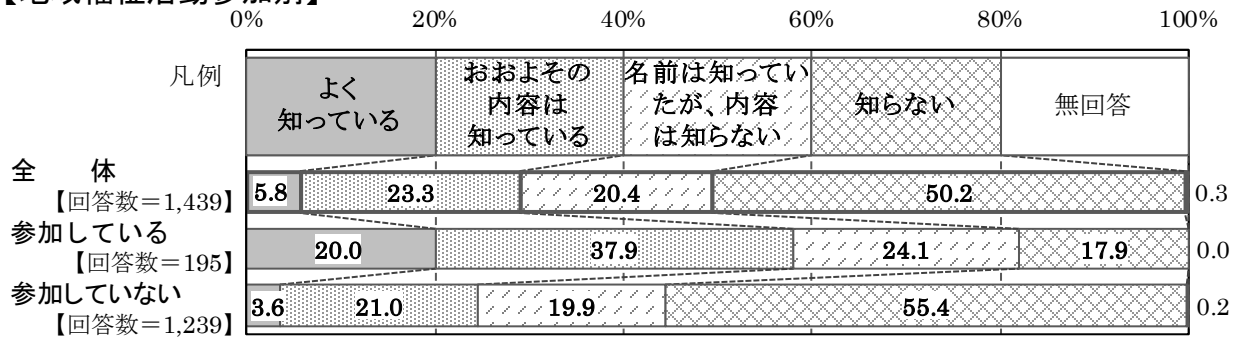
地区別にみると、高平地区と本庄地区は「名前を知っていたが、内容は知らない」がそれぞれ33.3%、36.0%と最も多くなっており、藍地区は「名前を知っていたが、内容は知らない」と「知らない」が33.3%であり、その他の地区は「知らない」が最も多く、カルチャータウン地区が58.8%、三田地区が56.8%、つつじが丘地区が55.8%となっています。

『内容を知っている』は、高平地区が39.4%、小野地区が37.0%となっています。

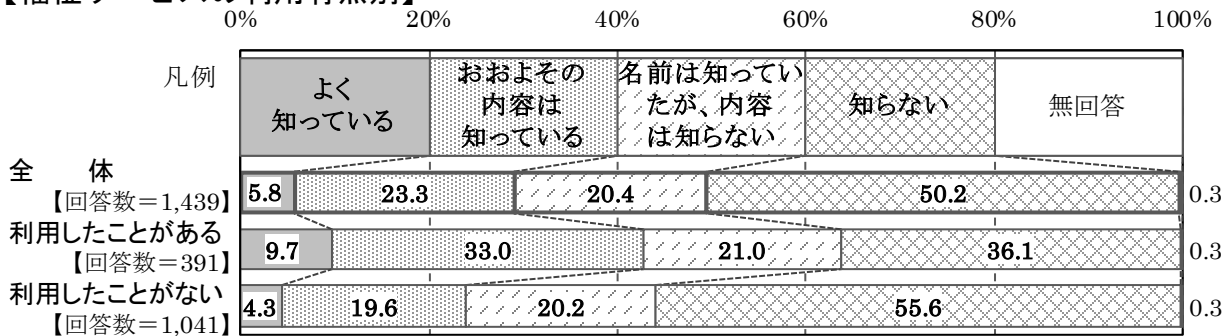
『名前は知っている』は、高平地区が72.7%、本庄地区が68.0%となっています。

## II 調査結果

### 【地域福祉活動参加別】



### 【福祉サービスの利用有無別】



地域福祉活動の参加別にみると、“参加している”は、「おおよその内容は知っている」が37.9%、「名前は知っていたが、内容は知らない」が24.1%、「よく知っている」は20.0%となっており、『内容は知っている』が57.9%、『名前は知っている』が82.0%となっています。

“参加していない”は、「知らない」が55.4%、「おおよその内容は知っている」が21.0%、「名前は知っていたが、内容は知らない」が19.9%となっており、『内容は知っている』が24.6%、『名前は知っている』が44.5%となっています。

福祉サービスの利用の有無別にみると、“利用したことがある”は、「知らない」が36.1%、「おおよその内容は知っている」が33.0%、「名前は知っていたが、内容は知らない」が21.0%となっており、『内容は知っている』が42.7%、『名前は知っている』が63.7%となっています。

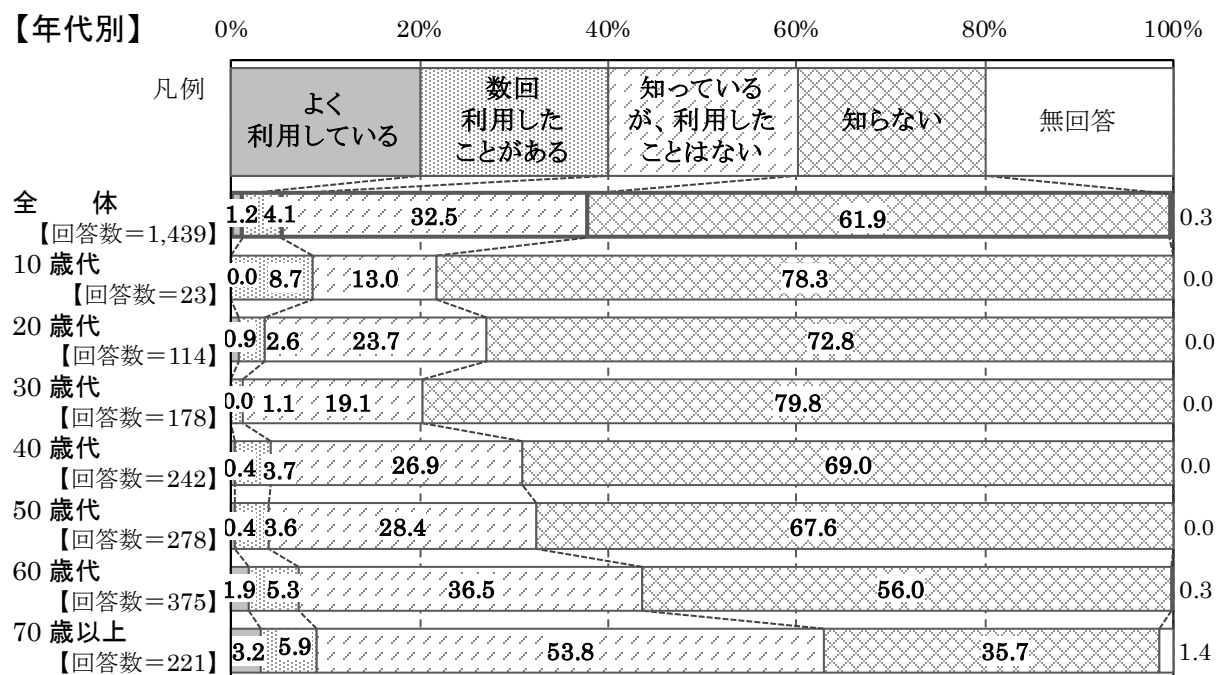
“利用したことがない”は、「知らない」が55.6%、「名前は知っていたが、内容は知らない」が20.2%、「おおよその内容は知っている」が19.6%となっており、『内容は知っている』が23.9%、『名前は知っている』が44.1%となっています。

(5)「地域福祉支援室」の利用・認知状況

問5 あなたは、市民センターなどに設置された「地域福祉支援室」を利用したことがありますか。(○は1つ)



【年代別】



“地域福祉支援室”については、「知らない」が61.9%と最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が32.5%、「数回利用したことがある」が4.1%となっています。

「よく利用している」と「数回利用したことがある」を合わせた『利用経験あり』は5.3%、さらに「知っているが、利用したことはない」を合わせた『名前は知っている』は37.7%となっています。

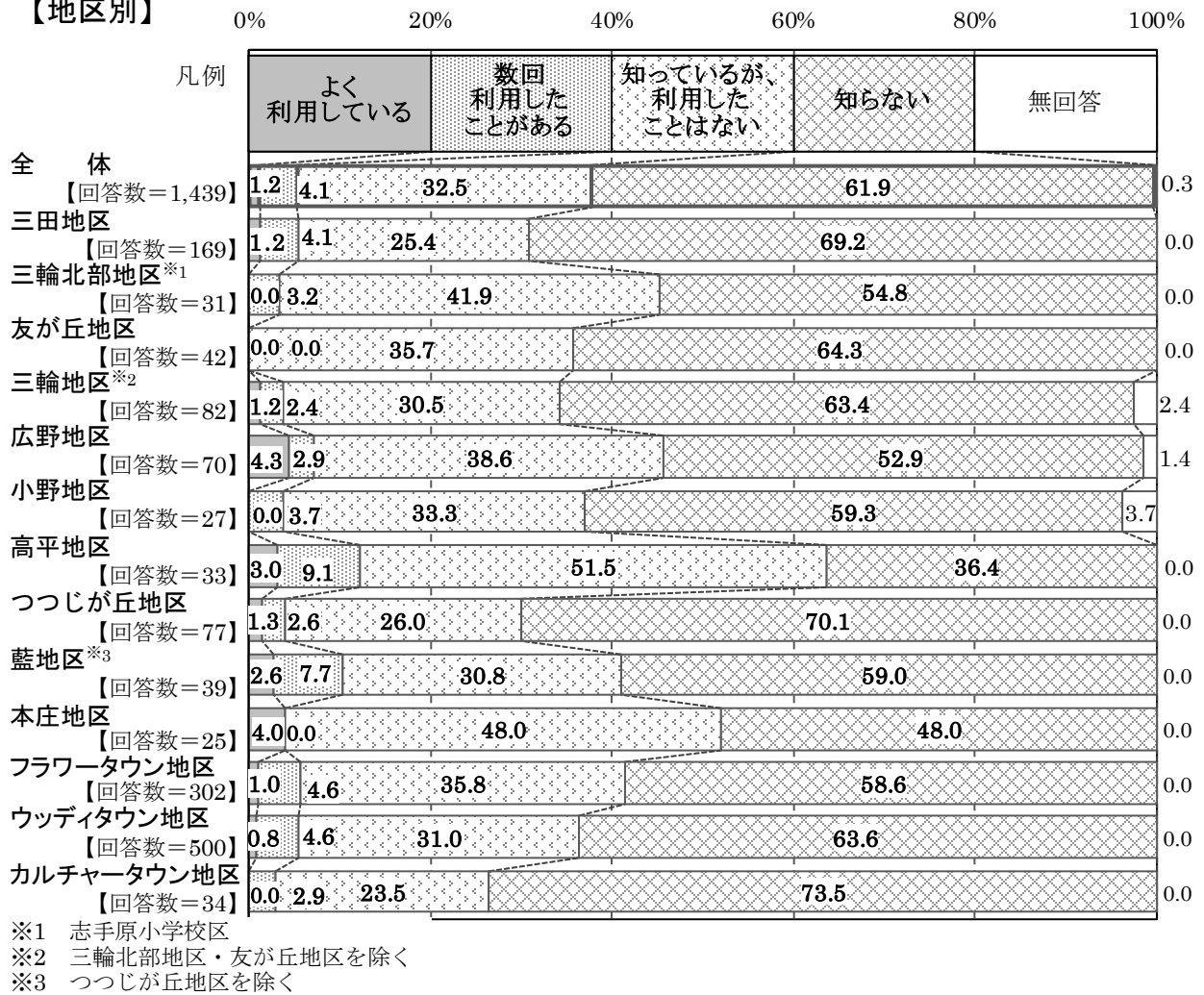
年代別にみると、10歳代から60歳代は「知らない」が最も多く、30歳代は79.8%となっています。70歳以上は「知っているが、利用したことはない」が53.8%と最も多くなっています。

『利用経験あり』は70歳以上が9.1%、10歳代が8.7%となっています。

『名前は知っている』は70歳以上が62.9%、60歳代が43.7%となっています。

## II 調査結果

### 【地区別】

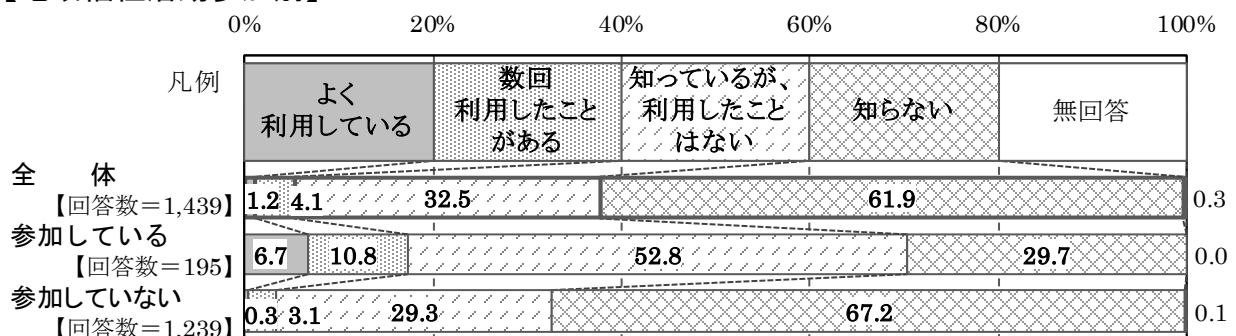


地区別にみると、高平地区は「知っているが、利用したことはない」が51.5%と最も多く、本庄地区は「知っているが、利用したことはない」と「知らない」が48.0%であり、その他の地区は「知らない」が最も多く、カルチャータウン地区が73.5%、つつじが丘地区が70.1%、三田地区が69.2%となっています。

『利用経験あり』は、高平地区が12.1%、藍地区が10.3%となっています。

『名前は知っている』は、高平地区が63.6%、本庄地区が52.0%となっています。

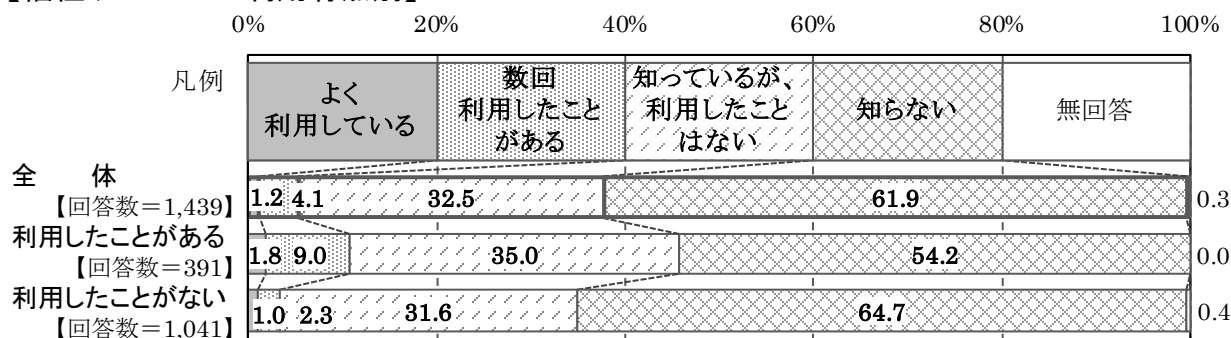
### 【地域福祉活動参加別】



地域福祉活動の参加別にみると、「参加している」は、「知っているが、利用したことはない」が52.8%、「知らない」が29.7%、「数回利用したことがある」が10.8%となっており、『利用経験あり』が17.5%、『名前は知っている』が70.3%となっています。

“参加していない”は、「知らない」が67.2%、「知っているが、利用したことはない」が29.3%、「数回利用したことがある」が3.1%となっており、『利用経験あり』が3.4%、『名前は知っている』が32.7%となっています。

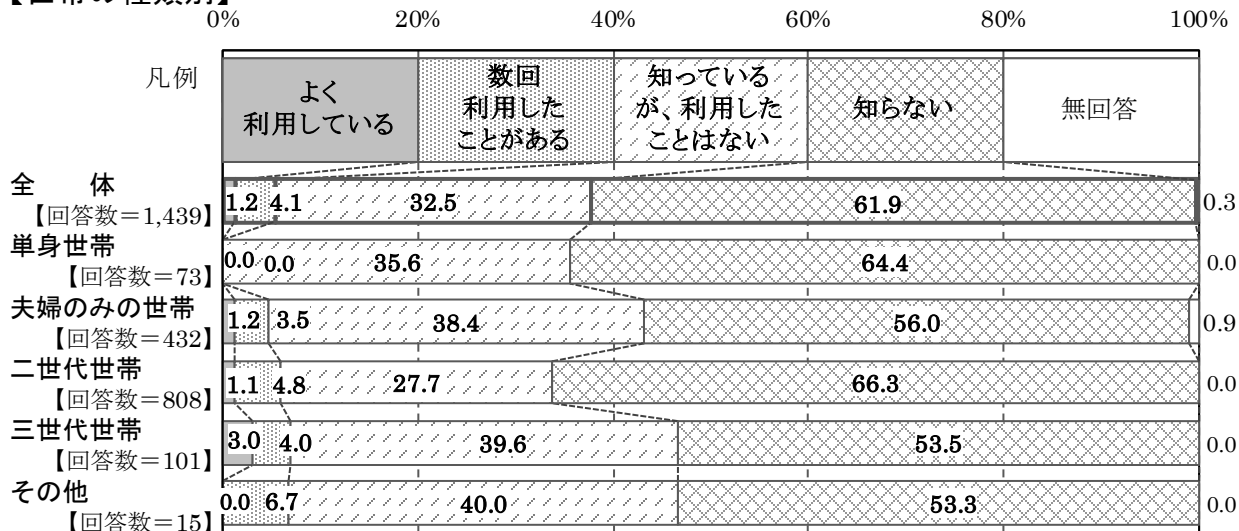
【福祉サービスの利用有無別】



福祉サービスの利用の有無別にみると、“利用したことがある”は、「知らない」が54.2%、「知っているが、利用したことはない」が35.0%、「数回利用したことがある」が9.0%となっており、『利用経験あり』が10.8%、『名前は知っている』が45.8%となっています。

“利用したことがない”は、「知らない」が64.7%、「知っているが、利用したことはない」が31.6%、「数回利用したことがある」が2.3%となっており、『利用経験あり』が3.3%、『名前は知っている』が34.9%となっています。

【世帯の種類別】



世帯の種類別にみると、すべての世帯とも「知らない」が半数を超えており、二世帯世帯は66.3%となっています。

『利用経験あり』は、三世帯世帯が7.0%、その他が6.7%となっています。

『名前は知っている』は、その他が46.7%、三世帯世帯が46.6%となっています。

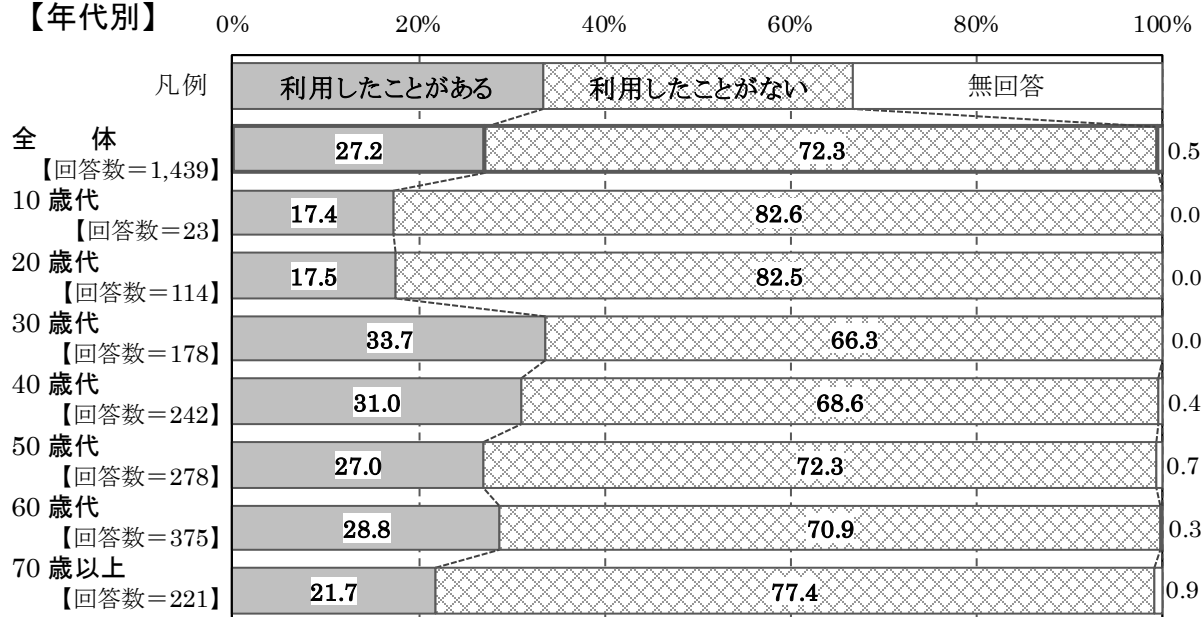
## II 調査結果

### (6) 福祉サービスの利用経験の有無

問6 あなたもしくはあなたのご家族は、これまでに子育てや、高齢者・障害者の介護・介助など、何らかの福祉サービスを利用したことがありますか。(○は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	(%)
1 利用したことがある	391	27.2									
2 利用したことがない	1,041	72.3									
無回答	7	0.5									
全 体	1,439										

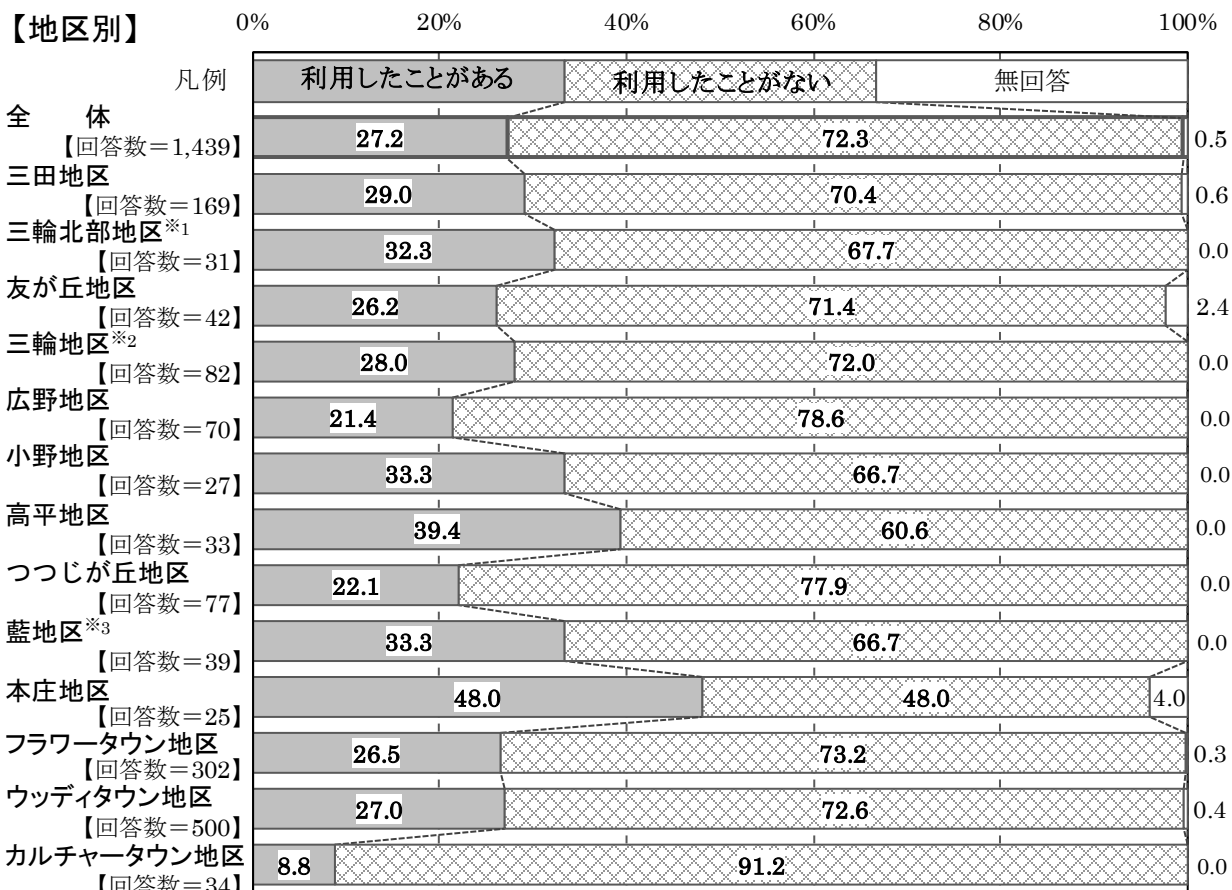
#### 【年代別】



“福祉サービス”は、「利用したことがある」が27.2%、「利用したことはない」が72.3%となっています。

年代別にみると、すべての年代とも「利用したことがない」が6割を超えており、10歳代が82.6%となっています。

「利用したことがある」は、30歳代が33.7%、40歳代が31.0%、60歳代が28.8%となっています。

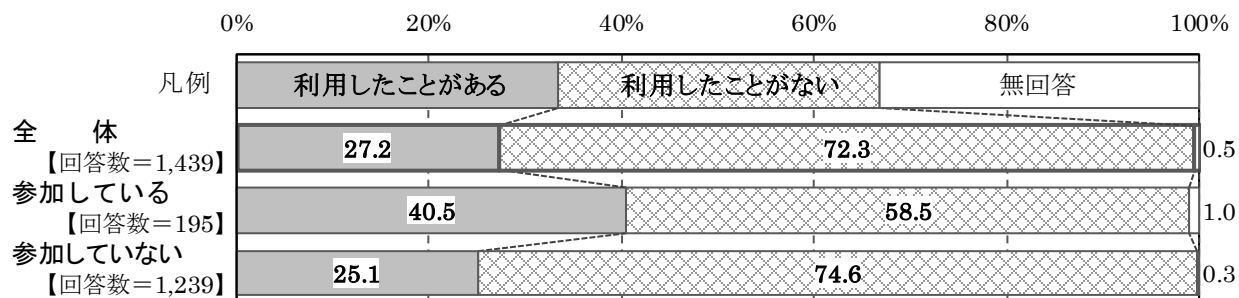


※1 志手原小学校区  
 ※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く  
 ※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、本庄地区は「利用したことがある」と「利用したことがない」がともに 48.0% となっており、その他の地区は「利用したことがない」が 6 割を超えており、カルチャータウン地区が 91.2%、広野地区が 78.6%、つつじが丘地区が 77.9%となっています。

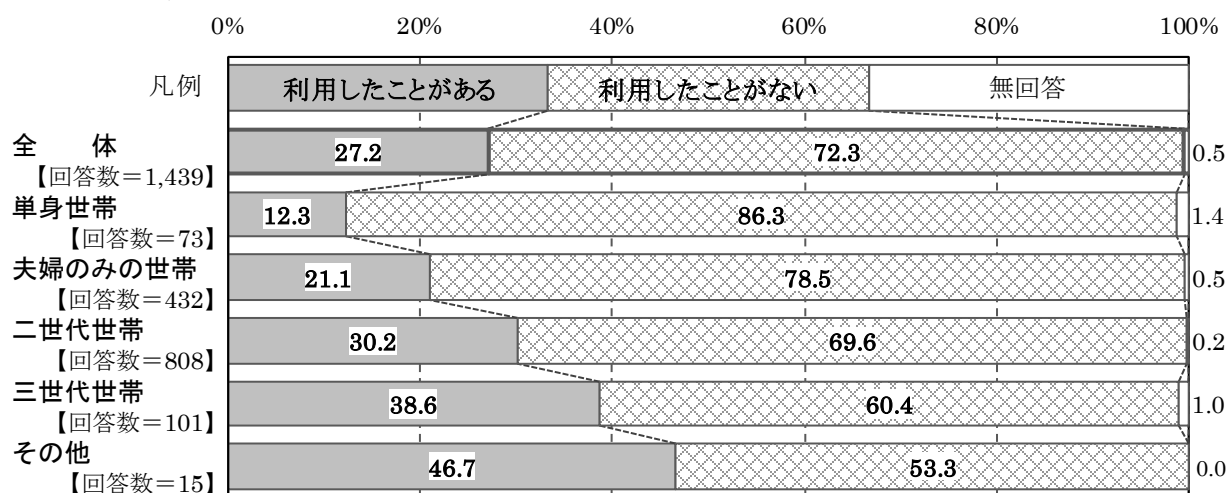
「利用したことがある」は、本庄地区が 48.0%、高平地区が 39.4%、小野地区が 33.3%となっています。

【地域福祉活動参加別】



地域福祉活動の参加別にみると、「利用したことがある」は“参加している”が 40.5%、“参加していない”が 25.1%となっています。

【世帯の種類別】



世帯の種類別にみると、「利用したことがある」は、その他が 46.7%、三世帯世帯が 38.6%と なっています。

**(7) 福祉サービスを利用して最も困ったこと**

問 7 【問 6 で「1 利用したことがある」を選んだ方にお聞きします。】サービスを利用して最も困ったことは何でしたか。(〇は 1 つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50 (%)
1 相談・問い合わせ先がわからなかった	24	6.1					
2 どのサービスが適しているのかわからなかった	46	11.8					
3 利用申請の方法がわかりにくかった	22	5.6					
4 サービス事業者の説明や対応が悪かった	7	1.8					
5 サービス利用料が負担となった	18	4.6					
6 利用したいサービスがなかった	6	1.5					
7 必要なサービスを利用できなかった	17	4.3					
8 利用できるようになるまで時間がかかった	47	12.0					
9 特に困ったことはなかった	193	49.4					
無回答	11	2.8					
該当者	391						

**【年代別】 【福祉サービスを利用して最も困ったこと】**

	相談・問い合わせ先がわからなかった	どのサービスが適しているのかわからなかった	利用申請の方法がわかりにくかった	サービス事業者の説明や対応が悪かった	サービス利用料が負担となった	利用したいサービスがなかった	必要なサービスを利用できなかった	利用できるようになるまで時間がかかった	特に困ったことはなかった	無回答
該当者 【該当数=391】	6.1%	11.8%	5.6%	1.8%	4.6%	1.5%	4.3%	12.0%	49.4%	2.8%
10 歳代 【該当数=4】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%
20 歳代 【該当数=20】	10.0%	15.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	35.0%	0.0%
30 歳代 【該当数=60】	5.0%	18.3%	5.0%	1.7%	5.0%	1.7%	5.0%	15.0%	41.7%	1.7%
40 歳代 【該当数=75】	5.3%	12.0%	10.7%	2.7%	6.7%	2.7%	2.7%	4.0%	52.0%	1.3%
50 歳代 【該当数=75】	10.7%	9.3%	4.0%	1.3%	1.3%	4.0%	2.7%	16.0%	46.7%	4.0%
60 歳代 【該当数=108】	6.5%	11.1%	7.4%	1.9%	4.6%	0.0%	3.7%	12.0%	48.1%	4.6%
70 歳以上 【該当数=48】	0.0%	8.3%	0.0%	2.1%	4.2%	0.0%	4.2%	14.6%	64.6%	2.1%

福祉サービスを利用して最も困ったことは、「特に困ったことはなかった」が 49.4%と最も多く、次いで「利用できるようになるまで時間がかかった」が 12.0%、「どのサービスが適しているのかわからなかった」が 11.8%となっています。

年代別にみると、すべての年代とも「特に困ったことはなかった」が最も多く、第 2 位は、20 歳代が「必要なサービスを利用できなかった」(20.0%)、30 歳代と 40 歳代が「どのサービスが適しているのかわからなかった」(18.3%、12.0%)、50 歳代から 70 歳以上が「利用できるようになるまで時間がかかった」(16.0%、12.0%、14.6%) となっています。

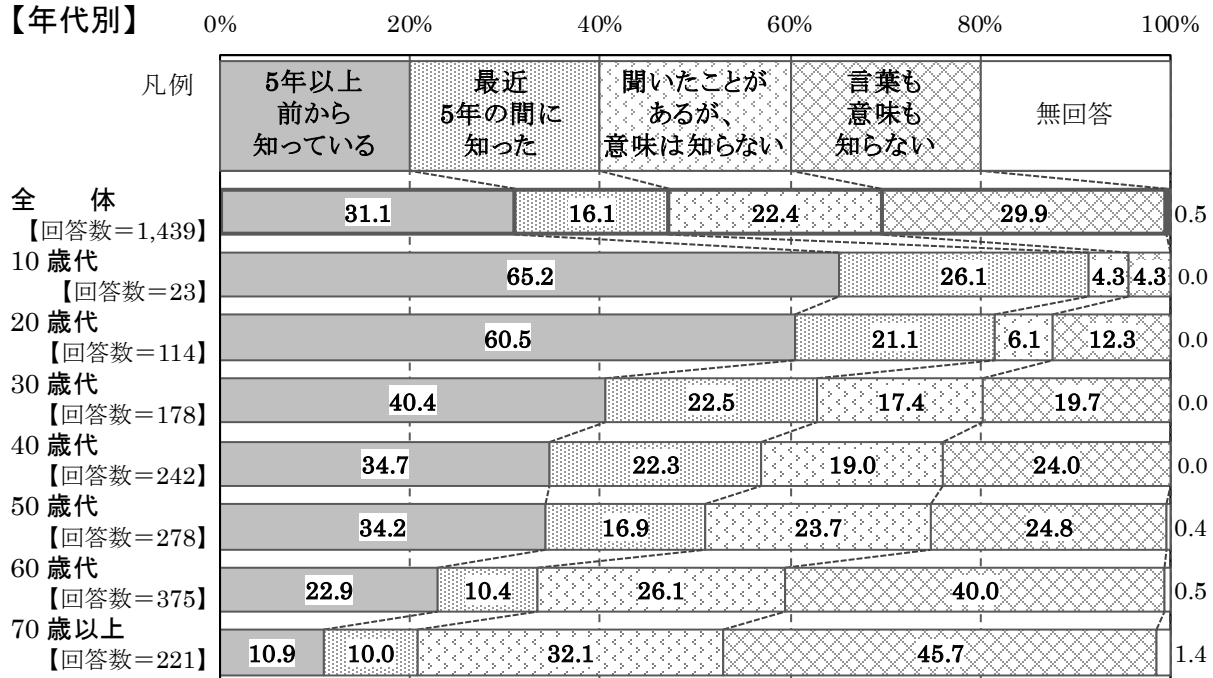
## II 調査結果

### (8)「ユニバーサルデザイン」の言葉の理解度

問 8 あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉とその意味を知っていますか。(〇は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40 (%)	
1 5年以上前から知っている	447	[Bar chart showing 31.1%]					31.1
2 最近5年の間に知った	232	[Bar chart showing 16.1%]					16.1
3 聞いたことがあるが、意味は知らない	323	[Bar chart showing 22.4%]					22.4
4 言葉も意味も知らない	430	[Bar chart showing 29.9%]					29.9
無回答	7	[Bar chart showing 0.5%]					0.5
全 体	1,439						

#### 【年代別】



“ユニバーサルデザイン”については、「5年以上前から知っている」が31.1%と最も多く、次いで「言葉も意味も知らない」が29.9%、「聞いたことがあるが、意味は知らない」が22.4%となっています。

「5年前以上前から知っている」と「最近5年の間に知った」を合わせた『意味を知っている』は47.2%であり、さらに「聞いたことがあるが、意味は知らない」を合わせた『聞いたことがある』は69.6%となっています。

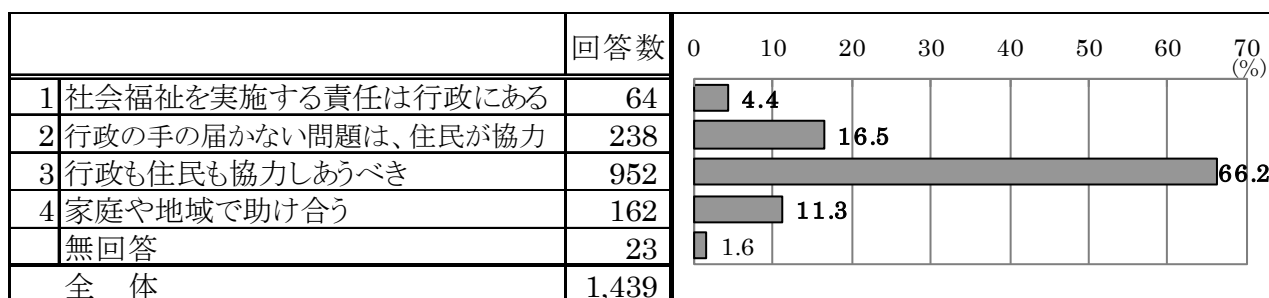
年代別にみると、10歳代から50歳代は「5年以上前から知っている」が最も多く、10歳代が65.2%、20歳代が60.5%と6割を超えている。60歳代と70歳以上は、「言葉も意味も知らない」が最も多く、それぞれ40.0%、45.7%となっています。

『意味を知っている』は、10歳代が91.3%、20歳代が81.6%、30歳代が62.9%となっています。

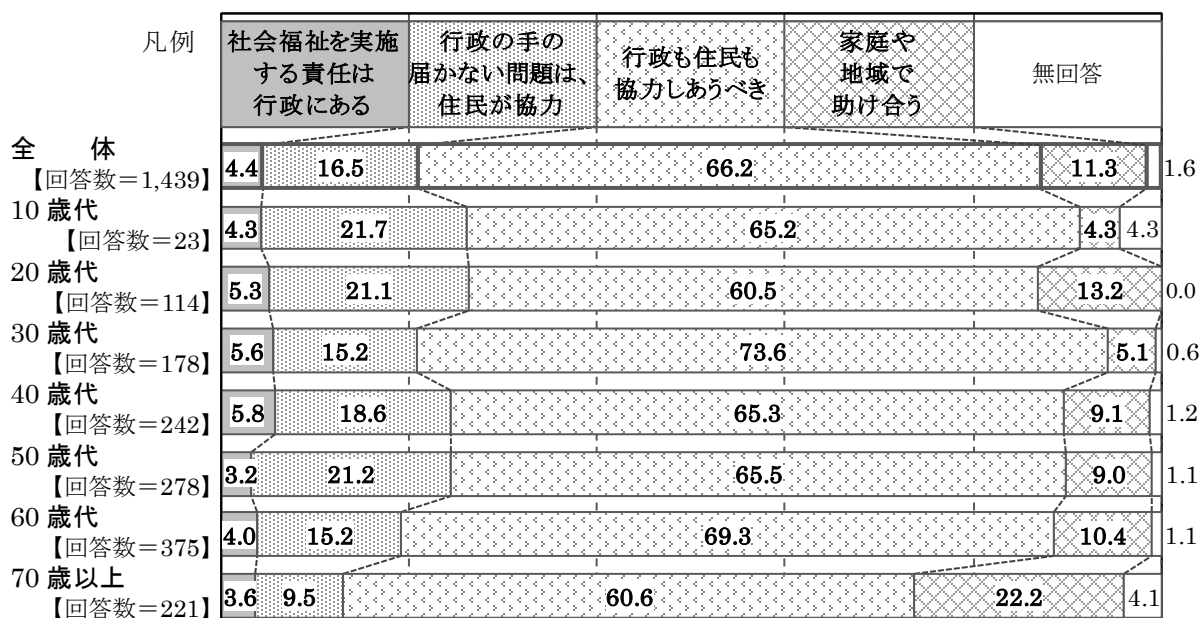
『聞いたことがある』は10歳代が95.6%、20歳代が87.7%、30歳代が80.3%となっています。

(9) “福祉のまち” づくりに関する行政と地域住民との関係

問9 だれもが、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる“福祉のまち”を創っていくうえで、行政と地域住民との関係について、あなたの考えに最も近いものは何ですか。(〇は1つ)



【年代別】 0% 20% 40% 60% 80% 100%



“福祉のまち”を創っていくうえでの行政と地域住民との関係については、「行政も住民も協力しあい（、ともに問題に取り組む）べき（だ）」が66.2%と最も多く、次いで「行政の手の届かない問題（について）は、住民が協力（していくべきだ）」が16.5%、「家庭や地域で助け合い（、できない場合に行政が援助するべきだ）」が11.3%となっています。

年代別にみると、すべての年代とも「行政も住民も協力しあい（、ともに問題に取り組む）べき（だ）」が最も多く6割を超えており、30歳代が73.6%となっています。

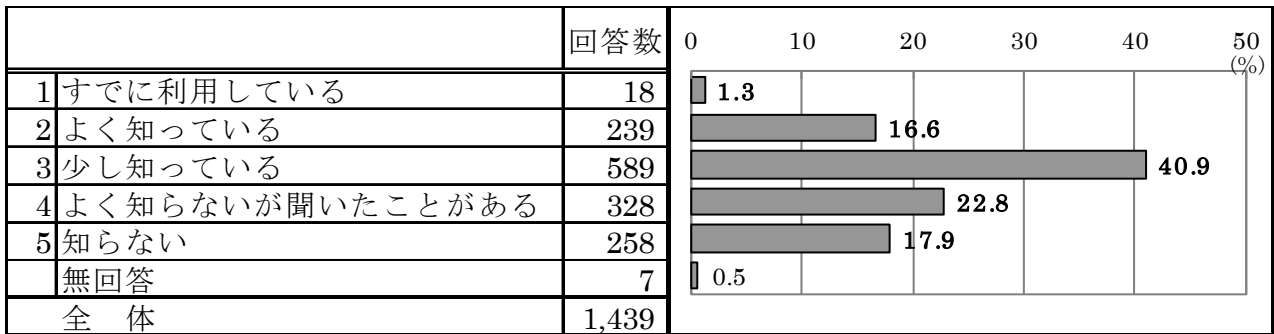
「行政の手の届かない問題（について）は、住民が協力（していくべきだ）」は、10歳代が21.7%、50歳代が21.2%、20歳代が21.1%となっています。

「家庭や地域で助け合い（、できない場合に行政が援助するべきだ）」は、70歳以上が22.2%、20歳代が13.2%、60歳代が10.4%となっています。

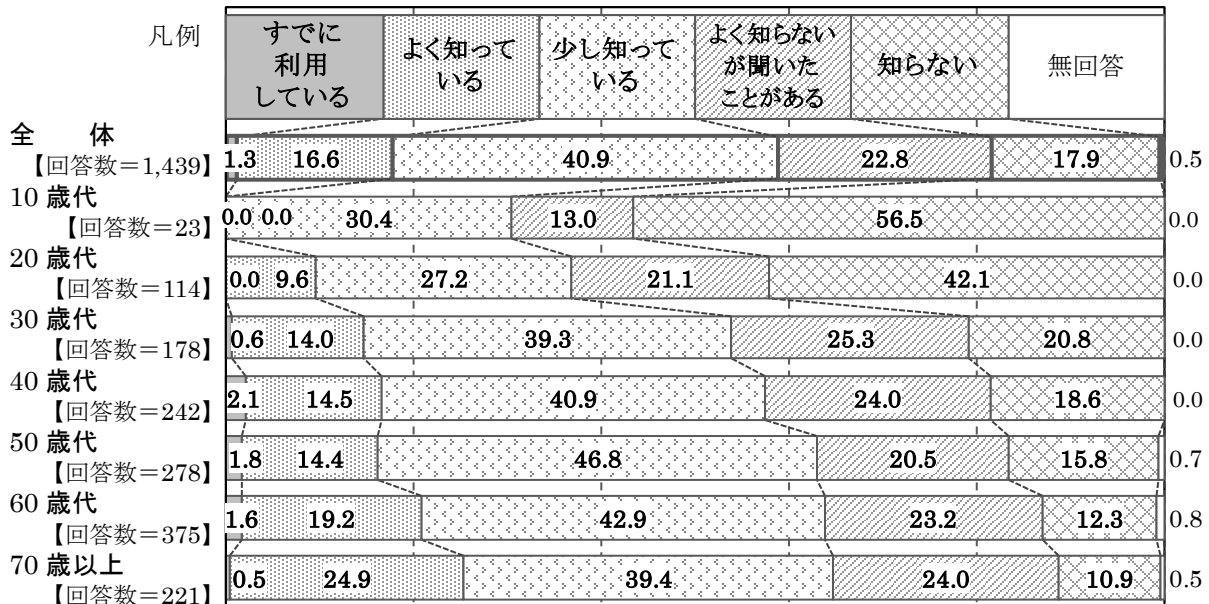
## 2 「成年後見制度」について

### (1) 「成年後見制度」の利用・認知状況

問 10 あなたは、「成年後見制度」についてご存じですか。(○は1つ)



【年代別】 0% 20% 40% 60% 80% 100%



“成年後見制度”については、「少し知っている」が40.9%と最も多く、次いで「よく知らないが聞いたことがある」が22.8%、「知らない」が17.9%となっています。

「すでに利用している」と「よく知っている」「少し知っている」を合わせた『知っている』は58.8%であり、さらに「よく知らないが聞いたことがある」を合わせた『聞いたことがある』は81.6%となっています。

年代別にみると、10歳代と20歳代は「知らない」がそれぞれ56.5%、42.1%と最も多く、30歳代以上は「少し知っている」が最も多く、50歳代が46.8%となっています。

『知っている』は、70歳以上が64.8%、60歳代が63.7%、50歳代が63.0%となっています。

『聞いたことがある』は、70歳以上が88.8%、60歳代が86.9%、50歳代が83.5%となっています。

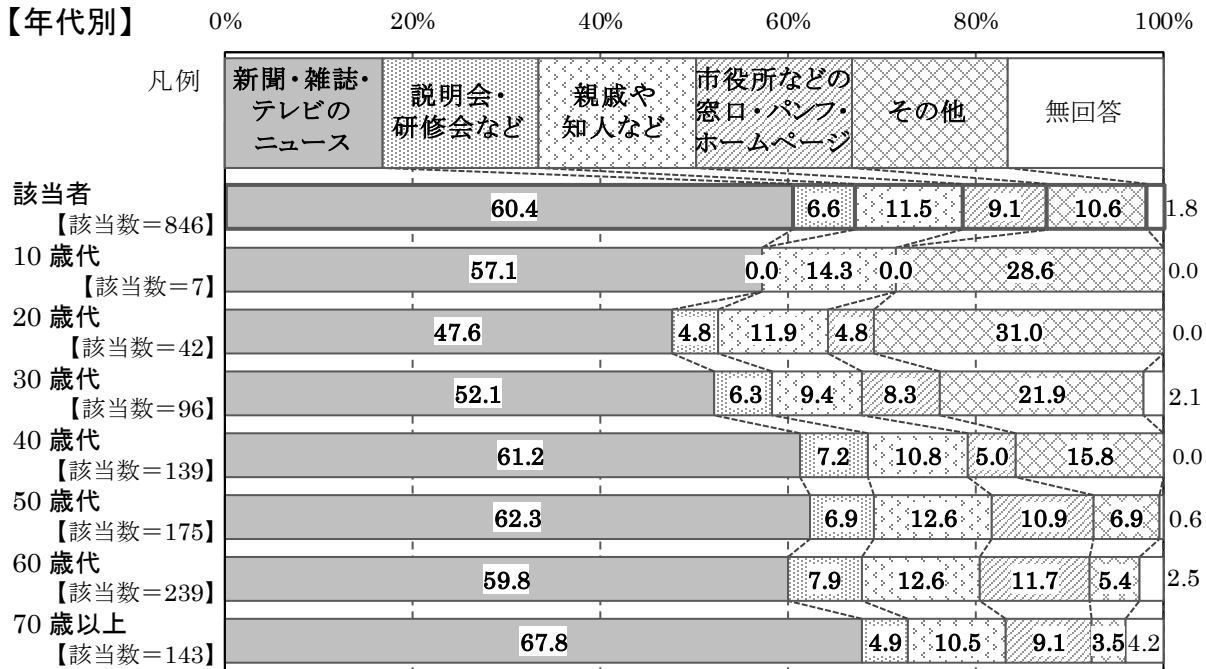
(2) 「成年後見制度」を知ったきっかけ

問 11 【問 10 で「1 すでに利用している」「2 よく知っている」「3 少し知っている」を選んだ方にお聞きします。】どこで「成年後見制度」を知り（聞き）ましたか。（○は1つ）

	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70 (%)
1 新聞・雑誌・テレビのニュース	511	60.4							
2 説明会・研修会など	56	6.6							
3 親戚や知人など	97	11.5							
4 市役所などの窓口・パンフ・ホームページ	77	9.1							
5 その他	90	10.6							
無回答	15	1.8							
該当者	846								

※「その他」の内容：仕事に関係している（42）、大学や高校の授業で（18）、資格取得の際に学んだ（12）、金融機関からの説明で（2） など

【年代別】



“成年後見制度”を知ったきっかけは、「新聞・雑誌・テレビのニュース」が60.4%と最も多く、次いで「親戚や知人など」が11.5%、「その他」が10.6%となっています。

年代別にみると、すべての年代とも「新聞・雑誌・テレビのニュース」が最も多く、70歳以上は67.8%となっています。

「親戚や知人など」は、10歳代が14.3%、50歳代と60歳代が12.6%となっています。

「その他」は、20歳代が31.0%、10歳代が28.6%、30歳代が21.9%となっています。

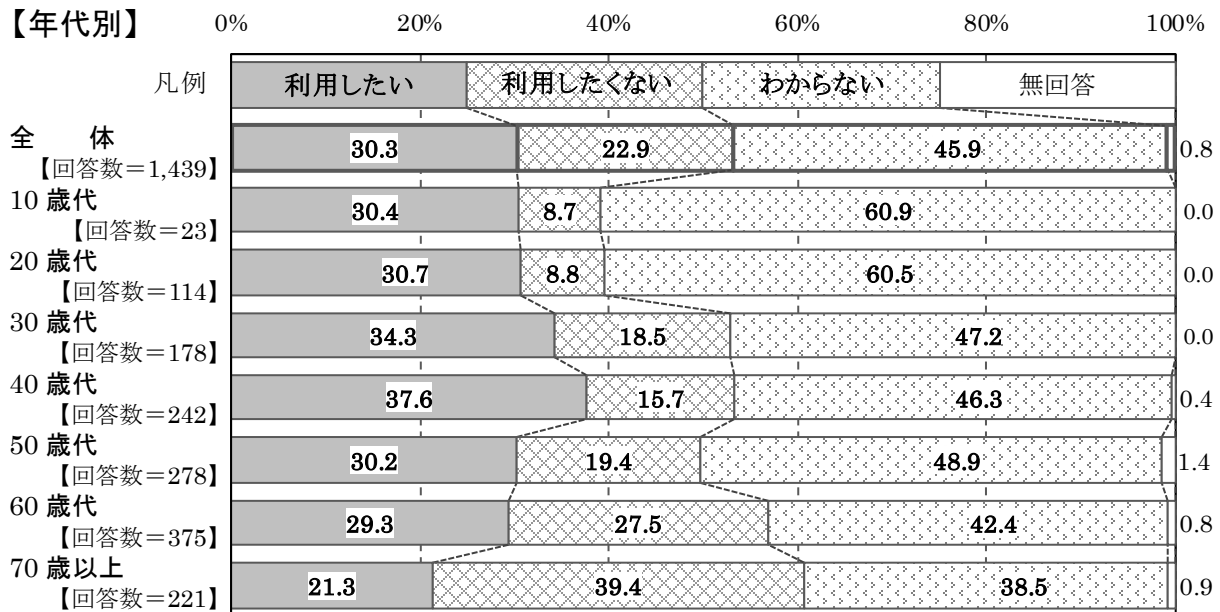
## II 調査結果

### (3)「成年後見制度」の利用意向

問 12 あなた自身や親族が認知症などにより判断能力が十分でなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(○は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50 (%)	
1 利用したい	436	30.3						
2 利用したくない	330	22.9						
3 わからない	661	45.9						
無回答	12	0.8						
全 体	1,439							

#### 【年代別】



“成年後見制度”の利用意向は、「わからない」が45.9%、「利用したい」が30.3%、「利用したくない」が22.9%となっています。

年代別にみると、70歳以上は「利用したくない」が39.4%と最も多く、その他の年代は「わからない」が最も多く、10歳代は60.9%となっています。

「利用したい」は、40歳代が37.6%、30歳代が34.3%、20歳代が30.7%となっています。

**(4)「成年後見制度」を利用したくない理由**

問 13 【問 12 で「2 利用したくない」を選んだ方にお聞きします。】その理由として、あなたの考えに最も近いものは何ですか。(○は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70	80 (%)
1 制度を使わなくとも家族がいる	235	71.2								
2 他人に財産などを任せることが心配	34	10.3								
3 家族などの信頼関係が崩れるおそれがある	8	2.4								
4 援助者になってほしい人がみあたらない	5	1.5								
5 費用がどのくらいかかるか心配	5	1.5								
6 手続きが大変そう	21	6.4								
7 裁判所に申し立てることに抵抗がある	3	0.9								
8 どういうときに利用していいかわからない	7	2.1								
9 その他	11	3.3								
無回答	1	0.3								
該当者	330									

※「その他」の内容：家族以外を後見人することに抵抗がある (2)、後見人の負担が生じる (2)、費用負担が必要な (2)、家族が助けてもらえない場合は検討する など

**【年代別】 【成年後見制度を利用したくない最も大きな理由】**

	制度を使わなくとも家族がいる	他人に財産などを任せることが心配	家族などの信頼関係が崩れるおそれがある	援助者になってほしい人がみあたらない	費用がどのくらいかかるか心配	手続きが大変そう	裁判所に申し立てることに抵抗がある	利用していいかわからない	その他	無回答
該当者 【該当数=330】	71.2%	10.3%	2.4%	1.5%	1.5%	6.4%	0.9%	2.1%	3.3%	0.3%
10 歳代 【該当数=2】	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20 歳代 【該当数=10】	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30 歳代 【該当数=33】	51.5%	15.2%	3.0%	0.0%	3.0%	9.1%	3.0%	3.0%	9.1%	3.0%
40 歳代 【該当数=38】	55.3%	15.8%	0.0%	0.0%	7.9%	7.9%	0.0%	10.5%	2.6%	0.0%
50 歳代 【該当数=54】	61.1%	13.0%	3.7%	5.6%	0.0%	9.3%	1.9%	0.0%	5.6%	0.0%
60 歳代 【該当数=103】	79.6%	7.8%	1.0%	1.9%	1.0%	4.9%	1.0%	1.0%	1.9%	0.0%
70 歳以上 【該当数=87】	87.4%	2.3%	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	1.1%	2.3%	0.0%

“成年後見制度”を利用したくない最も大きな理由は、「制度を使わなくとも家族がいる」が71.2%、「他人に財産などを任せることが心配」が10.3%となっています。

年代別にみると、20歳代は「他人に財産などを任せることが心配」が最も多く、その他の年代は「制度を使わなくとも家族がいる」が最も多くなっています。

## II 調査結果

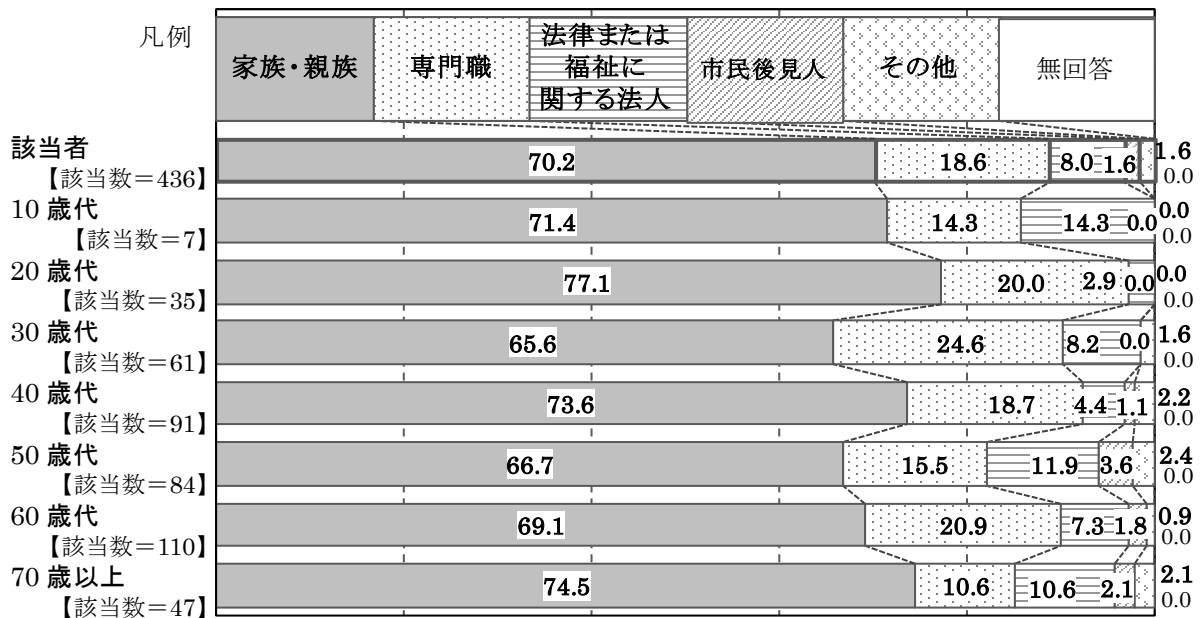
### (5)「成年後見制度」で援助者（後見人など）になってもらいたい人

問 14 【問 12 で「1 利用したい」を選んだ方にお聞きします。】援助者（後見人など）にはだれになってもらいたいですか。（○は1つ）

	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70	80 (%)
1 家族・親族	306	70.2								
2 専門職(弁護士・司法書士など)	81	18.6								
3 法律または福祉に関する法人	35	8.0								
4 市民後見人(研修を受けた市民など)	7	1.6								
5 その他	7	1.6								
無回答	0	0.0								
該当者	436									

※「その他」の内容：家族に頼みたいが負担等を考えると専門機関(3)、利用方法や依頼先などがわからない(2)、友人 など

### 【年代別】 0% 20% 40% 60% 80% 100%



“成年後見制度”の利用に際して援助者（後見人）になってもらいたいのは、「家族・親族」が70.2%、「専門職（弁護士・司法書士など）」が18.6%となっています。

年代別にみると、すべての年代とも「家族・親族」が最も多くなっています。

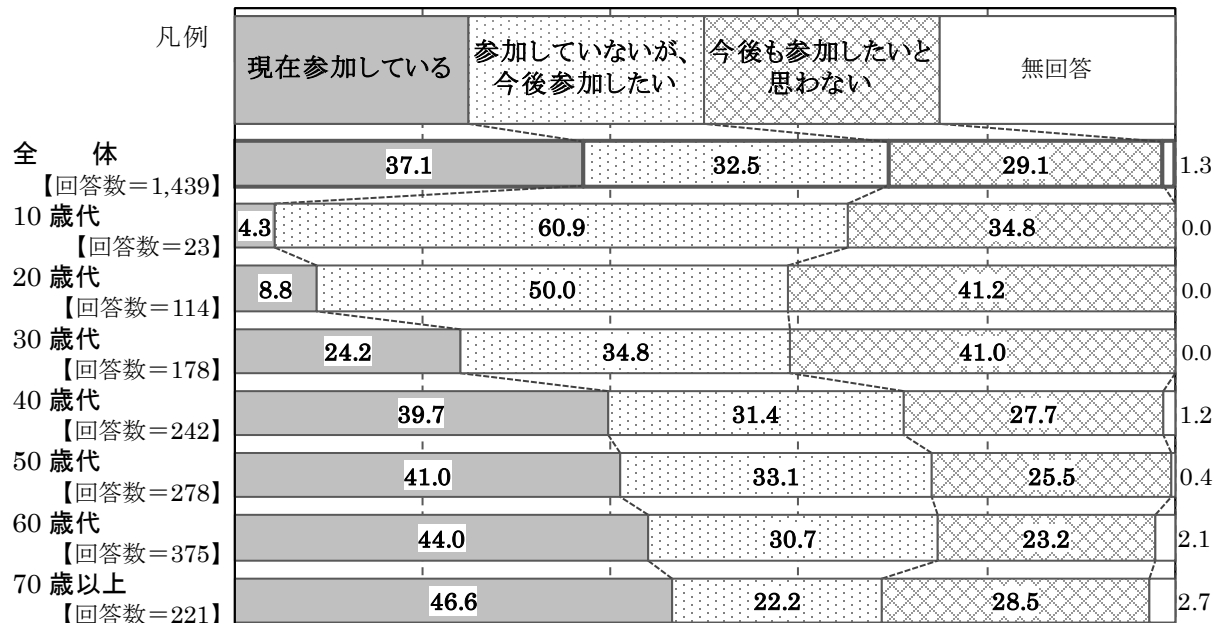
### 3 総合計画の取り組みについて

#### (1) 地域活動への参加状況

問 15 あなたは、地域活動（自治会の活動やボランティアの活動など）に参加していますか。（○は1つ）

	回答数	0	10	20	30	40 (%)	
1 現在参加している	534						37.1
2 参加していないが、今後参加したい	467						32.5
3 今後も参加したいと思わない	419						29.1
無回答	19						1.3
全 体	1,439						

【年代別】 0% 20% 40% 60% 80% 100%

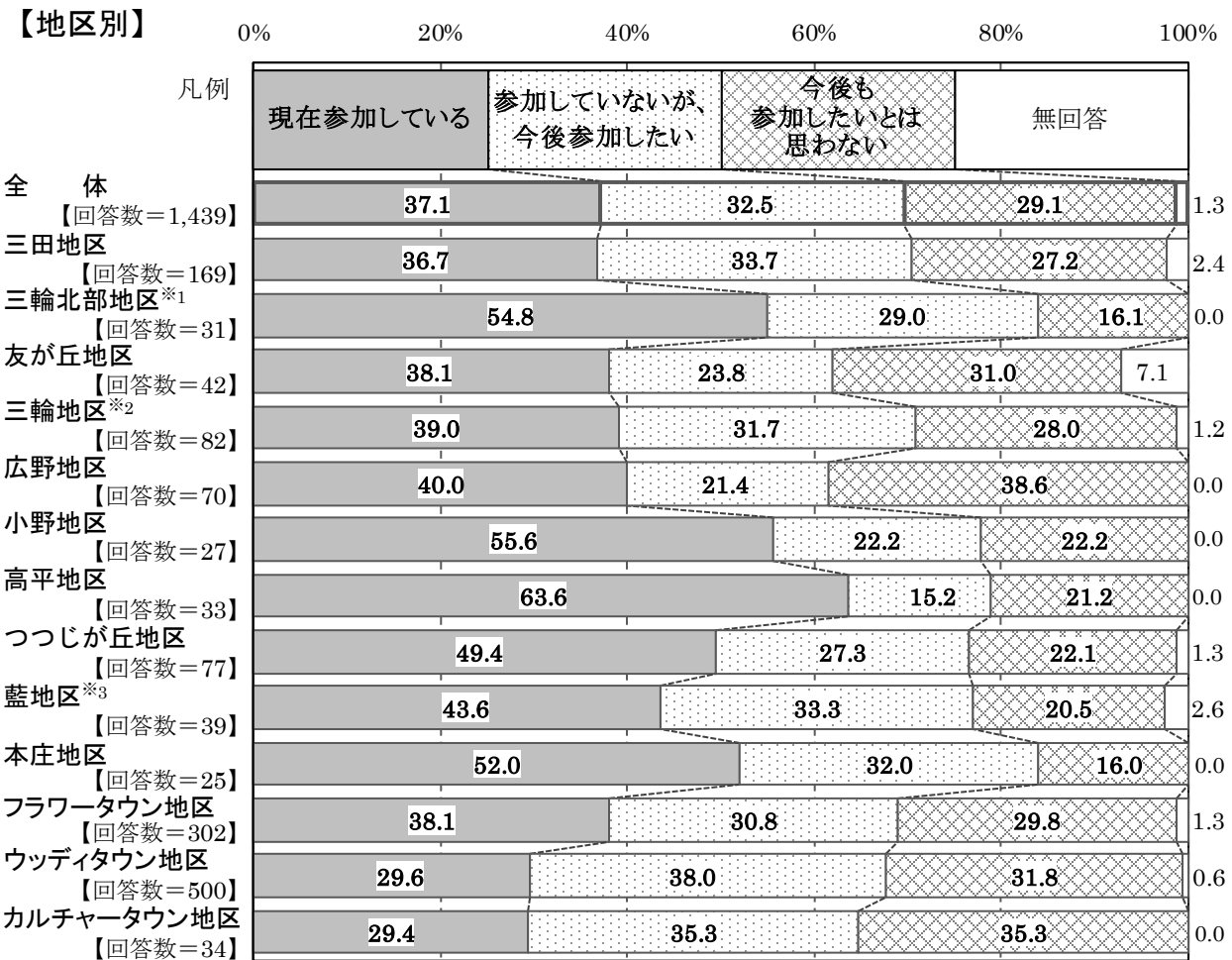


地域活動の参加状況は、「現在参加している」が 37.1%、「参加していないが、今後参加したい」が 32.5%、「今後も参加したいとは思わない」が 29.1%となっています。

年代別にみると、「現在参加している」は年齢が高いほどその割合が多く、70 歳以上は 46.6%、60 歳代が 44.0%、50 歳代が 41.0%と 4 割を超えています。

また、「参加していないが、今後参加したい」は、10 歳代が 60.9%、20 歳代が 50.0%、30 歳代が 34.8%となっています。

## II 調査結果



※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、「現在参加している」は、高平地区が 63.6%、小野地区が 55.6%、三輪北部地区が 54.8%となっています。

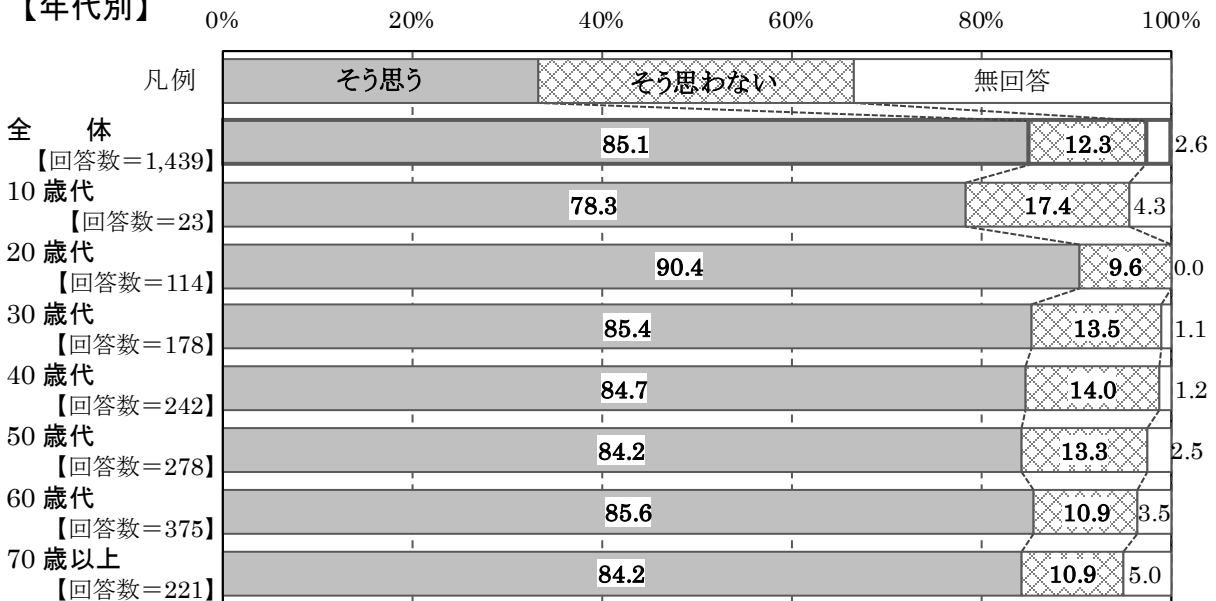
一方「参加していないが、今後参加したい」は、ウッディタウン地区が 38.0%、カルチャータウン地区が 35.3%、三田地区が 33.7%となっています。

**(2) 人権問題の解決に向けての自分の努力**

問 16 あなたは、人権問題の解決に向けて、社会全体で取り組むとともに、自分も努力すべきと思いますか。(○は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	(%)
1  そう思う	1,224	85.1										
2  そう思わない	177	12.3										
無回答	38	2.6										
全 体	1,439											

**【年代別】**



人権問題の解決に向けて社会全体での取り組みとともに、自分も努力すべきと思うかについては、「そう思う」が85.1%、「そう思わない」が12.3%となっています。

年代別にみると、すべての年代とも「そう思う」が最も多く、20歳代が90.4%、60歳代が85.6%、30歳以上は85.4%となっています。

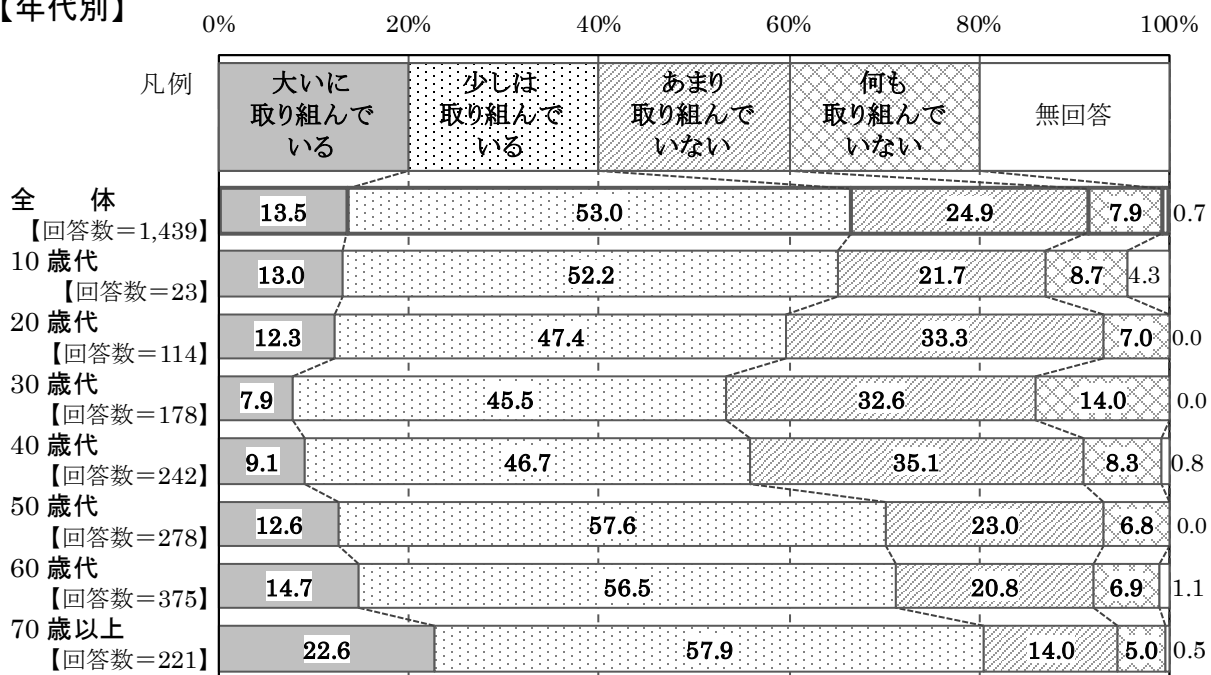
## II 調査結果

### (3) 日常生活での健康づくりの取り組み状況

問 17 あなたは、日常生活で健康づくりに取り組んでいますか。(○は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50	60 (%)
1 大いに取り組んでいる	194	13.5						
2 少しは取り組んでいる	763	53.0						
3 あまり取り組んでいない	359	24.9						
4 何も取り組んでいない	113	7.9						
無回答	10	0.7						
全 体	1,439							

#### 【年代別】



日常生活での健康づくりの取り組みは、「少しは取り組んでいる」が 53.0%と最も多く、次いで「あまり取り組んでいない」が 24.9%、「大いに取り組んでいる」が 13.5%となっています。

「大いに取り組んでいる」と「少しは取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』は 66.5%となっています。

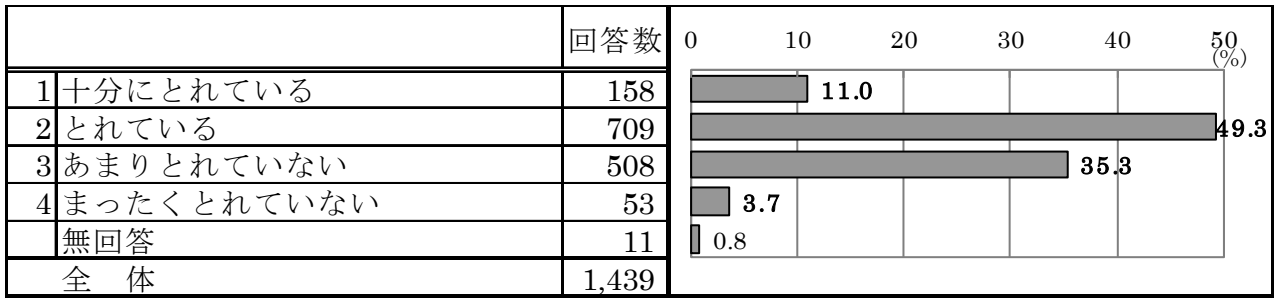
年代別にみると、すべての年代で「少しは取り組んでいる」が最も多く、70 歳以上は 57.9%となっています。

「あまり取り組んでいない」は、40 歳代が 35.1%、20 歳代が 33.3%、30 歳代が 32.6%となっています。

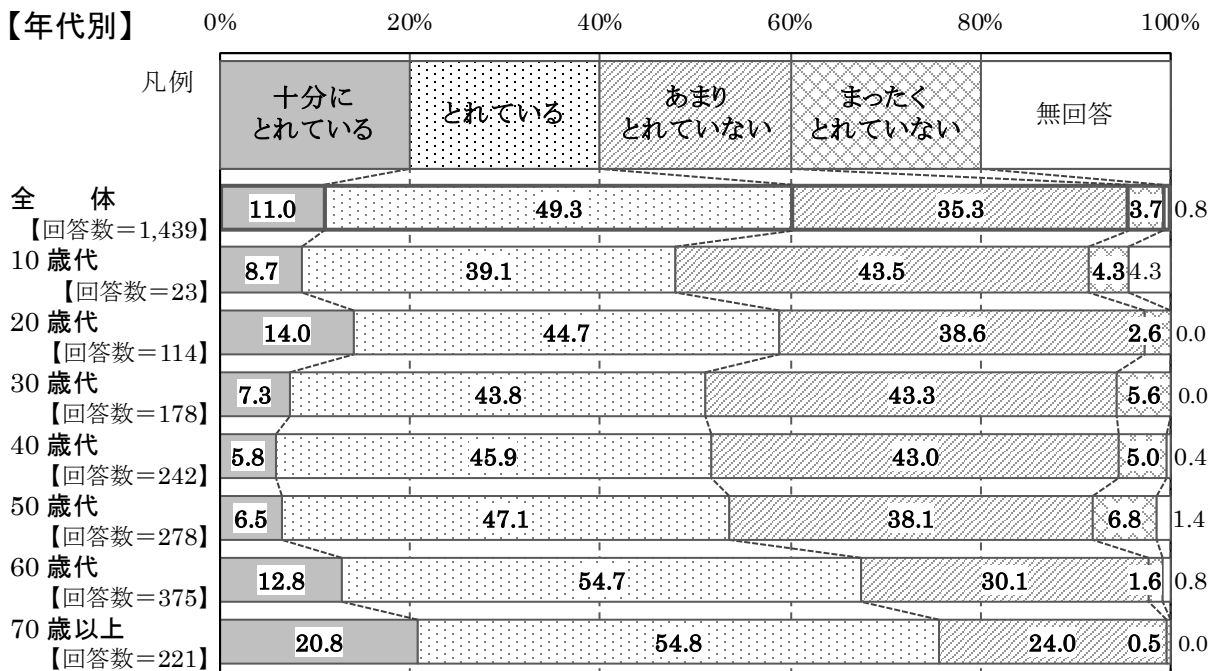
『取り組んでいる』は、70 歳以上が 80.5%、60 歳代が 71.2%、50 歳代が 70.2%となっています。

(4) 普段の睡眠での休養の取得状況

問 18 あなたは、普段の睡眠で休養が十分にとれていると思いますか。(○は1つ)



【年代別】



普段の睡眠で休養がとれているかについては、「とれている」が 49.3%と最も多く、次いで「あまりとれていない」が 35.3%、「十分にとれている」が 11.0%となっています。

「十分にとれている」と「とれている」を合わせた『休養をとれている』は 60.3%となっています。

年代別にみると、10 歳代は「あまりとれていない」が 43.5%と最も多く、その他の年代は「とれている」が最も多く、70 歳以上は 54.8%となっています。

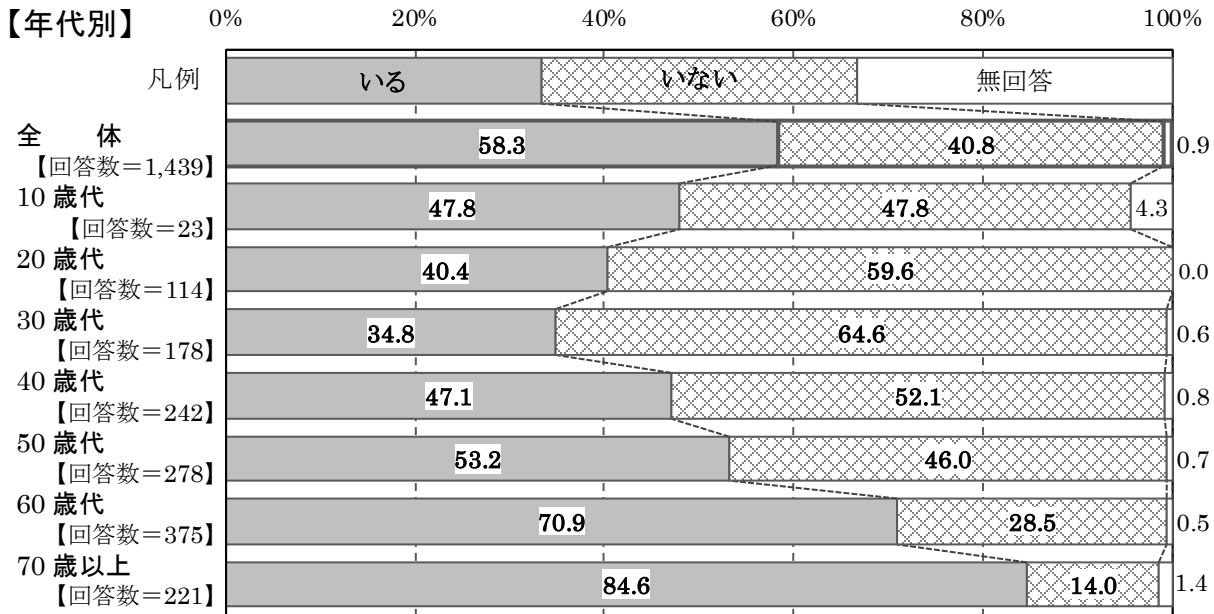
『休養をとれている』は、70 歳以上が 75.6%、60 歳代が 67.5%、20 歳代が 58.7%となっています。

II 調査結果

(5) 「かかりつけ医」の有無

問 19 あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(〇は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50	60 (%)	
1 いる	839								58.3
2 いない	587								40.8
無回答	13								0.9
全 体	1,439								



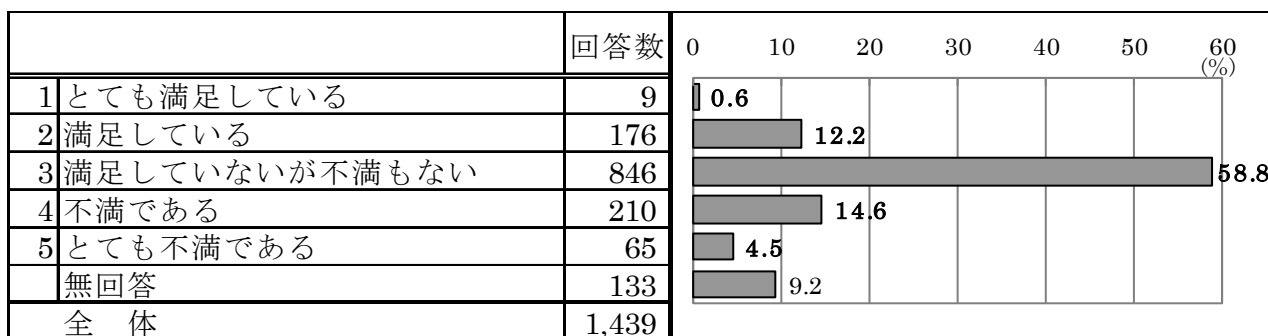
“かかりつけ医”は、「いる」が58.3%、「いない」が40.8%となっています。

年代別にみると、「いる」は70歳以上が84.6%、60歳代が70.9%、50歳代が53.2%となっています。

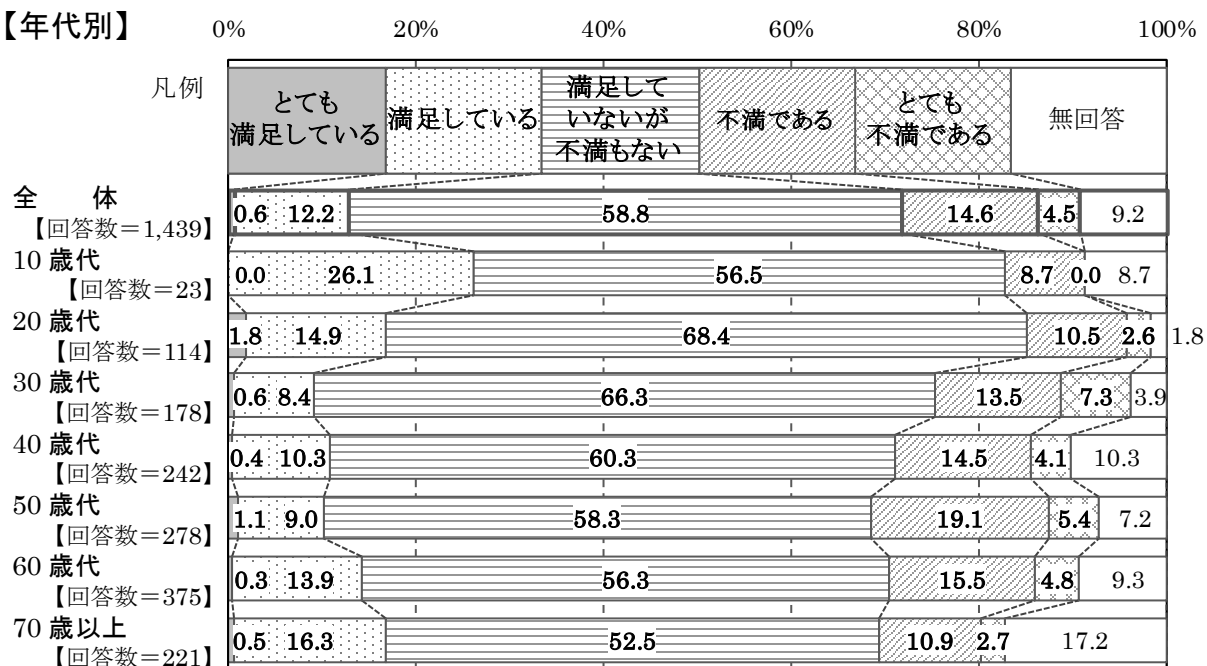
「いない」は30歳代が64.6%、20歳代が59.6%、40歳代が52.1%となっています。

(6)「高齢者の安心」の満足度

問 20 あなたは、高齢者の安心（必要な介護サービスを利用しながら安心して暮らせること）に満足していますか。（○は1つ）



【年代別】



高齢者の安心（必要な介護サービスを利用しながら安心して暮らせること）の満足度は、「満足していないが不満もない」が 58.8%と最も多く、次いで「不満である」が 14.6%、「満足している」が 12.2%となっています。

「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』は 12.9%となっています。

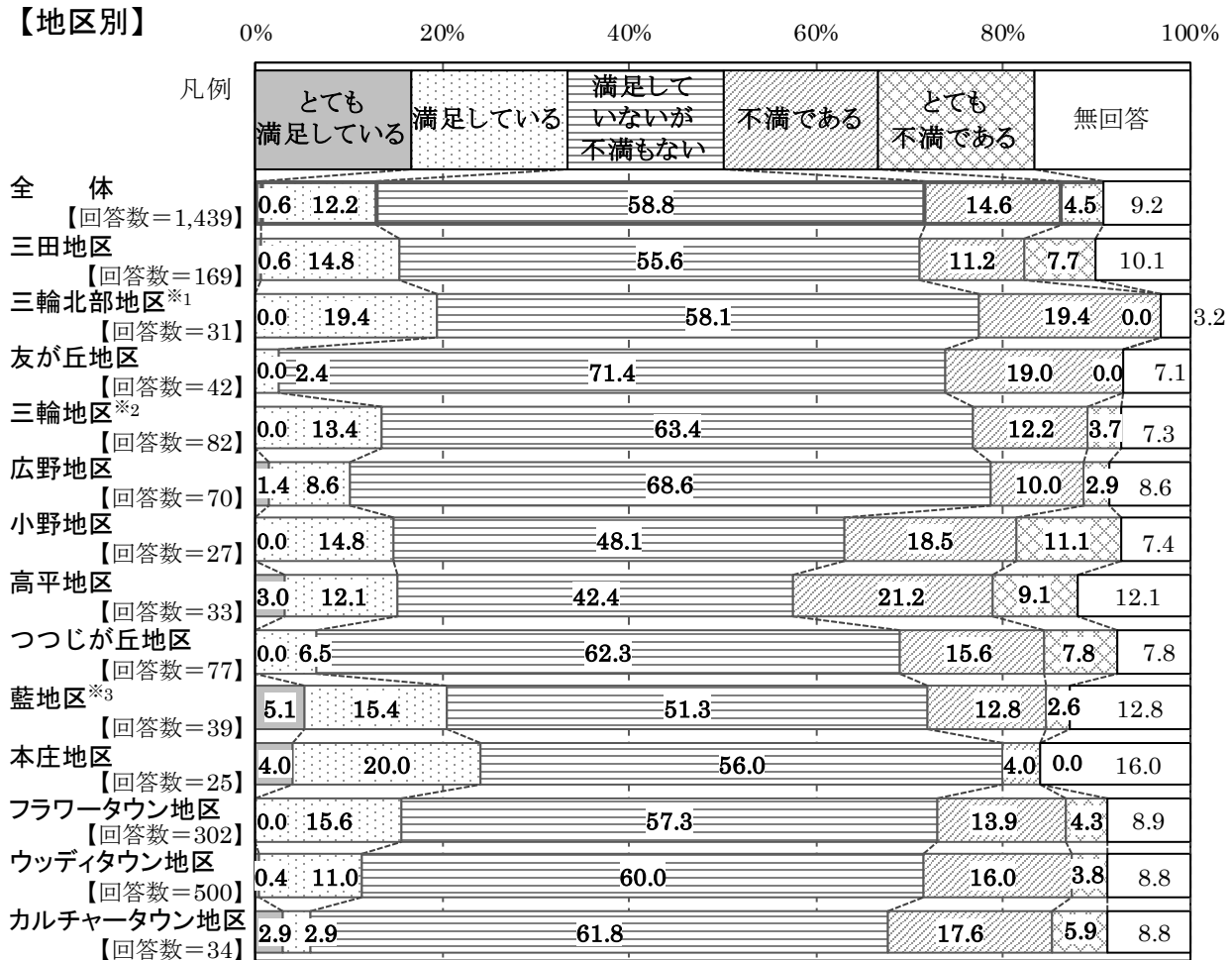
年代別にみると、「満足していないが不満もない」は 20 歳代が 68.4%、30 歳代が 66.3%、40 歳代が 60.3%となっています。

「不満である」は 50 歳代が 19.1%、60 歳代が 15.5%、40 歳代が 14.5%となっています。

「満足している」は 10 歳代が 26.1%、70 歳以上が 16.3%、20 歳代が 14.9%となっています。

『満足』は 10 歳代が 26.1%、70 歳以上が 16.7%、20 歳代が 16.7%となっています。

## II 調査結果



※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、すべての地区で「満足していないが不満もない」が最も多く、友が丘地区が71.4%、広野地区が68.6%、つつじが丘地区が62.3%となっています。

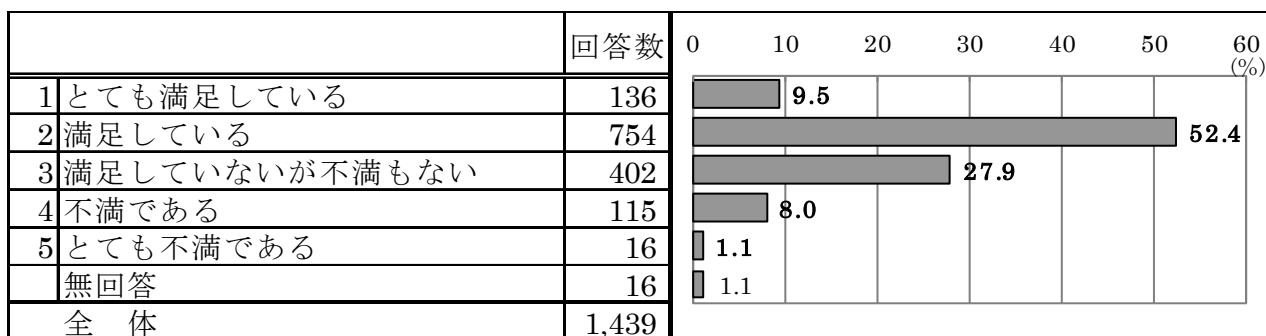
「不満である」は、高平地区が21.2%、三輪北部地区が19.4%、友が丘地区が19.0%となっています。

「満足している」は、本庄地区が20.0%、三輪北部地区が19.4%、フラワータウン地区が15.6%となっています。

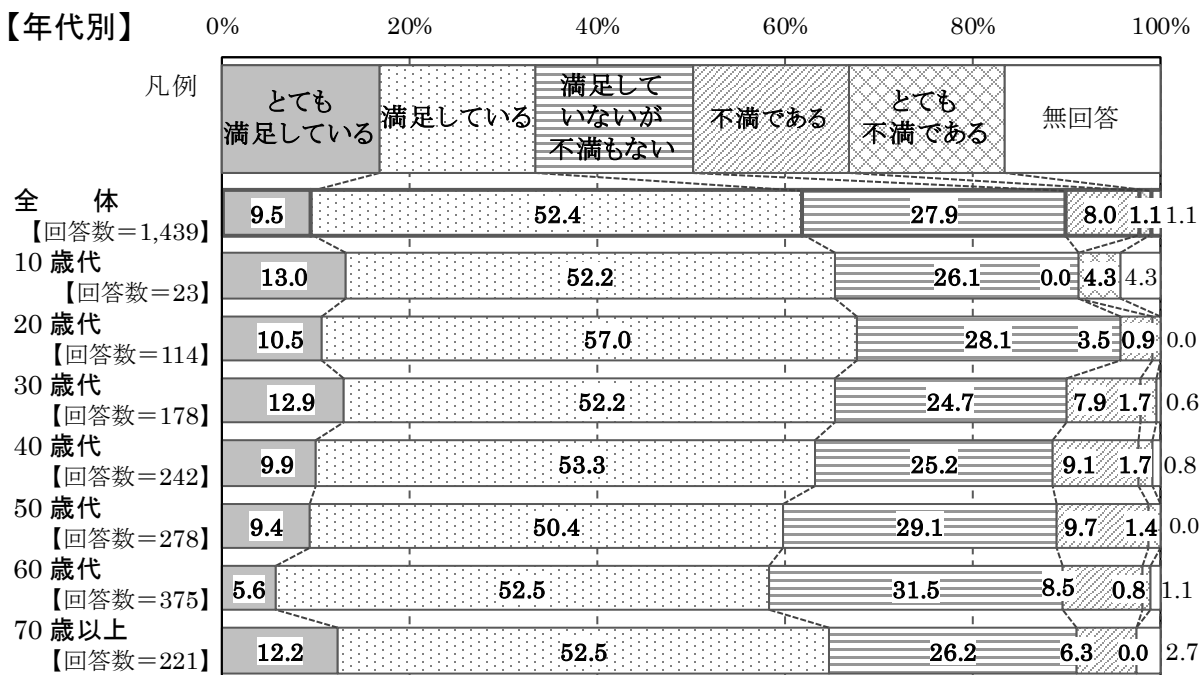
『満足』は、本庄地区が24.0%、藍地区が20.5%、三輪北部地区が19.4%となっています。

(7) 街並みや田園風景などの景観の満足度

問 21 あなたは、街並みや田園風景などの景観に満足していますか。(○は1つ)



【年代別】



街並みや田園風景などの景観の満足度は、「満足している」が52.4%と最も多く、次いで「満足していないが不満もない」が27.9%、「とても満足している」が9.5%となっています。

「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』は61.8%となっています。

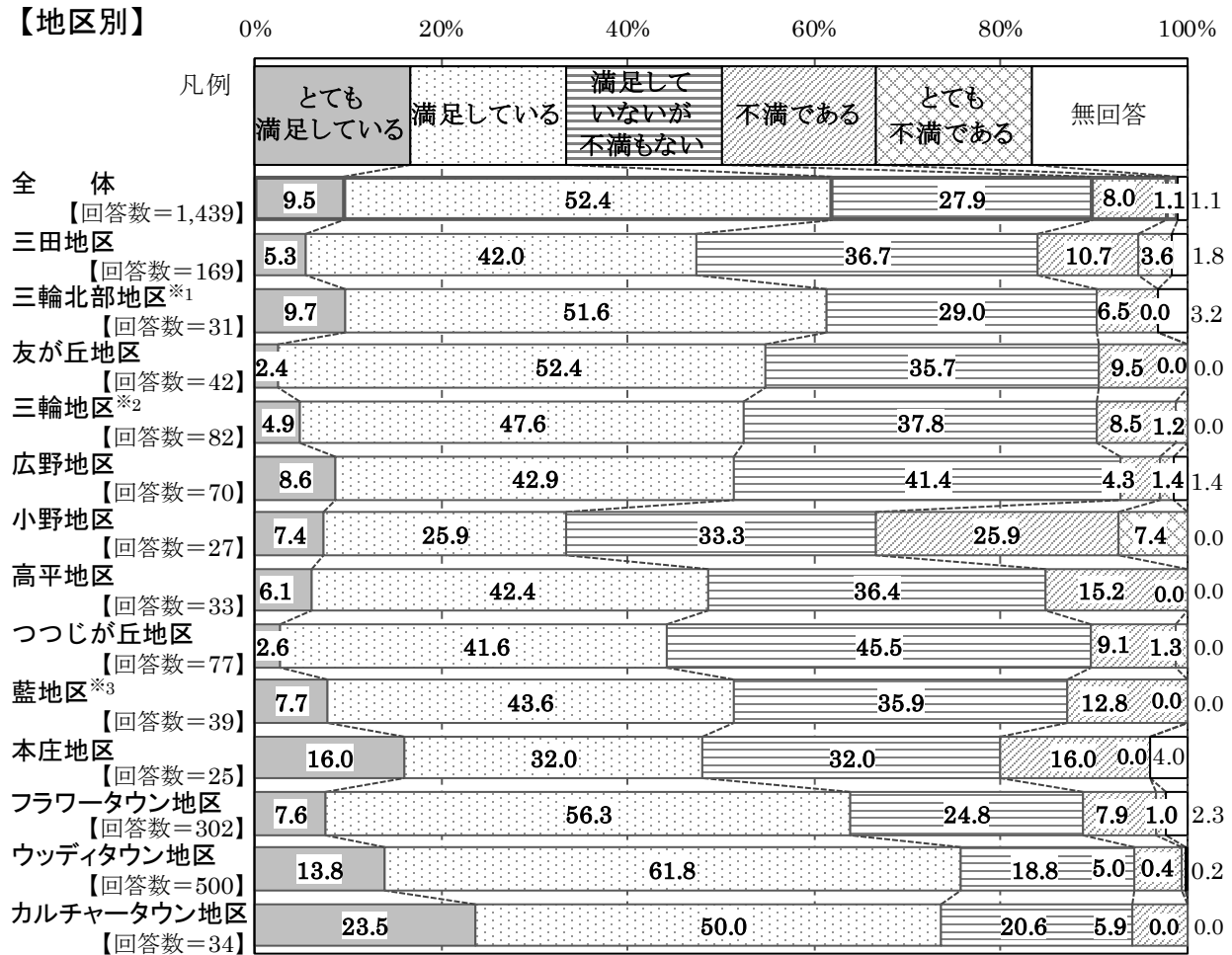
年代別にみると、「満足している」は20歳代が57.0%、40歳代が53.3%、60歳代と70歳以上が52.5%となっています。

「満足していないが不満もない」は60歳代が31.5%、50歳代が29.1%、20歳代が28.1%となっています。

「とても満足している」は10歳代が13.0%、30歳代が12.9%、70歳以上が12.2%となっています。

『満足』は、20歳代が67.5%、10歳代と30歳代が65.2%となっています。

## II 調査結果



※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、「満足している」は、ウッディタウン地区が 61.8%、フラワータウン地区が 56.3%、友が丘地区が 52.4%となっています。

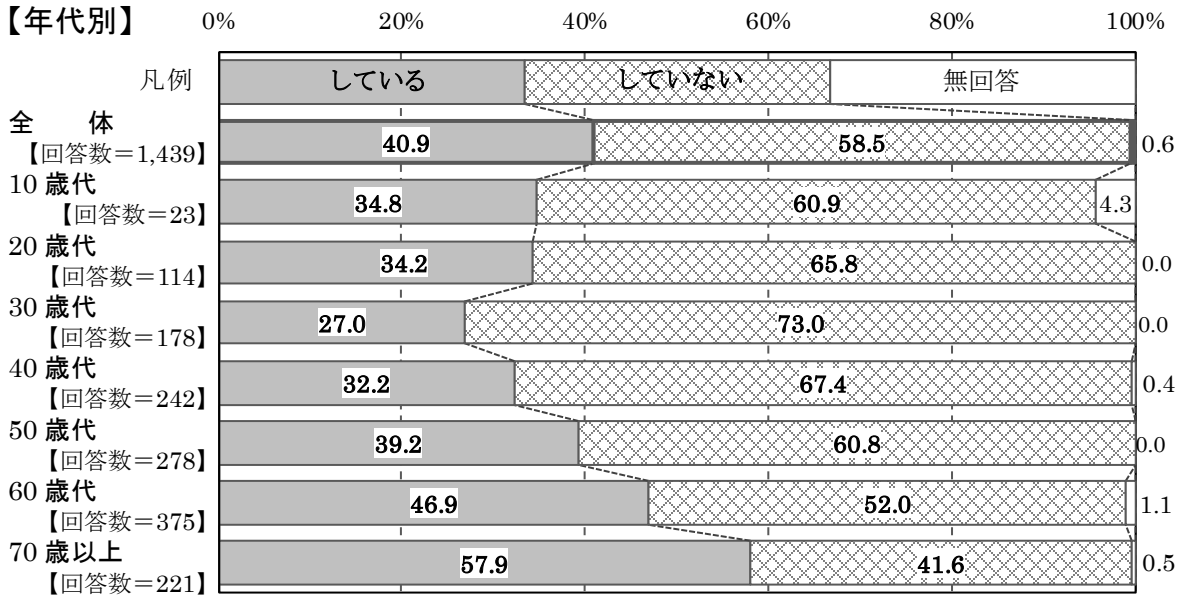
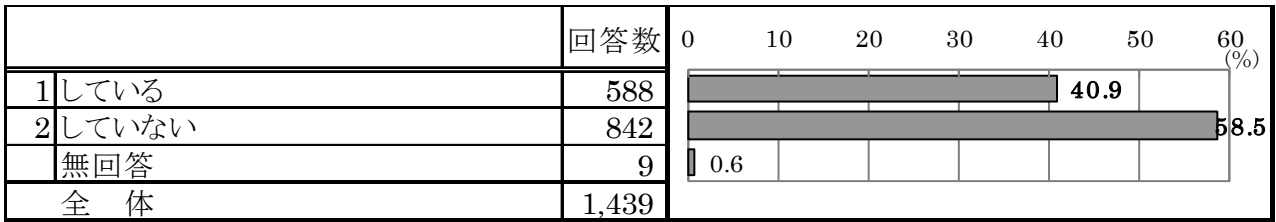
「満足していないが不満もない」は、つつじが丘地区が 45.5%、広野地区が 41.4%、三輪地区が 37.8%となっています。

「とても満足している」は、カルチャータウン地区が 23.5%、本庄地区が 16.0%、ウッディタウン地区が 13.8%となっています。

『満足』は、ウッディタウン地区が 75.6%、カルチャータウン地区が 73.5%、フラワータウン地区が 63.9%となっています。

**(8) 週一回以上の運動やスポーツの実践状況**

問 22 あなたは、週一回以上運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)



週一回以上の運動やスポーツは、「している」が40.9%、「していない」が58.5%となっています。

年代別にみると、「している」は70歳以上が57.9%、60歳代が46.9%、50歳代が39.2%となっています。

「していない」は30歳代が73.0%、40歳代が67.4%、20歳代が65.8%となっています。

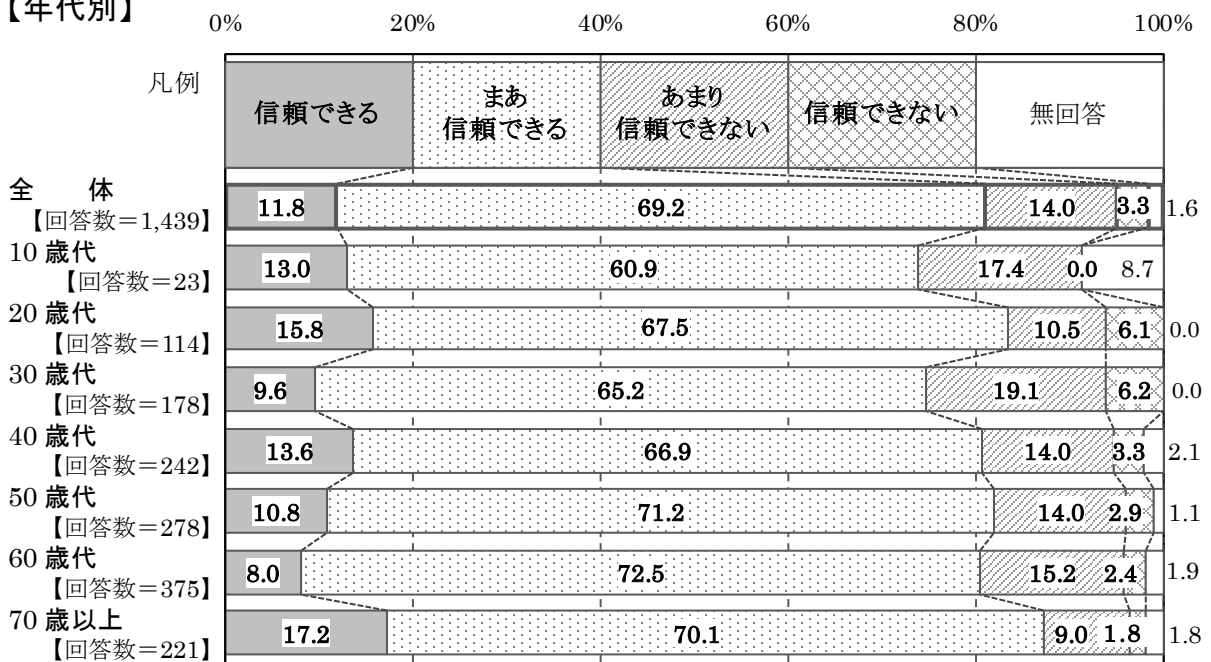
## II 調査結果

### (9) 三田市役所に対する信頼の程度

問 23 あなたは、三田市役所をどの程度信頼できますか。(○は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70	
1 信頼できる	170	11.8								
2 まあ信頼できる	996	69.2								
3 あまり信頼できない	202	14.0								
4 信頼できない	48	3.3								
無回答	23	1.6								
全 体	1,439									

#### 【年代別】



三田市役所に対する信頼は、「まあ信頼できる」が69.2%と最も多く、次いで「あまり信頼できない」が14.0%、「信頼できる」が11.8%となっています。

「信頼できる」と「まあ信頼できる」を合わせた『信頼している』は81.0%となっています。

年代別にみると、「まあ信頼できる」は60歳代が72.5%、50歳代が71.2%、70歳以上が70.1%となっています。

「信頼できる」は70歳以上が17.2%、20歳代が15.8%、40歳代が13.6%となっています。

「あまり信頼できない」は30歳代が19.1%、10歳代が17.4%、60歳代が15.2%となっています。

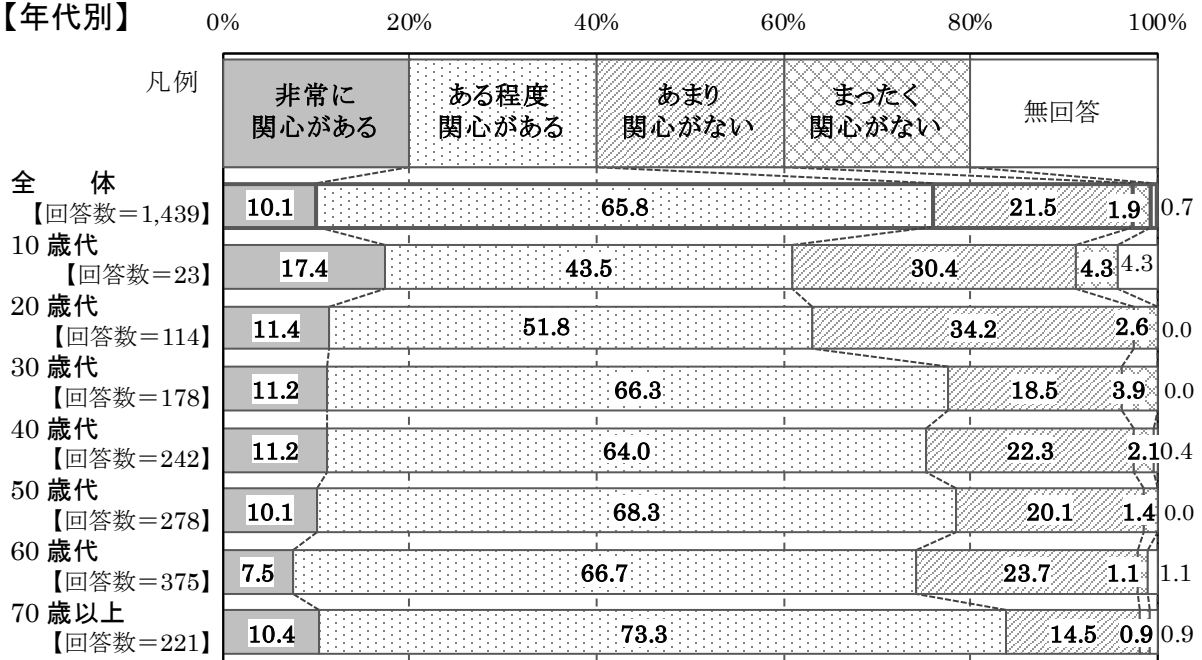
『信頼している』は70歳以上が87.3%、20歳代が83.3%、50歳代が82.0%となっています。

(10) 三田市のまちづくりへの関心度

問 24 あなたは、三田市のまちづくりにどの程度関心がありますか。(○は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70	
1 非常に関心がある	145	10.1								
2 ある程度関心がある	947	65.8								
3 あまり関心がない	310	21.5								
4 まったく関心がない	27	1.9								
無回答	10	0.7								
全 体	1,439									

【年代別】



三田市のまちづくりへの関心度は、「ある程度関心がある」が65.8%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が21.5%、「非常に関心がある」が10.1%となっています。

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は75.9%となっています。

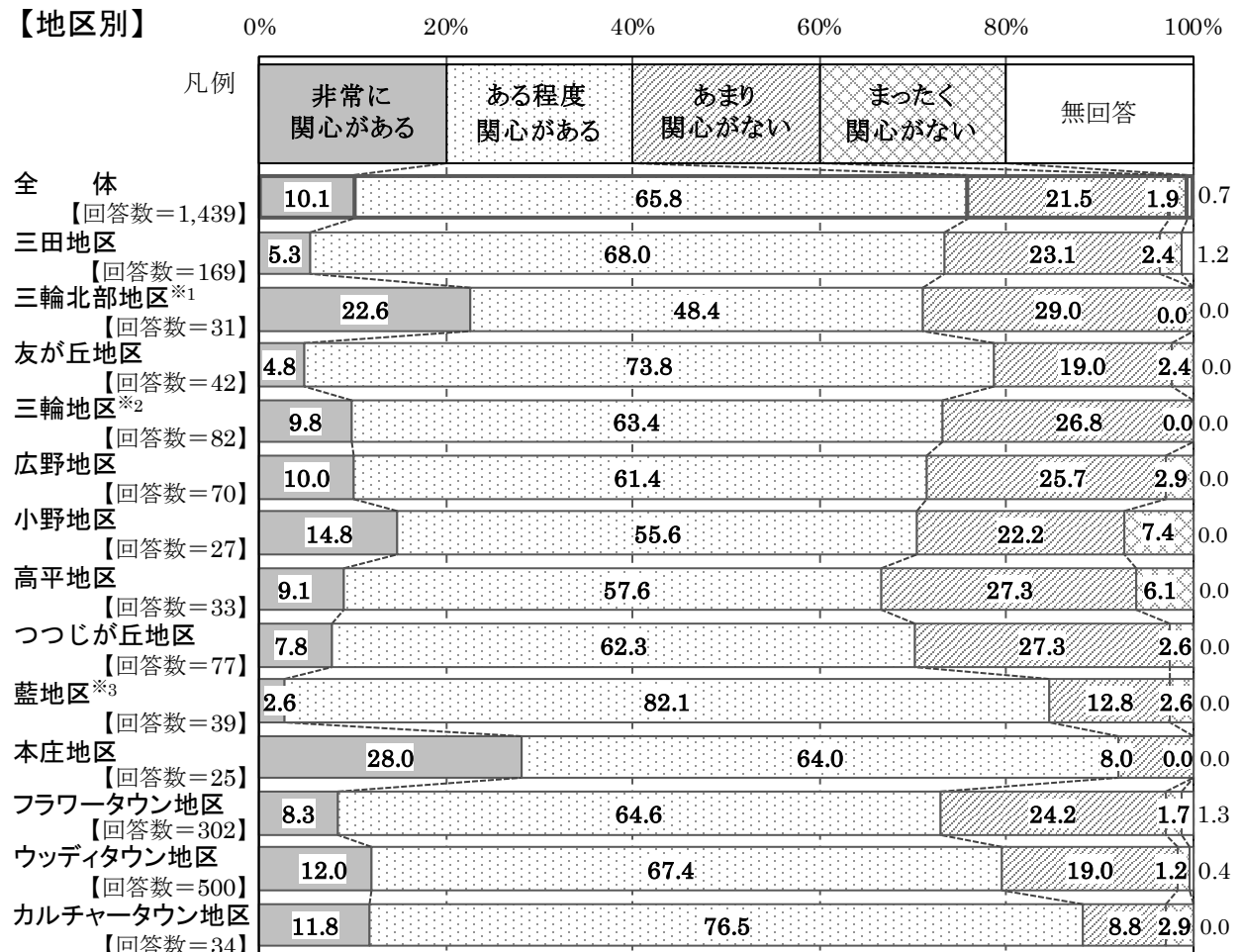
年代別にみると、「ある程度関心がある」は70歳以上が73.3%、50歳代が68.3%、60歳代が66.7%となっています。

「まったく関心がない」は、20歳代が34.2%、10歳代が30.4%、60歳代が23.7%となっています。

「非常に関心がある」は、10歳代が17.4%、20歳代が11.4%、30歳代と40歳代が11.2%となっています。

『関心がある』は、70歳以上が83.7%、50歳代が78.4%、30歳代が77.5%となっています。

## II 調査結果



※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、「ある程度関心がある」は、藍地区が 82.1%、カルチャータウン地区が 76.5%、友が丘地区が 73.8%となっています。

「まったく関心がない」は、三輪北部地区が 29.0%、高平地区とつつじが丘地区が 27.3%となっています。

「非常に関心がある」は、本庄地区が 28.0%、三輪北部地区が 22.6%、小野地区が 14.8%となっています。

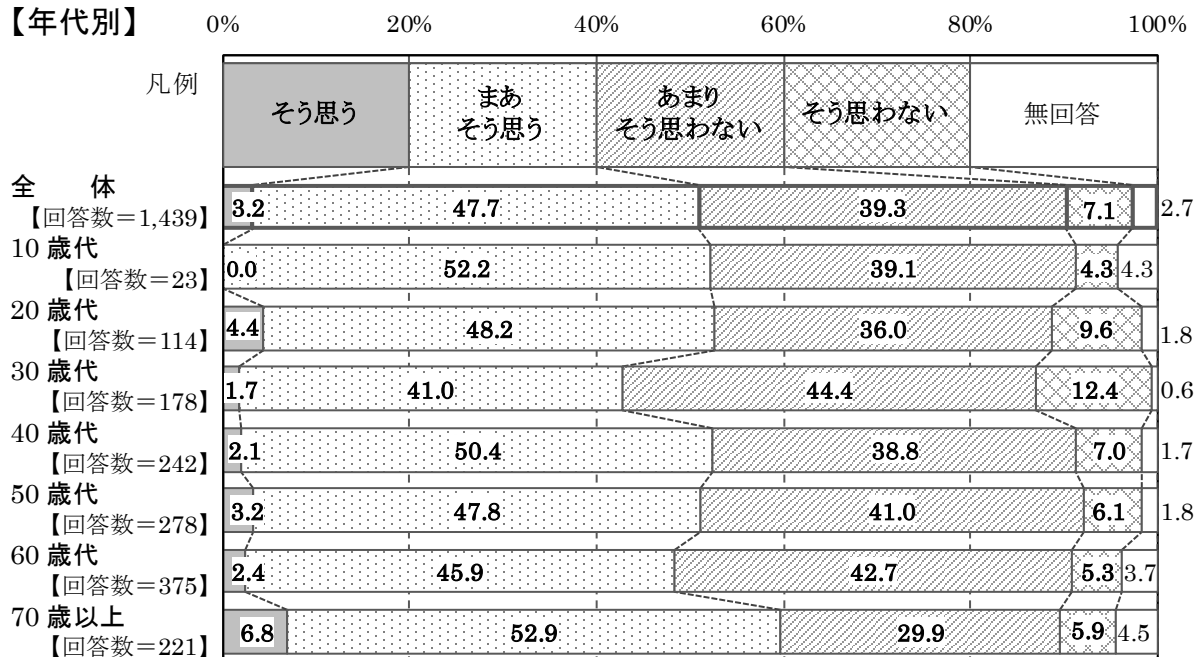
『関心がある』は、本庄地区が 92.0%、カルチャータウン地区が 88.2%、藍地区が 84.6%となっています。

(11) 市民と行政によるまちづくりでの協働の取り組み状況

問 25 あなたは、現在の三田市では、市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。(○は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50 (%)
1  そう思う	46	3.2					
2  まあそう思う	687		47.7				
3  あまりそう思わない	565			39.3			
4  そう思わない	102		7.1				
無回答	39						2.7
全 体	1,439						

【年代別】



三田市で市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいることについては、「まあそう思う」が47.7%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が39.3%、「そう思わない」が7.1%となっています。

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『思う』は50.9%となっています。

年代別にみると、「まあそう思う」は70歳以上が52.9%、10歳代が52.2%、40歳代が50.4%となっています。

「あまりそう思わない」は、30歳代が44.4%、60歳代が42.7%、50歳代が41.0%となっています。

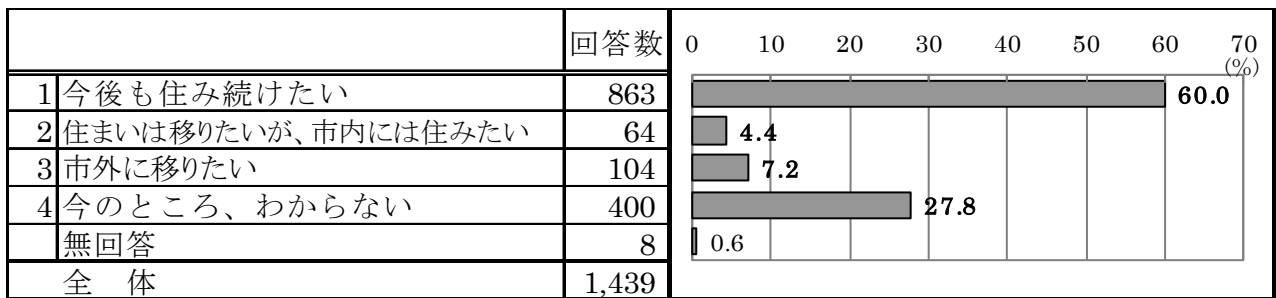
「そう思わない」は、30歳代が12.4%、20歳代が9.6%、40歳代が7.0%となっています。

『思う』は、70歳以上が59.7%、20歳代が52.6%、40歳代が52.5%となっています。

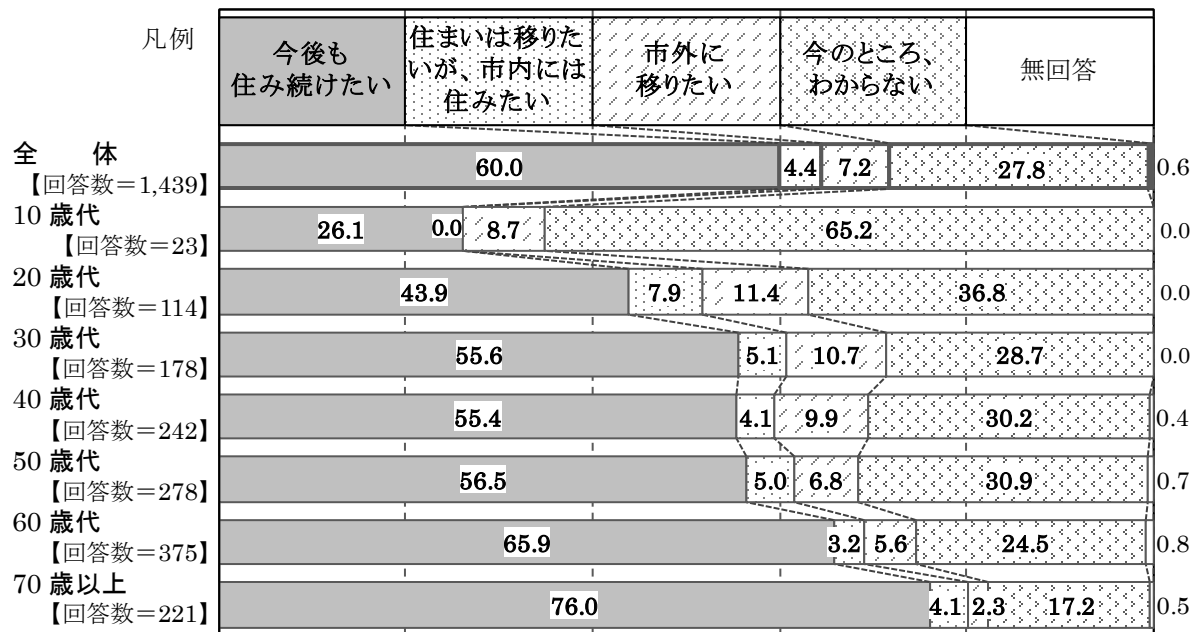
## II 調査結果

### (12) 今後の三田市での居留意向

問 26 あなたは、これからも三田市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)



【年代別】 0% 20% 40% 60% 80% 100%



今後の三田市での居留意向は、「今後も住み続けたい」が60.0%と最も多く、次いで「今のところ、わからない」が27.8%、「市外に移りたい」が7.2%となっています。

年代別にみると、10歳代は「今のところ、わからない」が65.2%と最も多く、その他の年代は「今後も住み続けたい」が最も多く、70歳以上が76.0%、60歳代が65.9%、50歳代が56.5%となっています。

「市外に移りたい」は、20歳代が11.4%、30歳代が10.7%、40歳代が9.9%となっています。

【地区別】

0% 20% 40% 60% 80% 100%

凡例	今後も 住み続けたい	住まいは移りたいが、市内には 住みたい	市外に 移りたい	今のところ、 わからない	無回答	
全 体 【回答数=1,439】	60.0			4.4 7.2	27.8	0.6
三田地区 【回答数=169】	60.9			7.7 3.6	27.2	0.6
三輪北部地区※1 【回答数=31】	77.4				6.5 3.2 12.9	0.0
友が丘地区 【回答数=42】	54.8			9.5 4.8	31.0	0.0
三輪地区※2 【回答数=82】	65.9			2.4 2.4	29.3	0.0
広野地区 【回答数=70】	55.7			4.3 1.4	38.6	0.0
小野地区 【回答数=27】	44.4		18.5	11.1	22.2	3.7
高平地区 【回答数=33】	75.8				3.0 12.1 9.1	0.0
つつじが丘地区 【回答数=77】	36.4	7.8	13.0		42.9	0.0
藍地区※3 【回答数=39】	59.0			7.7 7.7	25.6	0.0
本庄地区 【回答数=25】	80.0				4.0 8.0 8.0	0.0
フラワータウン地区 【回答数=302】	57.6			3.6 8.9	28.8	1.0
ウッディタウン地区 【回答数=500】	63.2			2.2 7.8	26.4	0.4
カルチャータウン地区 【回答数=34】	58.8			2.9 8.8	29.4	0.0

※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

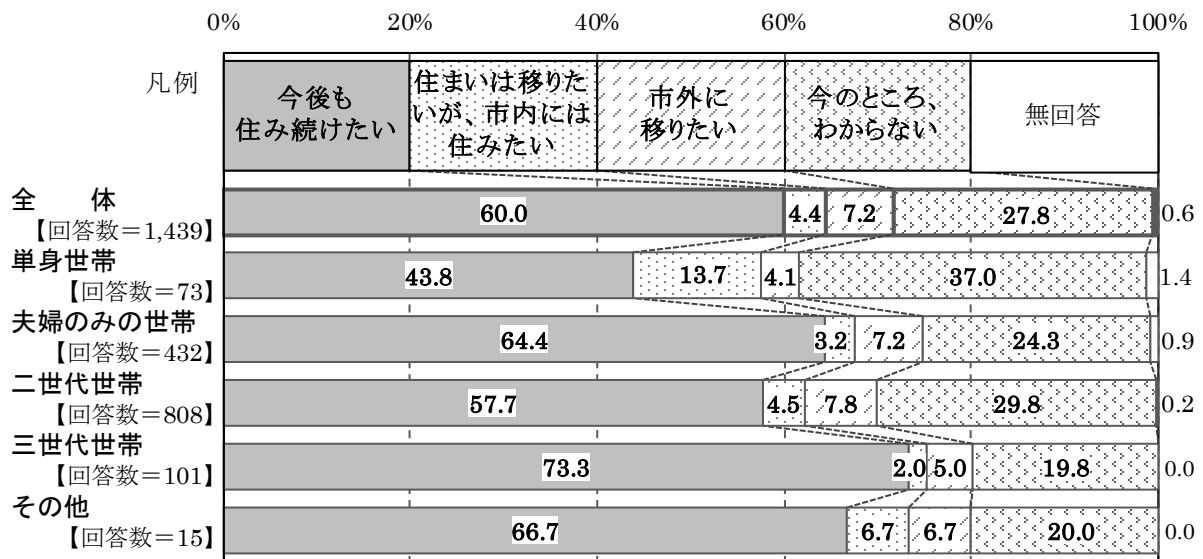
※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、つつじが丘地区は「今のところ、わからない」が42.9%と最も多く、その他の地区は「今後も住み続けたい」が最も多く、本庄地区が80.0%、三輪北部地区が77.4%、高平地区が75.8%となっています。

「市外に移りたい」は、つつじが丘地区が13.0%、高平地区が12.1%、小野地区が11.1%となっています。

## II 調査結果

### 【世帯の種類別】

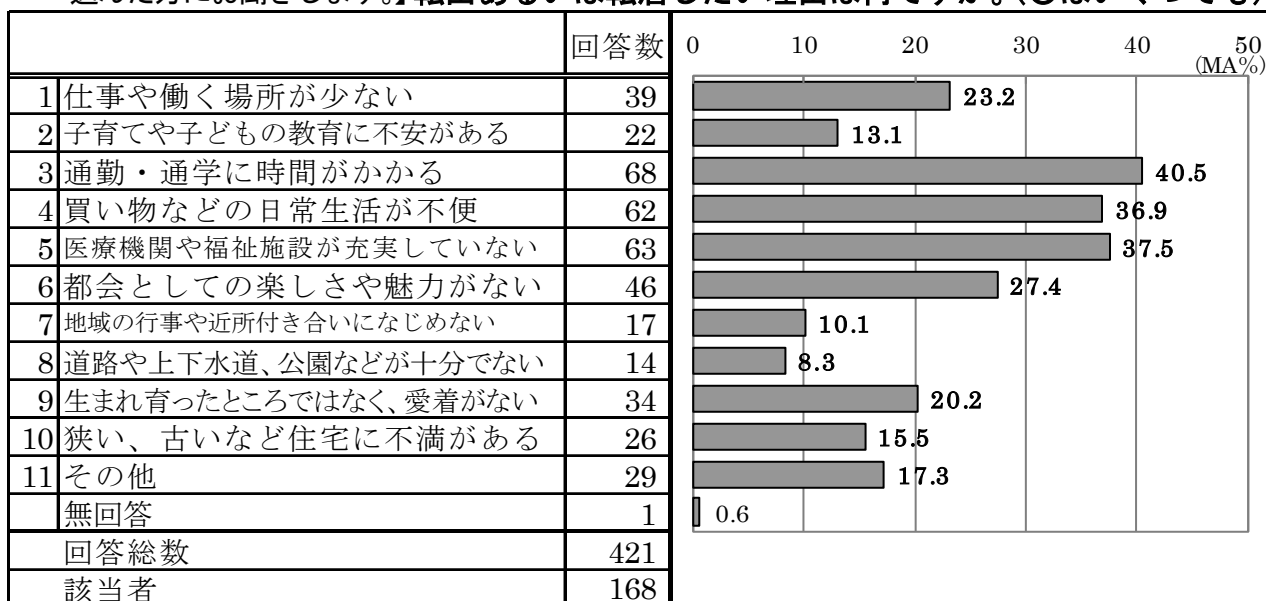


世帯の種類別にみると、すべての世帯とも「今後も住み続けたい」が最も多く、三世帯世帯が73.3%となっています。

「今のところ、わからない」は、単身世帯が37.0%、二世帯世帯が29.8%、夫婦のみの世帯が24.3%となっています。

(13) 転出・転居したい理由

問 27 【問 26 で「2 現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」「3 市外に移りたい」を選んだ方にお聞きします。】転出あるいは転居したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)



※「その他」の内容：交通の利便性が悪く、交通費も高い (13)、税金が高い (4) など

【年代別】 【転出・転居したい最も大きな理由】

	仕事や働く場所が少ない	子育てや子どもの教育に不安がある	通勤・通学に時間がかかる	買い物などの日常生活が不便	医療機関や福祉施設が充実していない	都会としての楽しさや魅力がない	地域の行事や近所付き合いになじめない	道路や上下水道、公園などが十分でない	生まれ育ったところではなく、愛着がない	狭い、古いなど住宅に不満がある	その他	無回答
該当者 【該当数=168】	23.2%	13.1%	40.5%	36.9%	37.5%	27.4%	10.1%	8.3%	20.2%	15.5%	17.3%	0.6%
10 歳代 【該当数=2】	0.0%	50.0%	100%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20 歳代 【該当数=22】	27.3%	22.7%	59.1%	22.7%	4.5%	31.8%	9.1%	0.0%	13.6%	18.2%	18.2%	0.0%
30 歳代 【該当数=28】	32.1%	28.6%	46.4%	25.0%	28.6%	17.9%	3.6%	7.1%	25.0%	21.4%	14.3%	0.0%
40 歳代 【該当数=34】	26.5%	14.7%	44.1%	26.5%	41.2%	29.4%	5.9%	8.8%	32.4%	11.8%	23.5%	0.0%
50 歳代 【該当数=33】	27.3%	9.1%	48.5%	33.3%	45.5%	24.2%	15.2%	6.1%	12.1%	18.2%	24.2%	0.0%
60 歳代 【該当数=33】	12.1%	0.0%	18.2%	54.5%	51.5%	33.3%	18.2%	12.1%	24.2%	15.2%	9.1%	0.0%
70 歳以上 【該当数=14】	14.3%	0.0%	14.3%	71.4%	50.0%	21.4%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%

転出や転居したい理由(複数回答)は、「通勤・通学に時間がかかる」が40.5%と最も多く、次いで「医療機関や福祉施設が充実していない」が37.5%、「買い物などの日常生活が不便」が36.9%

## II 調査結果

となっています。

年代別にみると、10歳代から50歳代は「通勤・通学に時間がかかる」が最も多く、60歳代と70歳以上は「買い物などの日常生活が不便」が最も多くなっています。

### 【地区別】 【転出・転居したい最も大きな理由】

	仕事や働く場所が少ない	子育てや子どもの教育に不安がある	通勤・通学に時間がかかる	買い物などの日常生活が不便	医療機関や福祉施設が充実していない	魅力がない	都会としての楽しさや	地域の行事や近所付き合いになじめない	道路や上下水道、公園などが十分でない	生まれ育ったところではなく、愛着がない	狭い、古いなど住宅に不満がある	その他	無回答
該当者 【該当数=168】	23.2%	13.1%	40.5%	36.9%	37.5%	27.4%	10.1%	8.3%	20.2%	15.5%	17.3%	0.6%	
三田地区 【該当数=19】	21.1%	21.1%	31.6%	26.3%	21.1%	26.3%	0.0%	5.3%	15.8%	31.6%	15.8%	5.3%	
三輪北部地区※1 【該当数=3】	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
友が丘地区 【該当数=6】	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	33.3%	50.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
三輪地区※2 【該当数=4】	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	
広野地区 【該当数=4】	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	75.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	
小野地区 【該当数=8】	25.0%	12.5%	37.5%	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
高平地区 【該当数=5】	40.0%	20.0%	20.0%	80.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
つつじが丘地区 【該当数=16】	25.0%	12.5%	37.5%	68.8%	50.0%	18.8%	12.5%	12.5%	6.3%	12.5%	12.5%	0.0%	
藍地区※3 【該当数=6】	16.7%	0.0%	16.7%	83.3%	50.0%	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	
本庄地区 【該当数=3】	33.3%	0.0%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
フラワータウン地区 【該当数=38】	31.6%	13.2%	47.4%	21.1%	39.5%	26.3%	5.3%	7.9%	18.4%	21.1%	21.1%	0.0%	
ウッディタウン地区 【該当数=50】	24.0%	14.0%	46.0%	20.0%	32.0%	34.0%	8.0%	0.0%	28.0%	12.0%	16.0%	0.0%	
カルチャータウン地区 【該当数=4】	0.0%	0.0%	50.0%	75.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	

※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、三輪北部地区、フラワータウン地区、ウッディタウン地区は「通勤・通学に時間がかかる」が最も多く、友が丘地区、高平地区、つつじが丘地区、藍地区は「買い物などの日常生活が不便」が最も多く、広野地区と小野地区は「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も多くなっています。三田地区は「通勤・通学に時間がかかる」と「狭い、古いなど住宅に

不満がある」が、三輪地区は「通勤・通学に時間がかかる」と「医療機関や福祉施設が充実していない」が、本庄地区は「通勤・通学に時間がかかる」と「買い物などの日常生活が不便」と「生まれ育ったところではなく、愛着がない」が、カルチャータウン地区は「買い物などの日常生活が不便」と「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も多くなっています。

【世帯の種類別】 【転出・転居したい最も大きな理由】

	仕事や働く場所が少ない	子育てや子どもの教育に不安がある	通勤・通学に時間がかかる	買い物などの日常生活が不便	医療機関や福祉施設が充実していない	都会としての楽しさや魅力がない	近所付き合いになじめない	地域の行事や公園などが十分でない	道路や上下水道、公園などが十分でない	生まれ育ったところではなく、愛着がない	狭い、古いなど住宅に不満がある	その他	無回答
該当者 【該当数=168】	23.2%	13.1%	40.5%	36.9%	37.5%	27.4%	10.1%	8.3%	20.2%	15.5%	17.3%	0.6%	
単身世帯 【該当数=13】	15.4%	7.7%	61.5%	23.1%	38.5%	0.0%	15.4%	7.7%	0.0%	30.8%	15.4%	7.7%	
夫婦のみの世帯 【該当数=45】	15.6%	2.2%	24.4%	57.8%	51.1%	28.9%	13.3%	8.9%	24.4%	6.7%	8.9%	0.0%	
二世帯世帯 【該当数=99】	26.3%	19.2%	44.4%	28.3%	31.3%	29.3%	7.1%	8.1%	20.2%	16.2%	21.2%	0.0%	
三世帯世帯 【該当数=7】	42.9%	14.3%	42.9%	28.6%	42.9%	42.9%	28.6%	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	
その他 【該当数=2】	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	

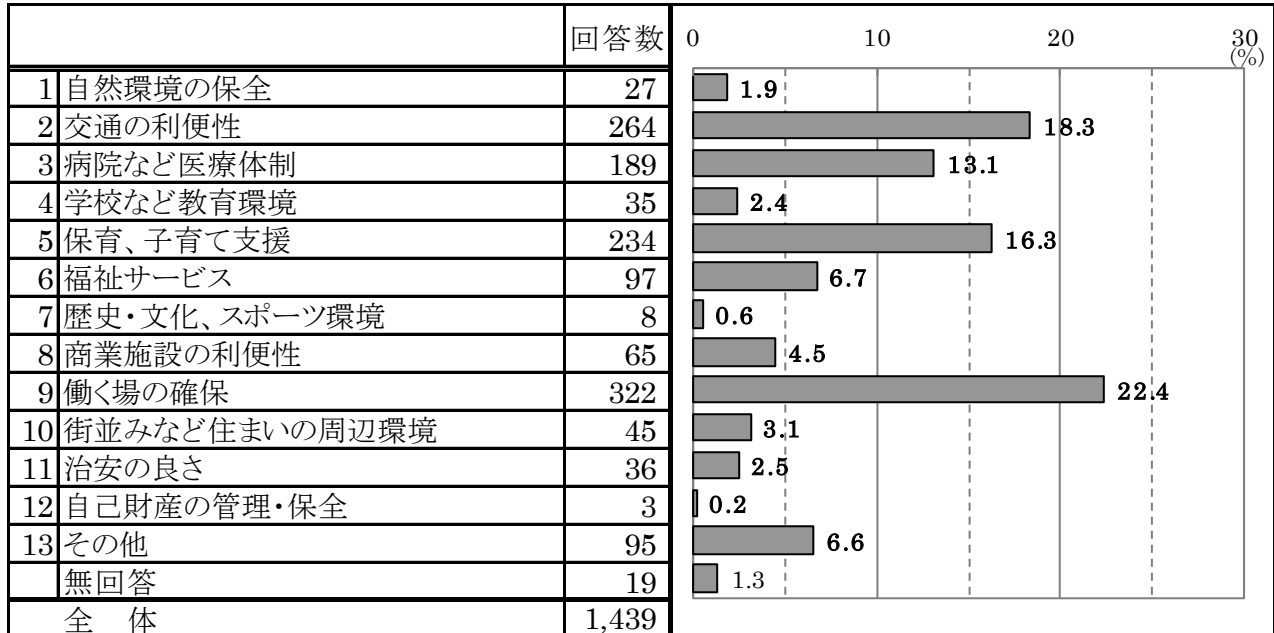
世帯の種類別にみると、二世帯世帯は「通勤・通学に時間がかかる」が44.4%と最も多く、次いで「医療施設や福祉施設が充実していない」が31.3%、「都会としての魅力がない」が29.3%となっています。

夫婦のみの世帯は、「買い物などの日常生活が不便」が57.8%と最も多く、次いで「医療施設や福祉施設が充実していない」が51.1%、「都会としての魅力がない」が28.9%となっています。

## II 調査結果

### (14) 若年層の転入やUターンを希望されるまちとするために最も大切と思うこと

問 28 三田市では「成長から成熟するまち 三田へ」を目標に、時代にふさわしいまちづくりを進めています。一方で緩やかな人口減少が続いています。今後、若年層をはじめとする方の転入や、故郷を離れた方がUターンを希望されるようなまちにするために最も大切だと思うことは何ですか。(〇は1つ)



※「その他」の内容：「1」～「12」の複数个回答(55)、安価な賃貸住宅など(8)、行政政策・予算配分の見直し(8)、三田市の特性を生かした取り組み(4) など

### 【年代別】 【転入者などに希望されるまちにするために最も大切なこと】

	自然環境の保全	交通の利便性	病院など医療体制	学校など教育環境	保育、子育て支援	福祉サービス	歴史・文化、スポーツ環境	商業施設の利便性	働く場の確保	街並みなど住まいの周辺環境	治安の良さ	自己財産の管理・保全	その他	無回答
全体 【回答数=1,439】	1.9%	18.3%	13.1%	2.4%	16.3%	6.7%	0.6%	4.5%	22.4%	3.1%	2.5%	0.2%	6.6%	1.3%
10歳代 【回答数=23】	4.3%	21.7%	4.3%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%	21.7%	13.0%	8.7%	0.0%	8.7%	4.3%	0.0%
20歳代 【回答数=114】	3.5%	19.3%	7.0%	3.5%	12.3%	7.0%	2.6%	7.9%	16.7%	7.0%	5.3%	0.0%	7.9%	0.0%
30歳代 【回答数=178】	1.1%	14.6%	12.9%	3.4%	32.0%	1.7%	0.6%	3.9%	20.2%	1.7%	1.7%	0.0%	5.6%	0.6%
40歳代 【回答数=242】	2.1%	20.7%	14.9%	3.7%	16.1%	2.9%	0.4%	6.2%	16.1%	2.9%	4.1%	0.0%	8.7%	1.2%
50歳代 【回答数=278】	1.1%	21.6%	12.2%	2.9%	15.8%	7.2%	0.0%	6.5%	21.2%	2.2%	2.5%	0.4%	5.8%	0.7%
60歳代 【回答数=375】	1.6%	16.0%	13.9%	1.3%	16.3%	8.8%	0.8%	2.1%	27.5%	1.9%	1.6%	0.0%	6.7%	1.6%
70歳以上 【回答数=221】	2.7%	18.1%	15.4%	0.9%	7.7%	11.3%	0.0%	1.4%	28.1%	5.0%	1.8%	0.0%	5.9%	1.8%

転入者などに希望されるようなまちにするために最も大切なことは、「働く場の確保」が22.4%

と最も多く、次いで「交通の利便性」が18.3%、「保育、子育て支援」が16.3%となっています。

年代別にみると、10歳代は「交通の利便性」と「商業施設の利便性」が、20歳代・40歳代・50歳代は「交通の利便性」が、30歳代は「保育、子育て支援」、60歳代と70歳以上は「働く場の確保」が最も多くなっています。

【世帯の種類別】 【転入者などに希望されるまちにするために最も大切なこと】

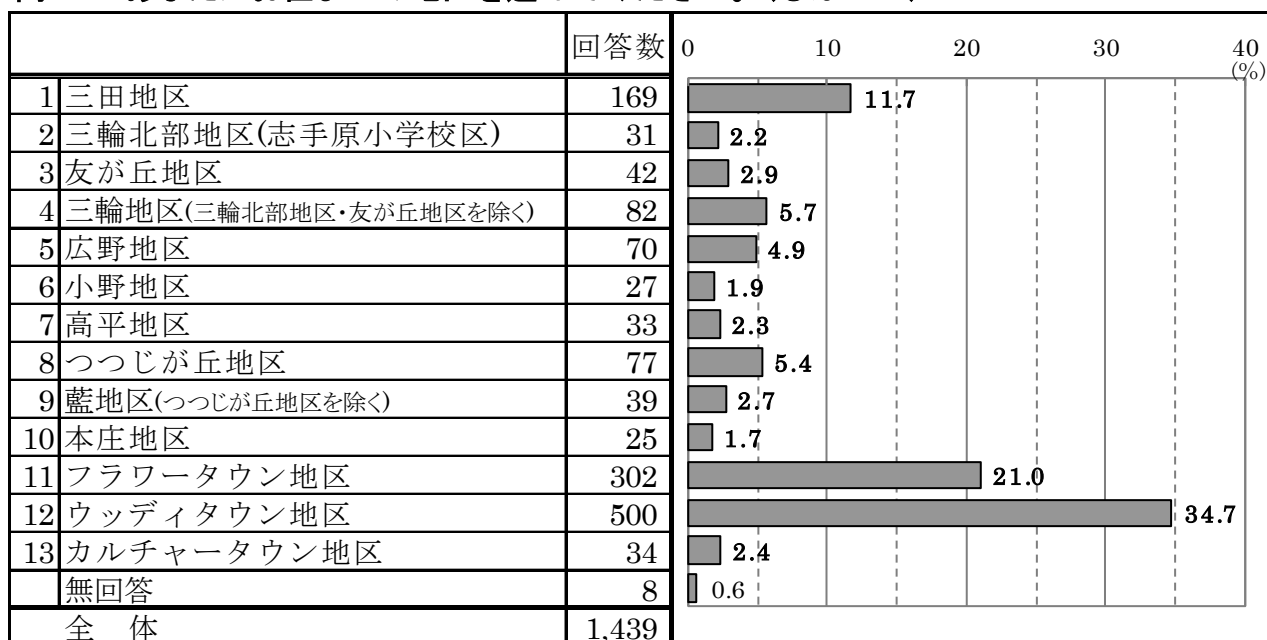
	自然環境の保全	交通の利便性	病院など医療体制	学校など教育環境	保育、子育て支援	福祉サービス	歴史・文化、スポーツ環境	商業施設の利便性	働く場の確保	街並みなど住まいの周辺環境	治安の良さ	自己財産の管理・保全	その他	無回答
全体 【回答数=1,439】	1.9%	18.3%	13.1%	2.4%	16.3%	6.7%	0.6%	4.5%	22.4%	3.1%	2.5%	0.2%	6.6%	1.3%
単身世帯 【回答数=73】	8.2%	13.7%	11.0%	2.7%	9.6%	11.0%	0.0%	5.5%	24.7%	0.0%	2.7%	0.0%	9.6%	1.4%
夫婦のみの世帯 【回答数=432】	1.4%	19.0%	12.7%	1.6%	13.2%	8.8%	0.0%	3.9%	25.7%	3.5%	1.6%	0.2%	6.5%	1.9%
二世帯世帯 【回答数=808】	1.7%	17.8%	13.4%	2.2%	18.1%	5.8%	1.0%	5.0%	21.0%	3.3%	3.0%	0.1%	6.8%	0.7%
三世帯世帯 【回答数=101】	1.0%	22.8%	12.9%	6.9%	21.8%	3.0%	0.0%	4.0%	18.8%	1.0%	2.0%	1.0%	4.0%	1.0%
その他 【回答数=15】	0.0%	33.3%	20.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%

世帯の種類別にみると、単身世帯・夫婦のみの世帯・二世帯世帯は、「働く場の確保」がそれぞれ24.7%、25.7%、21.0%と最も多く、三世帯世帯とその他は、「交通の利便性」が22.8%、33.3%となっています。

## 4 回答者の属性

### (1) 居住地区

問 29 あなたがお住まいの地区を選んでください。(〇は1つ)



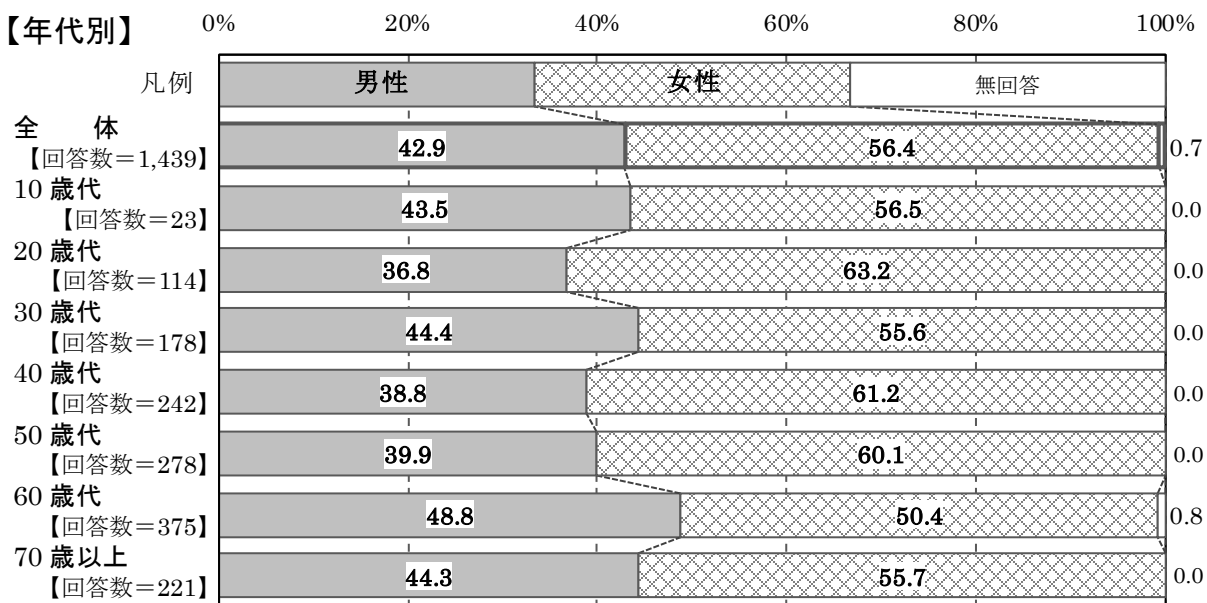
回答者の居住地は、「ウッディタウン地区」が 34.7%で最も多く、次いで「フラワータウン地区」が 21.0%、「三田地区」が 11.7%となっています。

(2) 性別

問 30 あなたの性別を選んでください。(○は1つ)



【年代別】



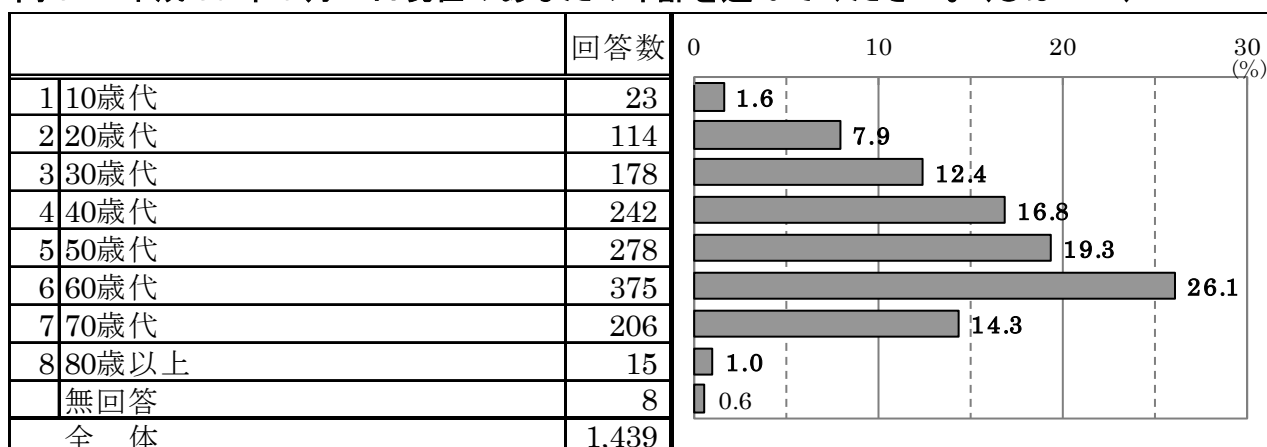
性別は、男性が 42.9%、女性が 56.4%と女性の方が 13.5 ポイント多くなっています。

年代別にみると、すべての年代とも女性の方が多く、特に 20 歳代は 63.2%となっています。

## II 調査結果

### (3) 年齢

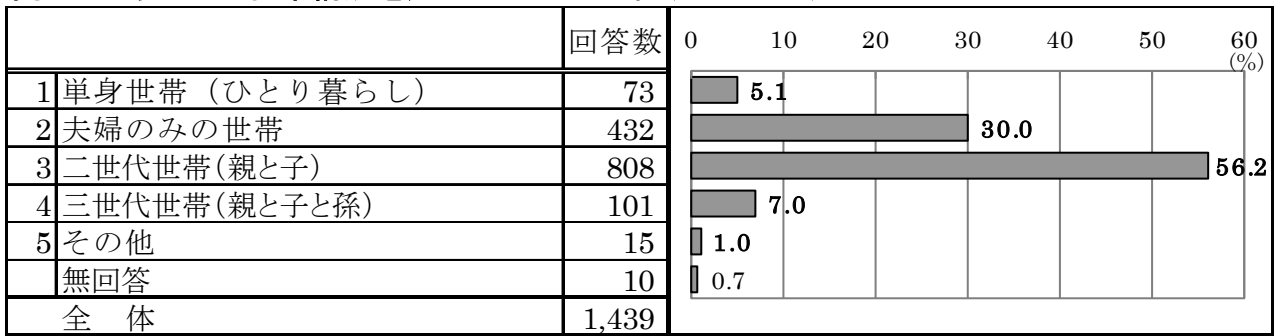
問 31 平成 30 年 6 月 1 日現在のあなたの年齢を選んでください。(○は 1 つ)



回答者の年齢は、「60歳代」が26.1%と最も多く、次いで「50歳代」が19.3%、「40歳代」が16.8%、「70歳代」が14.3%となっています。

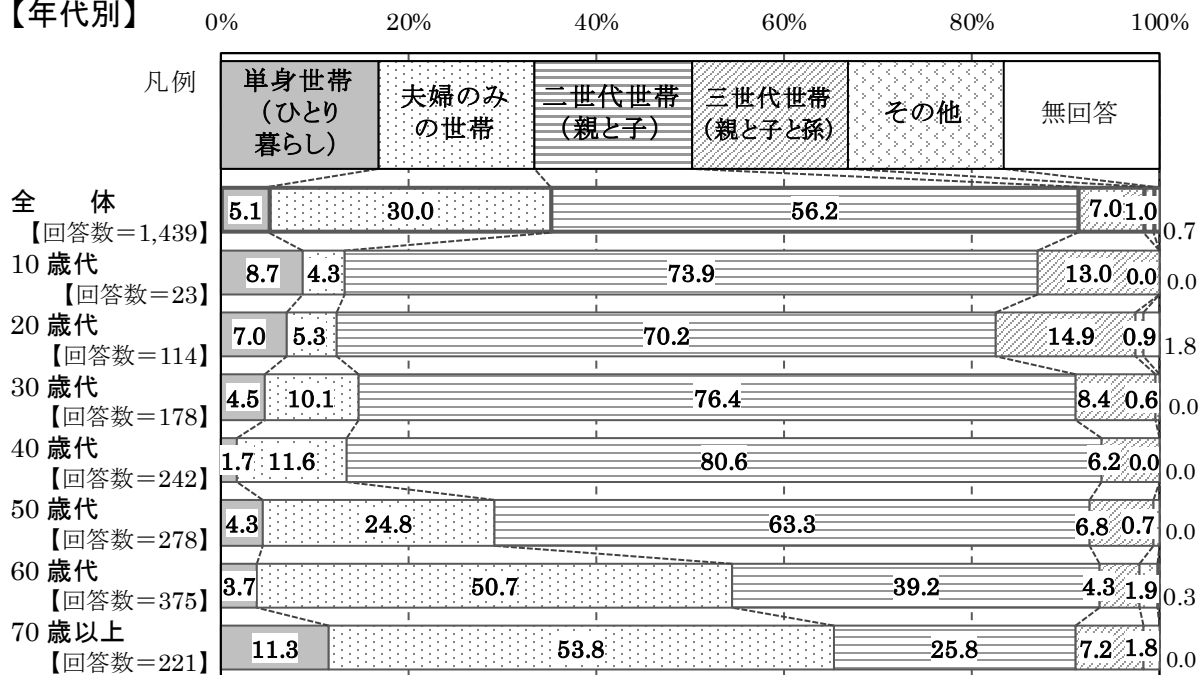
(4) 世帯構成

問 32 あなたの世帯構成を選んでください。(○は1つ)



※「その他」の内容：兄弟・姉妹(3)、四世代世帯、妻と兄夫婦と同居、妹親子と同居、団体生活、シェアハウス、実家に同居 など

【年代別】



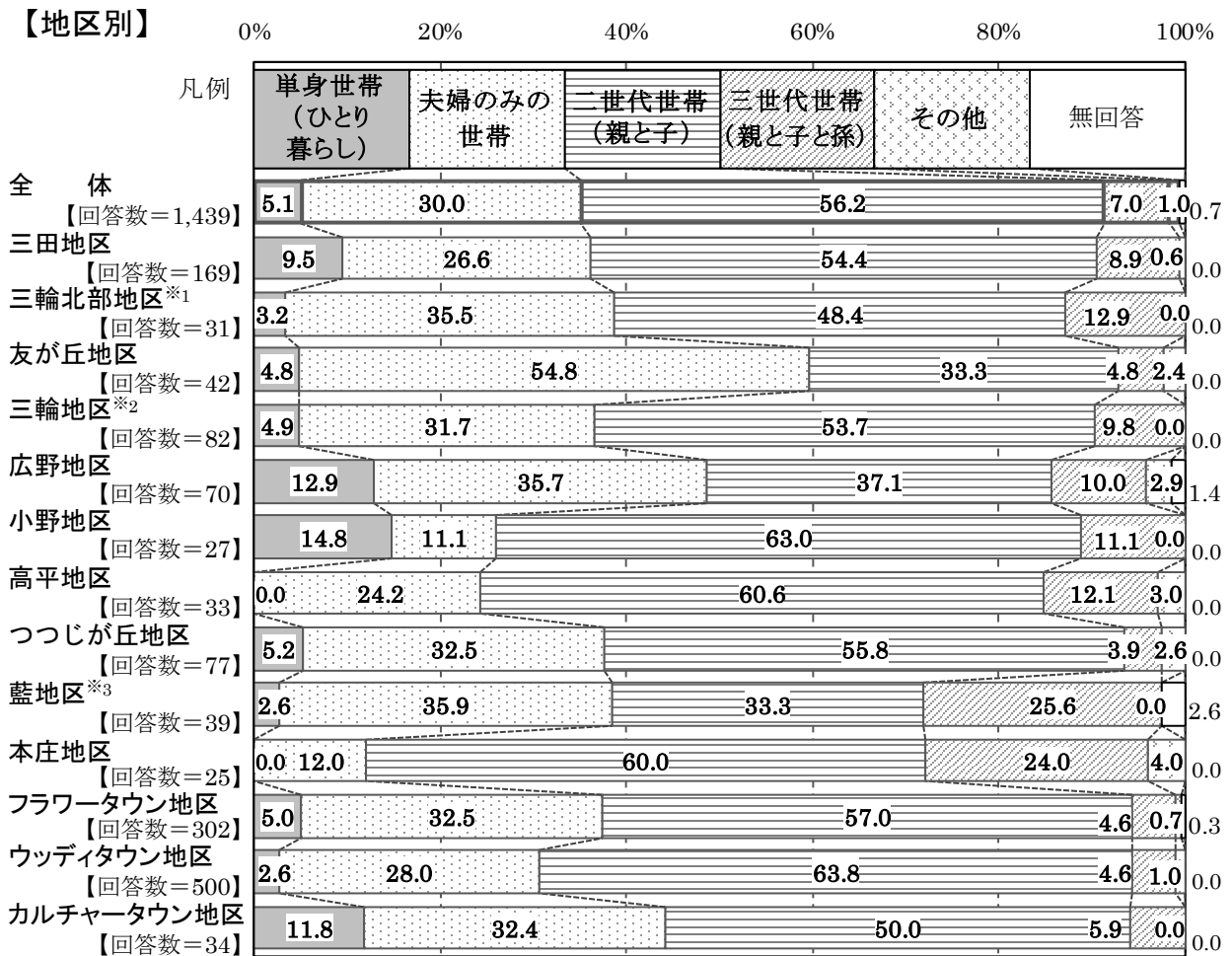
回答者の家族構成は、「二世帯世帯 (親と子)」が 56.2%と半数を超えており、次いで「夫婦のみの世帯」が 30.0%、「三世帯世帯 (親と子と孫)」が 7.0%となっています。

年代別にみると、10歳代から50歳代は、「二世帯世帯 (親と子)」が半数を超えており、次いで「夫婦のみの世帯」となっています。

60歳代は「夫婦のみの世帯」が 50.7%と半数を超えており、「二世帯世帯 (親と子)」が 39.2%となっています。

70歳以上は、「夫婦のみの世帯」が 53.8%と最も多く、次いで「二世帯世帯 (親と子)」が 25.8%、「単身世帯 (ひとり暮らし)」が 11.3%となっています。

## II 調査結果



※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、「二世帯世帯(親と子)」は、ウッディタウン地区が 63.8%、小野地区が 63.0%、高平地区が 60.6%、本庄地区が 60.0%と 6 割を超えています。

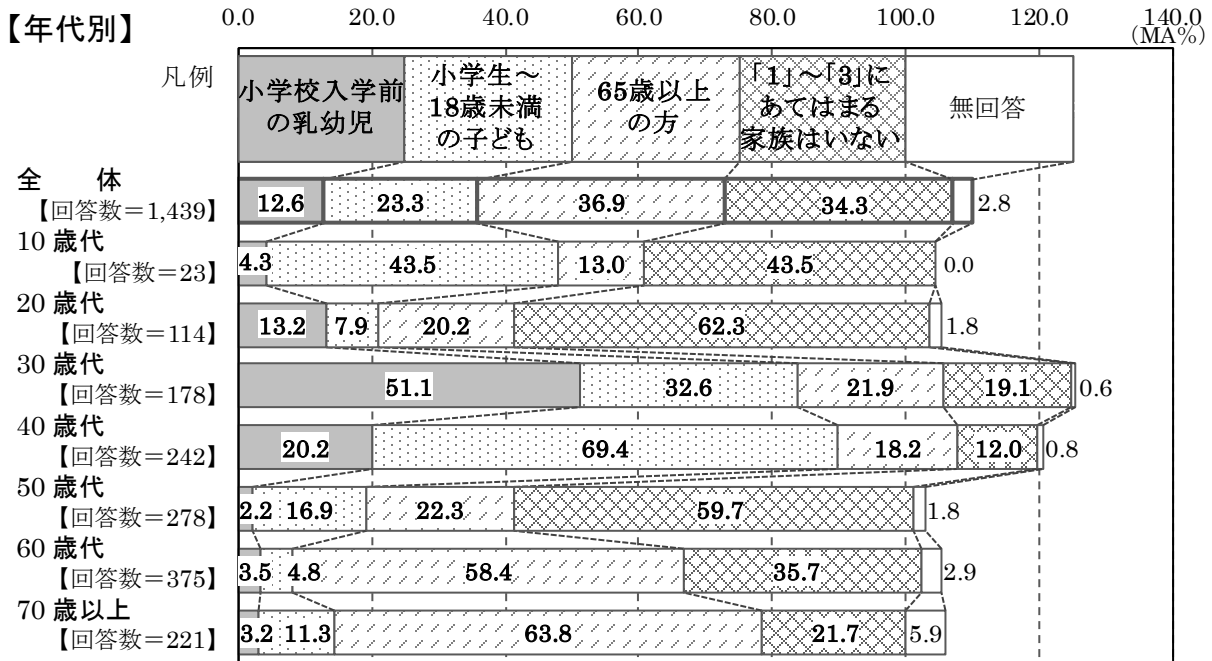
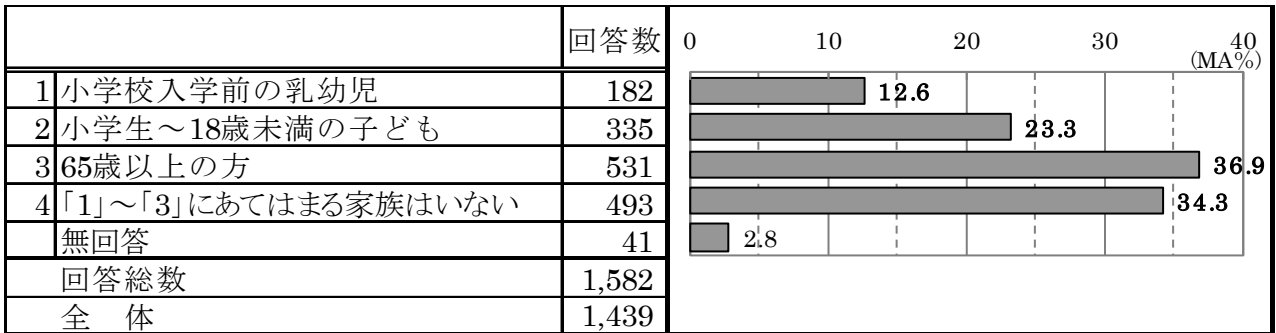
「夫婦のみの世帯」は、友が丘地区が 54.8%、藍地区が 35.9%、広野地区が 35.7%となっています。

「三世帯世帯(親と子と孫)」は、藍地区が 25.6%、本庄地区が 24.0%、三輪北部地区が 12.9%となっています。

「単身世帯(ひとり暮らし)」は、小野地区が 14.8%、広野地区が 12.9%、カルチャータウン地区が 11.8%となっています。

**(5) 家族構成員**

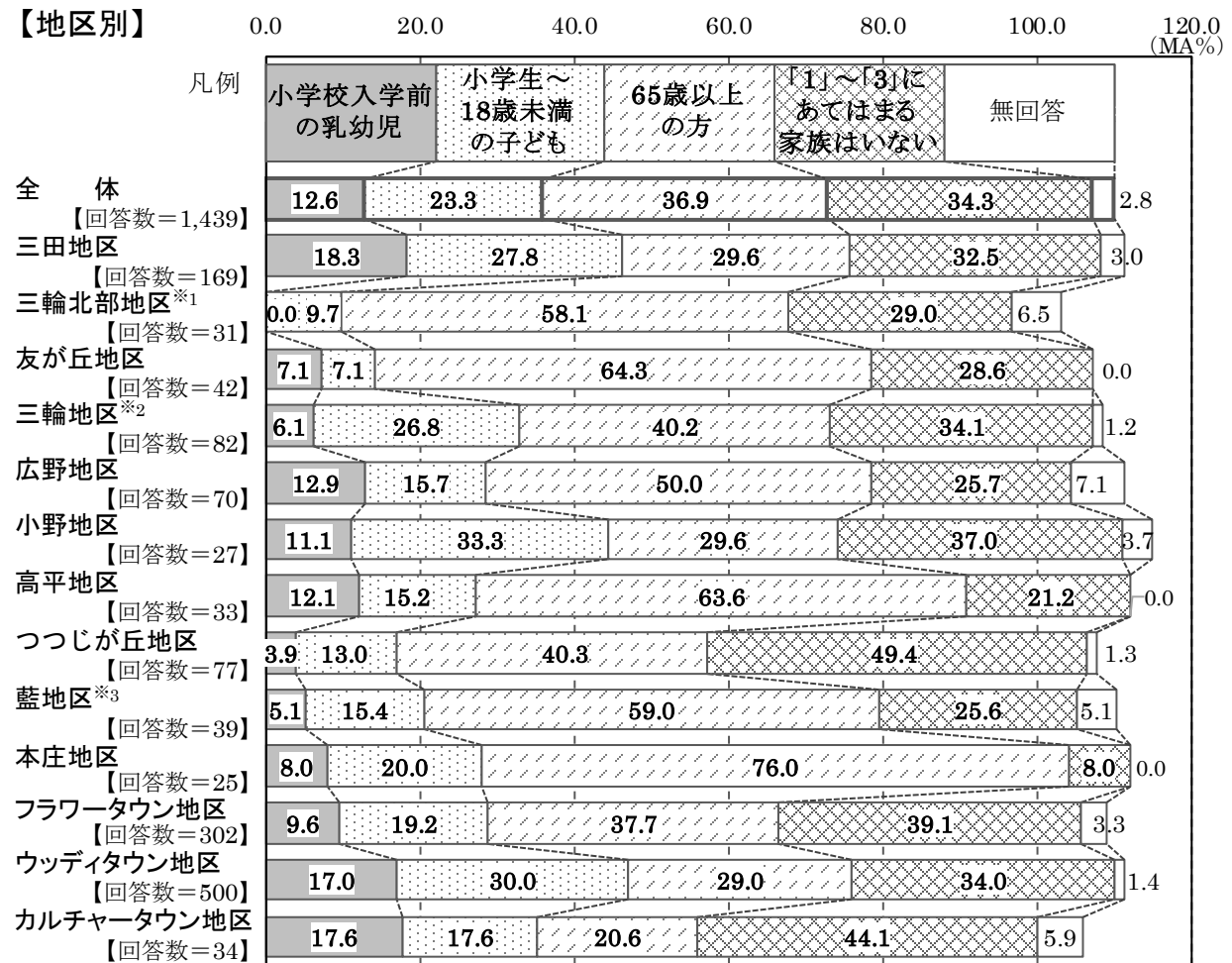
問 33 あなたの家族に次の方はおられますか。あてはまるものを選んでください。  
(○はいくつでも)



同居者の家族構成は、「65歳以上の方」が36.9%と最も多く、次いで『「1」～「3」にあてはまる家族はいない』が34.3%、「小学生～18歳未満の子ども」が23.3%となっています。

年代別にみると、10歳代では「小学生～18歳未満の子ども」と『「1」～「3」にあてはまる家族はいない』、20歳代と50歳代では『「1」～「3」にあてはまる家族はいない』、30歳代は「小学校入学前の乳幼児」、40歳代は「小学生～18歳未満の子ども」、60歳代以上では「65歳以上の方」が最も多くなっています。

## II 調査結果



※1 志手原小学校区

※2 三輪北部地区・友が丘地区を除く

※3 つつじが丘地区を除く

地区別にみると、「『1』～『3』にあてはまる家族はいない」は、つつじが丘地区が49.4%、カルチャータウン地区が44.1%、フラワータウン地区が39.1%となっています。

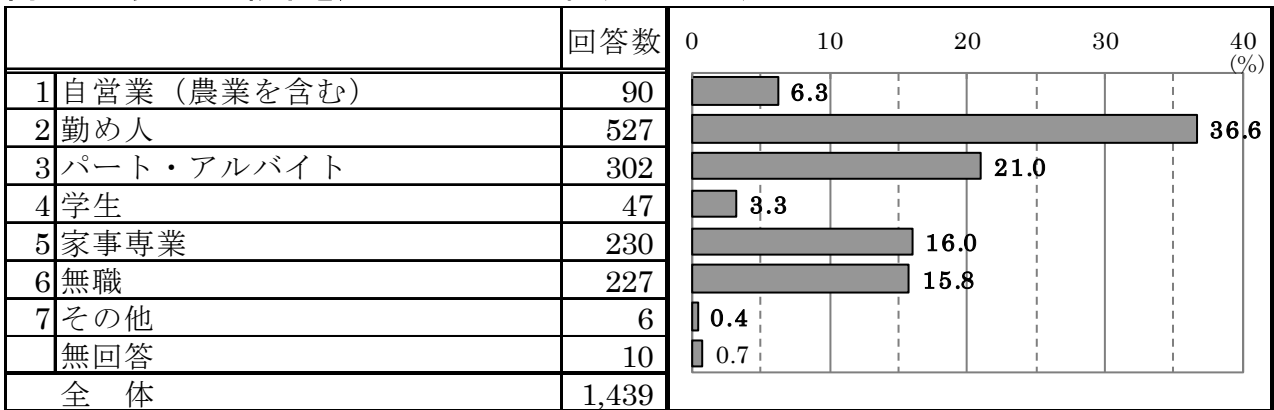
「65歳以上の方」は、本庄地区が76.0%、友が丘地区が64.3%、高平地区が63.6%となっています。

「小学生～18歳未満の子ども」は、小野地区が33.3%、ウッディタウン地区が30.0%、三田地区が27.8%となっています。

「小学校入学前の乳幼児」は、三田地区が18.3%、カルチャータウン地区が17.6%、ウッディタウン地区が17.0%となっています。

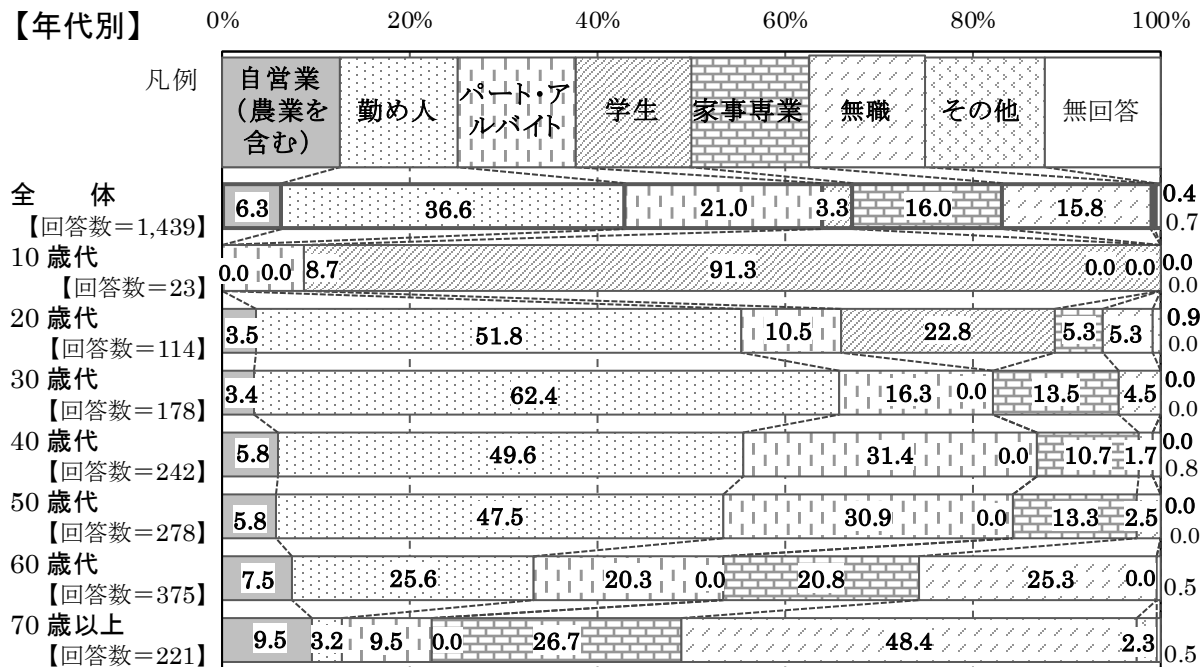
(6) 職業

問 34 あなたの職業を選んでください。(○は1つ)



※「その他」の内容：シルバー人材センター(4)など

【年代別】



職業は、「勤め人」が36.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が21.0%、「家事専業」が16.0%となっています。

年代別にみると、10歳代は「学生」が91.3%となっています。20歳代は「勤め人」が51.8%と半数を超えており、次いで「学生」が22.8%、「パート・アルバイト」が10.5%となっています。

30歳代～50歳代は、「勤め人」が4割を超えて特に30歳代は62.4%と6割を超えており、次いで「パート・アルバイト」、「家事専業」となっています。

60歳代は「勤め人」が25.6%、「無職」が25.3%、「家事専業」が20.8%となっています。

70歳以上は「無職」が48.4%と最も多く、「家事専業」が26.7%となっています。

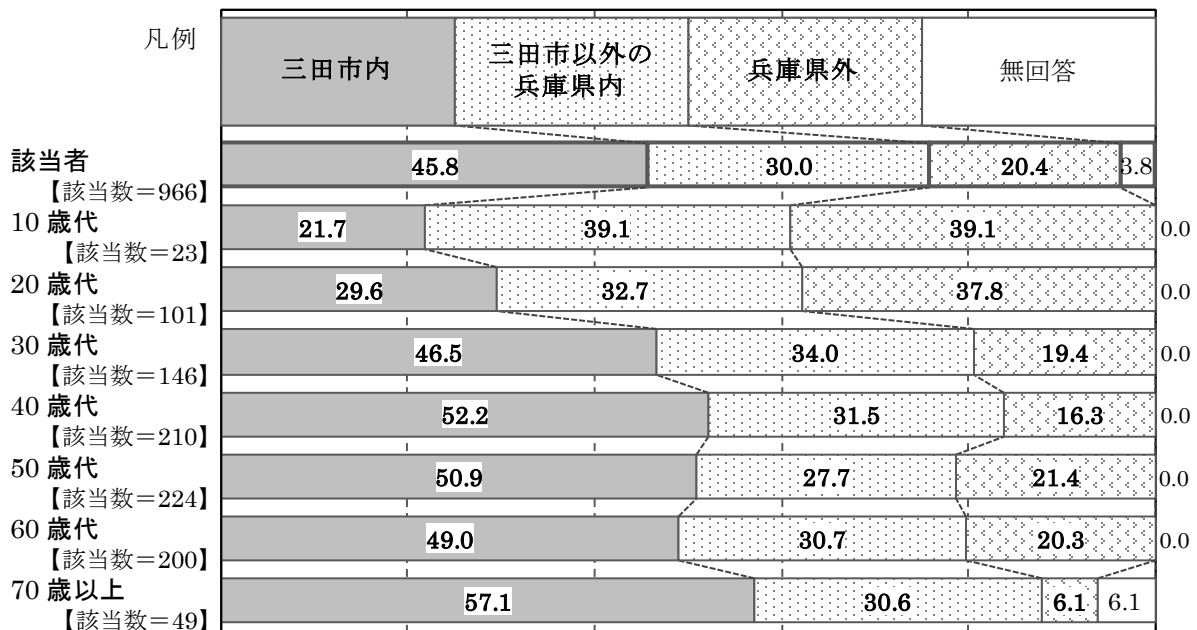
## II 調査結果

### (7) 通勤・通学先

問 35 【問 34 で「1 自営業（農業を含む）」「2 勤め人」「3 パート・アルバイト」「4 学生」を選んだ方にお聞きします。】通勤・通学先や事業を営んでいる場所を選んでください。  
(○は1つ)

	回答数	0	10	20	30	40	50 (%)
1 三田市内	442	45.8					
2 三田市以外の兵庫県内	290	30.0					
3 兵庫県外	197	20.4					
無回答	37	3.8					
該当者	966						

【年代別】 0% 20% 40% 60% 80% 100%



職業で「自営業（農業を含む）」「勤め人」「パート・アルバイト」「学生」の通勤・通学先は、「三田市内」が 45.8%と最も多く、次いで「三田市外の兵庫県内」が 30.0%、「兵庫県外」が 20.4% となっています。

年代別にみると 40 歳代・50 歳代と 70 歳以上は「三田市内」が半数を超えており、10 歳代と 20 歳代は「兵庫県外」が 4 割近くになっています。

# 調查票



## 三田市 市民意識調査

### ▷▷▷ 調査ご協力のお願い ◁◁◁

日頃は、市政の各般にわたりご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この調査は、市民の声を市政に反映させるべく、市民の皆さまからのご意見をお聴きし、今後の市政運営に役立てることを目的に毎年実施しています。

本年は、「地域福祉」、「成年後見制度」、「総合計画の取り組み」について調査することとなりました。

三田市内にお住まいの18歳以上（約95,000人）の方の中から3,000人の方について、地域ごとの人口分布などを考慮して無作為に選ばせていただき、調査票をお送りしています。

回答の内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーを保護することはもとより、他の目的に利用することは一切ございませんので、安心してご記入いただきますようお願いいたします。

また、郵送による回答に加え、インターネットによる回答を実施します。操作方法その他回答にあたっては、次のページをご確認ください。

なお、調査結果の概要は、後日、市広報紙「伸びゆく三田」や市ホームページなどを通じて報告いたします。

大変お忙しいところ恐れ入りますが、調査の目的をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成30年6月

三田市長 森 哲 男

### － 回答にあたってのお願い －

この調査は、郵送による回答とインターネットでの回答のどちらかをお選びいただけます。

- ① パソコンやスマートフォンから、下記URL（またはQRコード）にアクセス後、IDとパスワードでログインし、項目ごとに回答してください。  
なお、回答の入力は、**7月6日(金) 24時まで**にお願いします。
- ② IDとパスワードは無作為に付与しており、回答された方が特定されることはありません。

【URL】 <https://form.cooker.jp/Q/auto/ja/sanda/shimin2018/>

調査票 ID :  
パスワード :  
(すべて半角英数字です。)

スマートフォン用



#### 【郵送の場合】

- ① 回答は、必ず宛名のご本人が無記名でご記入ください。  
※ ただし、ご本人が設問の内容や表現などがわかりにくい場合などは、ご家族の方と相談のうえでわかる範囲でお答えください。
- ② 質問ごとに、あてはまる番号を○で囲んでください。自由に記述していただく質問では、回答欄の( )内にご記入ください。質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きの指示にしたがって回答してください。
- ③ 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、( )内になるべく具体的にご記入ください。
- ④ 回答は、えんぴつ、ボールペンなどではっきりとご記入ください。
- ⑤ 調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて**7月6日(金)**までにポストに投函してください。

◎ご質問などがございましたら、下記までお問い合わせください。

三田市 地域戦略室 政策課

電話 (079) 559-5038 (直通)

ファクス (079) 563-1366

「市政市民参加名簿への登録」(別紙)のご案内を同封していますので、あわせてご覧ください。

### 「地域福祉」についておたずねします。

だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすためには、人と人がつながり、地域で支え合う活動を推進していく必要があります。そのため、市民の地域福祉活動の参加状況や意識などを把握し、これからの取り組みに活かしていきます。

#### 問1 あなたは、現在、隣近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(〇は1つ)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 困った時に助け合っている | 2 世間話や立ち話をする程度   |
| 3 会えばあいさつする程度  | 4 まったく付き合いをしていない |

#### 問2 あなたは、「地域福祉活動」※に参加していますか。(〇は1つ)

※「地域福祉活動」とは、住み慣れた地域で子育てや、高齢者、障害者の介護・介助などに負担を感じている人などすべての人が安心して暮らせるように様々な担い手がお互いに協力し支え合う地域活動です。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 参加している | 2 参加していない |
|----------|-----------|

【問2で「2 参加していない」を選んだ方にお聞きします。】

#### 問3 その最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ)

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1 忙しくて時間がない           | 2 活動に興味がない     |
| 3 人間関係がわずらわしい         | 4 一緒に参加する人がいない |
| 5 いつどこで活動しているかわからない   | 6 健康に自信がない     |
| 7 自治区・自治会などの団体に入っていない |                |
| 8 その他(具体的に: .....     | )              |

#### 問4 あなたは、「避難行動要支援者支援制度」※についてご存じですか。(〇は1つ)

※「避難行動要支援者支援制度」とは、災害時の避難行動に何らかの支援を要する人の名簿を作成し、本人同意のもと、市が地域へ名簿を提供することにより、身近な地域の中で避難支援が行われるしくみのことです。

- 1 よく知っている
- 2 おおよその内容は知っている
- 3 名前は知っていたが内容は知らない
- 4 知らない

#### 問5 あなたは、市民センターなどに設置された「地域福祉支援室」※を利用したことがありますか。(〇は1つ)

※「地域福祉支援室」とは、地域での身近な困りごとに対して、三田市社会福祉協議会が支援員を配置し、必要な支援や情報提供を行う地域福祉活動の拠点です。

- 1 よく利用している
- 2 数回利用したことがある
- 3 設置されていることは知っているが、利用したことはない
- 4 「地域福祉支援室」が設置されていることを知らない



## 「成年後見制度」についておたずねします。

近年、認知症や障害などを理由に、財産の管理や日常生活などに支障がある方を社会全体で支え合うことが、高齢社会における喫緊の課題であり、成年後見制度がその方々を支える重要な手段であるにもかかわらず十分に利用できていない状況にあります。そのため、市民の成年後見制度についての意識を把握し、今後の成年後見制度の普及・利用促進につなげていきます。

### 問 10 あなたは、「成年後見制度」※についてご存じですか。(〇は1つ)

※「成年後見制度」とは、認知症や障害などによって物事の判断能力が十分でない方が安心して生活するために、家庭裁判所に申し立て、本人の権利や財産を守る援助者（後見人など）を選ぶことで、本人を法的に支援する制度です。

- 1 すでに利用している      2 よく知っている      3 少し知っている  
4 よく知らないが聞いたことがある      5 知らない

【問 10 で「1 すでに利用している」「2 よく知っている」「3 少し知っている」を選んだ方にお聞きします。】

### 問 11 どこで「成年後見制度」を知り（聞き）ましたか。(〇は1つ)

- 1 新聞・雑誌・テレビのニュース      2 説明会・研修会など  
3 親戚や知人など  
4 市役所など福祉関係の窓口・パンフレット・ホームページ  
5 その他（具体的に：.....）

### 問 12 あなた自身や親族が認知症などにより判断能力が十分でなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。(〇は1つ)

- 1 利用したい      2 利用したくない      3 わからない

【問 12 で「2 利用したくない」を選んだ方にお聞きします。】

### 問 13 その理由として、あなたの考えに最も近いものは何ですか。(〇は1つ)

- 1 制度を使わなくとも家族がいる  
2 他人（家族・親族を含む）に財産などを任せることが心配  
3 家族・親族などの信頼関係が崩れるおそれがある  
4 援助者（後見人など）になってほしい人がみあたらない  
5 費用がどのくらいかかるか心配  
6 手続きが大変そう  
7 家庭裁判所に申し立てることに抵抗がある  
8 どういうときに利用していいかわからない  
9 その他（具体的に：.....）

【問 12 で「1 利用したい」を選んだ方にお聞きします。】

### 問 14 援助者（後見人など）にはだれになってもらいたいですか。(〇は1つ)

- 1 家族・親族      2 専門職（弁護士・司法書士など）  
3 法律または福祉に関する法人      4 市民後見人（研修を受けた市民など）  
5 その他（具体的に：.....）

**「総合計画の取り組み」についておたずねします。**

**問 15 あなたは、地域活動（自治会の活動やボランティアの活動など）に参加していますか。（○は1つ）**

- 1 現在参加している
- 2 現在参加していないが、今後参加したい
- 3 現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない

**問 16 あなたは、人権問題の解決に向けて、社会全体で取り組むとともに、自分も努力すべきと思いますか。（○は1つ）**

- 1 そう思う
- 2 そう思わない

**問 17 あなたは、日常生活で健康づくりに取り組んでいますか。（○は1つ）**

- 1 大いに取り組んでいる
- 2 少しは取り組んでいる
- 3 あまり取り組んでいない
- 4 何も取り組んでいない

**問 18 あなたは、普段の睡眠で休養が十分にとれていると思いますか。（○は1つ）**

- 1 十分にとれている
- 2 とれている
- 3 あまりとれていない
- 4 まったくとれていない

**問 19 あなたには、「かかりつけ医」がいますか。（○は1つ）**

- 1 いる
- 2 いない

**問 20 あなたは、高齢者の安心（必要な介護サービスを利用しながら安心して暮らせること）に満足していますか。（○は1つ）**

- 1 とても満足している
- 2 満足している
- 3 満足していないが不満もない
- 4 不満である
- 5 とても不満である

**問 21 あなたは、街並みや田園風景などの景観に満足していますか。（○は1つ）**

- 1 とても満足している
- 2 満足している
- 3 満足していないが不満もない
- 4 不満である
- 5 とても不満である

**問 22 あなたは、週一回以上運動やスポーツをしていますか。（○は1つ）**

- 1 している
- 2 していない

**問 23 あなたは、三田市役所をどの程度信頼できますか。（○は1つ）**

- 1 信頼できる
- 2 まあ信頼できる
- 3 あまり信頼できない
- 4 信頼できない

**問 24 あなたは、三田市のまちづくりにどの程度関心がありますか。(〇は1つ)**

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1 非常に関心がある | 2 ある程度関心がある |
| 3 あまり関心がない | 4 まったく関心がない |

**問 25 あなたは、現在の三田市では、市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。(〇は1つ)**

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1 そう思う      | 2 まあそう思う |
| 3 あまりそう思わない | 4 そう思わない |

**問 26 あなたは、これからも三田市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)**

- |                           |
|---------------------------|
| 1 今後も住み続けたい               |
| 2 現在の住まいは移りたいが、三田市内には住みたい |
| 3 市外に移りたい                 |
| 4 今のところ、わからない             |

【問 26 で「2 現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」「3 市外に移りたい」を選んだ方にお聞きします。】

**問 27 転出あるいは転居したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)**

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1 仕事や働く場所が少ない           | 2 子育てや子どもの教育に不安がある |
| 3 通勤・通学に時間がかかる          | 4 買い物などの日常生活が不便    |
| 5 医療機関や福祉施設が充実していない     | 6 都会としての楽しさや魅力がない  |
| 7 地域の行事や近所付き合いになじめない    |                    |
| 8 道路や上下水道、公園などの整備が十分でない |                    |
| 9 生まれ育ったところではなく、愛着がない   |                    |
| 10 狭い、古いなど住宅に不満がある      |                    |
| 11 その他(具体的に: .....      | )                  |

**問 28 三田市では「成長から成熟するまち 三田へ」を目標に、時代にふさわしいまちづくりを進めていますが、一方で緩やかな人口減少が続いています。今後、若年層をはじめとする方の転入や、故郷を離れた方が U ターンを希望されるようなまちにするために最も大切だと思うことは何ですか。(〇は1つ)**

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1 自然環境の保全          | 2 交通の利便性         |
| 3 病院など医療体制         | 4 学校など教育環境       |
| 5 保育、子育て支援         | 6 福祉サービス         |
| 7 歴史・文化、スポーツ環境     | 8 商業施設の利便性       |
| 9 働く場の確保           | 10 街並みなど住まいの周辺環境 |
| 11 治安の良さ           | 12 自己財産の管理・保全    |
| 13 その他(具体的に: ..... | )                |

**最後に、あなたご自身のことについておたずねします。**

**問 29 あなたがお住まいの地区を選んでください。(〇は1つ)**

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1 三田地区             | 2 三輪北部地区 (志手原小学校区)       |
| 3 友が丘地区            | 4 三輪地区 (三輪北部地区・友が丘地区を除く) |
| 5 広野地区             | 6 小野地区                   |
| 7 高平地区             | 8 つつじが丘地区                |
| 9 藍地区 (つつじが丘地区を除く) | 10 本庄地区                  |
| 11 フラワータウン地区       | 12 ウッディタウン地区             |
| 13 カルチャータウン地区      |                          |

**問 30 あなたの性別を選んでください。(〇は1つ)**

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

**問 31 平成 30 年 6 月 1 日現在のあなたの年齢を選んでください。(〇は1つ)**

- |         |         |         |          |
|---------|---------|---------|----------|
| 1 10 歳代 | 2 20 歳代 | 3 30 歳代 | 4 40 歳代  |
| 5 50 歳代 | 6 60 歳代 | 7 70 歳代 | 8 80 歳以上 |

**問 32 あなたの世帯構成を選んでください。(〇は1つ)**

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1 単身世帯 (ひとり暮らし)     | 2 夫婦のみの世帯       |
| 3 二世帯世帯 (親と子)       | 4 三世帯世帯 (親と子と孫) |
| 5 その他 (具体的に : ..... |                 |

**問 33 あなたの家族に次の方はおられますか。あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)**

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 1 小学校入学前の乳幼児 | 2 小学生～18 歳未満の子ども      |
| 3 65 歳以上の方   | 4 「1」～「3」にあてはまる家族はいない |

**問 34 あなたの職業を選んでください。(〇は1つ)**

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| 1 自営業 (農業を含む)       | 2 勤め人 |
| 3 パート・アルバイト         | 4 学生  |
| 5 家事専業              | 6 無職  |
| 7 その他 (具体的に : ..... |       |

【問 34 で「1 自営業 (農業を含む)」「2 勤め人」「3 パート・アルバイト」「4 学生」を選んだ方にお聞きします。】

**問 35 通勤・通学先や事業を営んでいる場所を選んでください。(〇は1つ)**

- |        |              |        |
|--------|--------------|--------|
| 1 三田市内 | 2 三田市以外の兵庫県内 | 3 兵庫県外 |
|--------|--------------|--------|

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。この調査票を、同封の返信用封筒に入れて、**7 月 6 日(金)**までにポストへ投函してください。

**平成 30 年度  
三田市市民意識調査  
報告書**

発行年月 平成 30 年 10 月  
発行 三田市 地域戦略室 政策課  
〒669-1595 三田市三輪 2 丁目 1 番 1 号  
電 話：079-559-5038（直通）  
F A X：079-563-1366

**18 政 1-087A4**